

平成 2 3 年度

決算に係る主要な施策の成果に関する報告書

館 山 市

目 次

平成23年度決算の概要	1 頁
一般会計決算状況の推移	3 頁
一般会計歳入の構成	4 頁
一般会計歳入歳出 款別決算の状況	6 頁
一般会計歳入 市税決算の状況	8 頁
一般会計歳出 性質別決算の状況	9 頁
特別会計決算状況	11 頁
経常収支比率及び健全化判断比率等の状況	12 頁
市債残高及び基金残高の状況	13 頁
各部門の事業概要（一般会計）	15 頁
各部門の事業概要（特別会計）	77 頁
定額運用基金の運用状況調書	82 頁
目的税(入湯税・都市計画税)の使途に関する説明書	83 頁

平成 23 年度 決算 の 概 要

1 一般会計の状況

(1) 決算規模及び収支の状況 〔第1表〕

平成23年度における一般会計の決算規模は、別表のとおり歳入総額175億9,459万6千円（前年度比5億1,107万9千円、2.8%の減）、歳出総額165億6,854万4千円（前年度比5億6,974万1千円、3.3%の減）となっており、歳入歳出差引額は10億2,605万2千円で、翌年度へ繰り越した庁舎空調機設置事業、防災行政無線整備事業、児童手当システム導入事業、幼保一元化施設整備事業、農業振興地域整備計画策定委託料、案内看板等設置事業、道路新設改良事業、橋梁整備事業、河川維持補修事業、雨水排水路整備事業、北条小学校耐震改修事業及び河川災害復旧事業に係る財源7,306万5千円を差し引いた実質収支は、9億5,298万7千円（前年度比7,177万8千円、8.1%の増）となった。

(2) 歳入内訳 〔第2表 第3表 第4表 図-I〕

歳入総額175億9,459万6千円の主な内容は、市税61億4,254万8千円（構成比34.9%、前年度比5,471万8千円、0.9%の増）、地方交付税38億4,422万3千円（構成比21.8%、前年度比6,646万4千円、1.8%の増）、国庫支出金19億4,537万7千円（構成比11.1%、前年度比3億8,075万7千円、16.4%の減）、市債13億6,430万円（構成比7.8%、前年度比1億7,240万円、11.2%の減）、県支出金10億4,577万9千円（構成比5.9%、前年度比3億1,973万円、23.4%の減）等となっている。

前年度と比較すると、諸収入、繰越金、地方交付税及び市税等で増となっているが、主な要因として、諸収入については、一部事務組合での事業から市直営となったことによる給食事業収入の増、繰越金については、純繰越金の増、地方交付税については、普通交付税及び特別交付税の増、市税については、法人市民税や市たばこ税などの増によるものである。一方、国庫支出金、県支出金及び分担金・負担金等で減となっているが、主な要因として、国庫支出金については、国の経済対策に伴う地域活性化交付金及び渚の駅整備事業に係る、みなと振興交付金の減、県支出金については、水族館建設事業補助金及び国民体育大会補助金の減、分担金・負担金については、農用地総合整備事業受益者負担金の減によるものである。なお、地方交付税と臨時財政対策債の合算額では、8,543万6千円の減となっている。

市税、使用料及び手数料等の自主財源は、83億5,516万円（構成比47.5%、前年度43.8%）、地方交付税、国・県支出金及び市債等の依存財源は、92億3,943万6千円（構成比52.5%、前年度56.2%）であり、前年度と比較すると自主財源の構成比が増加し、依存財源の構成比が減少している。これは自主財源である市税、繰越金及び諸収入の増、依存財源である国庫支出金、県支出金及び市債の減等によるものである。

(3) 歳出内訳 〔第3表 第5表 図－Ⅱ〕

歳出総額165億6,854万4千円の主な内容は、目的別では、民生費56億9,018万1千円（構成比34.3%,前年度比1億8,422万9千円,3.3%の増）、公債費20億3,267万7千円（構成比12.3%,前年度比5,992万3千円,3.0%の増）、衛生費17億9,437万6千円（構成比10.8%,前年度比1,846万7千円,1.0%の増）、総務費17億6,763万7千円（構成比10.7%,前年度比7,450万円,4.0%の減）、教育費14億1,663万2千円（構成比8.6%,前年度比2億1,554万4千円,13.2%の減）、土木費12億3,275万1千円（構成比7.4%,前年度比5億3,624万3千円,30.3%の減）等となっている。

前年度と比較すると、民生費、諸支出金、公債費及び議会費等で増となっているが、主な要因として、民生費については、障害介護給付費や生活保護費などの社会保障関係経費の増、諸支出金については、財政調整基金積立金の増、公債費については、臨時財政対策債償還金の増、議会費については、議員共済負担金の増によるものである。一方、農林水産業費、土木費、教育費等で減となっているが、主な要因として、農林水産業費については、農用地総合整備事業負担金の減、土木費については、都市計画道路船形館山港線（北条・八幡地区）道路整備事業の減、教育費については、水族館建設事業及び国民体育大会事業の減によるものである。

また、性質別では人件費、扶助費、公債費及び物件費等の経常的経費は、144億5,203万4千円（構成比87.2%,前年度比1億3,155万3千円,0.9%の増）となった。これは、主に子ども手当や障害介護給付費などの扶助費の増、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計などへの繰出金の増及び公債費の増などによるものである。投資的経費は、渚の駅整備事業や都市計画道路船形館山港線（北条・八幡地区）道路整備事業など大規模建設事業が完了したことにより9億2,509万6千円（構成比5.6%,前年度比11億1,488万8千円,54.7%の減）となった。

2 特別会計の状況 〔第6表〕

平成23年度における特別会計の決算状況については、第6表のとおりである。

3 経常収支比率及び健全化判断比率等の状況 〔図－Ⅲ 第7表〕

平成23年度決算における経常収支比率及び健全化判断比率等の状況については、図－Ⅲ・第7表のとおりである。

4 市債残高及び基金残高の状況 〔図－Ⅳ 図－Ⅴ〕

平成23年度末時点における市債残高及び基金残高の状況については、図－Ⅳ・Ⅴのとおりである。

第1表 一般会計決算状況の推移

(単位 千円)

年 度	歳 入	歳 出	差 引 額	翌年度への繰越財源	実 質 収 支	単年度収支
平成4年度	15,010,426	14,699,758	310,668	5,256	305,412	△ 145,307
平成5年度	16,359,285	16,079,075	280,210	1,756	278,454	△ 26,958
平成6年度	15,586,563	15,181,542	405,021	83,380	321,641	43,187
平成7年度	17,667,057	16,911,505	755,552	58,324	697,228	375,587
平成8年度	15,897,707	15,198,317	699,390	147,446	551,944	△ 145,284
平成9年度	15,638,470	15,153,992	484,478	104,734	379,744	△ 172,200
平成10年度	18,029,024	17,263,698	765,326	247,341	517,985	138,241
平成11年度	17,131,383	16,388,450	742,933	109,993	632,940	114,955
平成12年度	16,482,622	15,808,990	673,632	131,830	541,802	△ 91,138
平成13年度	16,892,939	16,198,827	694,112	254,355	439,757	△ 102,045
平成14年度	17,546,821	17,127,238	419,583	26,973	392,610	△ 47,147
平成15年度	15,576,522	15,064,766	511,756	28,734	483,022	90,412
平成16年度	16,694,208	16,269,809	424,399	53,215	371,184	△ 111,838
平成17年度	15,444,530	15,002,237	442,293	86,256	356,037	△ 15,147
平成18年度	14,798,787	14,375,887	422,900	55,171	367,729	11,692
平成19年度	15,513,073	14,855,889	657,184	87,909	569,275	201,546
平成20年度	16,122,444	15,416,042	706,402	164,926	541,476	△ 27,799
平成21年度	17,843,557	17,169,219	674,338	153,406	520,932	△ 20,544
平成22年度	18,105,675	17,138,285	967,390	86,181	881,209	360,277
平成23年度	17,594,596	16,568,544	1,026,052	73,065	952,987	71,778

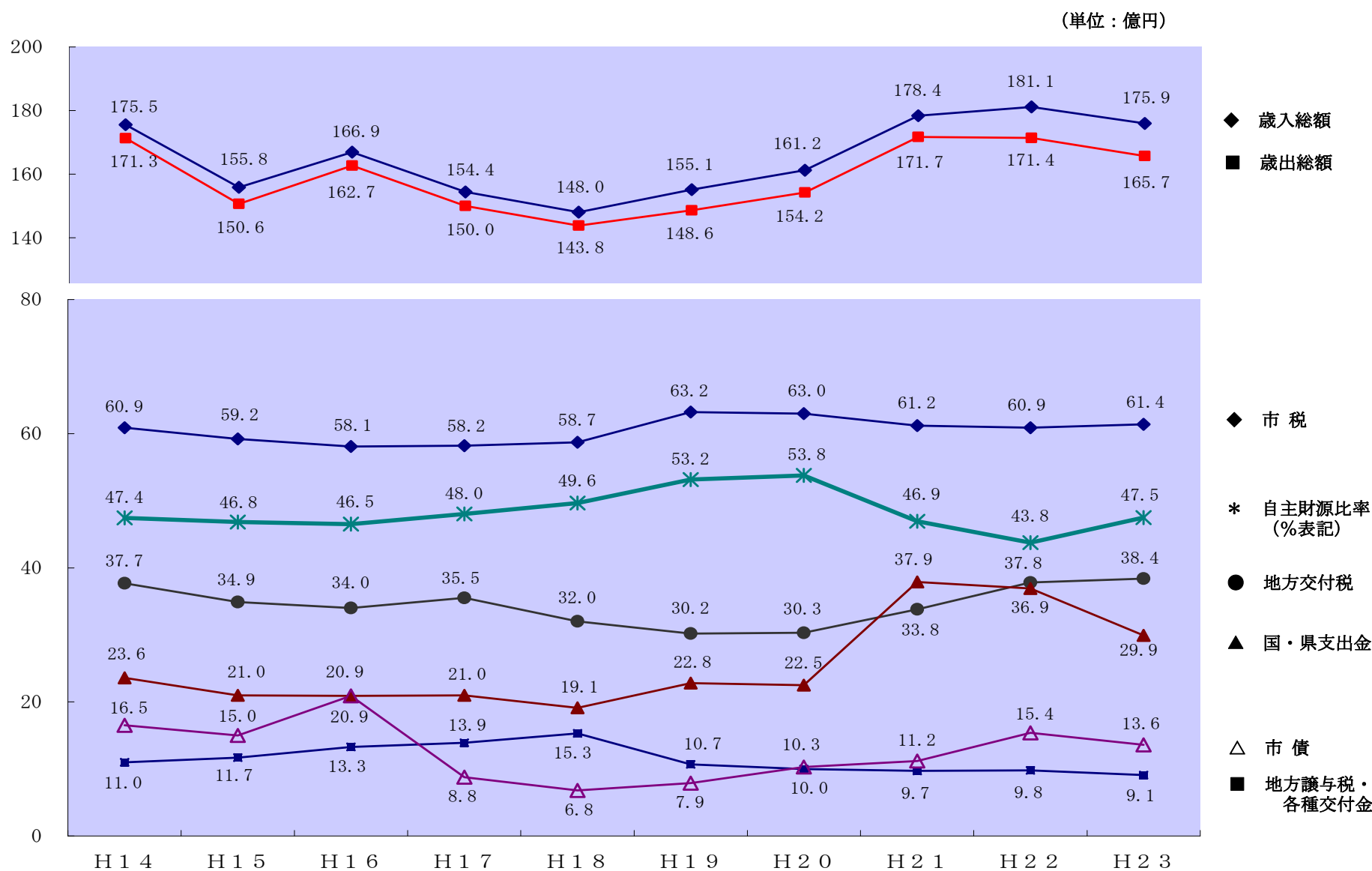
第2表 一般会計歳入の構成

(単位 千円)

区 分		平成23年度			平成22年度		
		決 算 額	構成比 %	対前年度比 %	決 算 額	構成比 %	対前年度比 %
自主財源	市 税	6,142,548	34.9	100.9	6,087,830	33.6	99.4
	分 担 金 及 び 負 担 金	209,884	1.2	57.3	366,232	2.0	186.1
	使 用 料 及 び 手 数 料	411,713	2.3	97.1	424,060	2.3	99.5
	財 産 収 入	16,756	0.1	28.0	59,757	0.3	172.4
	寄 附 金	13,777	0.1	36.4	37,853	0.2	130.8
	繰 入 金	62,684	0.4	56.5	111,008	0.6	17.2
	繰 越 金	881,209	5.0	169.2	520,932	2.9	96.2
	諸 収 入	616,589	3.5	196.3	314,177	1.7	84.4
	小 計	8,355,160	47.5	105.5	7,921,849	43.8	94.6
依存財源	地 方 譲 与 税	151,848	0.9	97.6	155,567	0.9	99.5
	利 子 割 交 付 金	11,767	0.1	73.7	15,963	0.1	90.8
	配 当 割 交 付 金	13,811	0.1	221.4	6,239	0.0	78.0
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	2,829	0.0	83.4	3,392	0.0	82.9
	地 方 消 費 税 交 付 金	506,513	2.9	93.5	541,481	3.0	99.8
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	38,570	0.2	90.7	42,543	0.2	94.3
	自 動 車 取 得 税 交 付 金	44,244	0.3	85.7	51,604	0.3	84.5
	国有提供施設等所在市町村助成交付金	61,697	0.4	90.0	68,536	0.4	100.8
	地 方 特 例 交 付 金	69,075	0.4	80.4	85,940	0.5	137.8
	地 方 交 付 税	3,844,223	21.8	101.8	3,777,759	20.9	111.7
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	7,883	0.0	89.8	8,775	0.0	99.9
	国 庫 支 出 金	1,945,377	11.1	83.6	2,326,134	12.8	80.7
	県 支 出 金	1,045,779	5.9	76.6	1,365,509	7.5	150.3
	繰 越 金	86,181	0.5	56.2	153,406	0.8	93.0
	諸 収 入	45,339	0.3	102.4	44,278	0.2	100.3
	市 債	1,364,300	7.8	88.8	1,536,700	8.5	137.7
	小 計	9,239,436	52.5	90.7	10,183,826	56.2	107.5
合 計		17,594,596	100.0	97.2	18,105,675	100.0	101.5

(注) 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入したものである。

図－I 一般会計歳入における決算額の推移（過去10年間）



第3表 一般会計歳入歳出 款別決算の状況

1 歳入

(単位 千円)

款 別	予 算 現 額				2 3 年度 収入済額 B	予算現額 対比増減 B-A	2 2 年度 収入済額 C	前年度比較 B-C	対前年度比 B/C %
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業 費繰越財源充当額	計 A					
市 税	5,920,206	0	0	5,920,206	6,142,548	222,342	6,087,830	54,718	100.9
地 方 譲 与 税	144,000	0	0	144,000	151,848	7,848	155,567	△ 3,719	97.6
利 子 割 交 付 金	11,000	0	0	11,000	11,767	767	15,963	△ 4,196	73.7
配 当 割 交 付 金	6,000	0	0	6,000	13,811	7,811	6,239	7,572	221.4
株式等譲渡所得割交付金	3,000	0	0	3,000	2,829	△ 171	3,392	△ 563	83.4
地 方 消 費 税 交 付 金	521,000	0	0	521,000	506,513	△ 14,487	541,481	△ 34,968	93.5
ゴルフ場利用税交付金	37,000	0	0	37,000	38,570	1,570	42,543	△ 3,973	90.7
自 動 車 取 得 税 交 付 金	43,000	0	0	43,000	44,244	1,244	51,604	△ 7,360	85.7
国有提供施設等所在市町村助成 交 付 金	68,536	△ 6,839	0	61,697	61,697	0	68,536	△ 6,839	90.0
地 方 特 例 交 付 金	87,000	△ 17,925	0	69,075	69,075	0	85,940	△ 16,865	80.4
地 方 交 付 税	3,470,000	193,461	0	3,663,461	3,844,223	180,762	3,777,759	66,464	101.8
交通安全対策特別交付金	8,357	0	0	8,357	7,883	△ 474	8,775	△ 892	89.8
分 担 金 及 び 負 担 金	178,368	2,029	0	180,397	209,884	29,487	366,232	△ 156,348	57.3
使 用 料 及 び 手 数 料	426,942	2,700	0	429,642	411,713	△ 17,929	424,060	△ 12,347	97.1
国 庫 支 出 金	2,066,526	102,426	90,466	2,259,418	1,945,377	△ 314,041	2,326,134	△ 380,757	83.6
県 支 出 金	1,065,309	22,957	0	1,088,266	1,045,779	△ 42,487	1,365,509	△ 319,730	76.6
財 産 収 入	12,702	173	0	12,875	16,756	3,881	59,757	△ 43,001	28.0
寄 附 金	1	5,730	0	5,731	13,777	8,046	37,853	△ 24,076	36.4
繰 入 金	467,610	△ 402,233	0	65,377	62,684	△ 2,693	111,008	△ 48,324	56.5
繰 越 金	180,000	701,209	86,181	967,390	967,390	0	674,338	293,052	143.5
諸 収 入	459,543	120,314	11,743	591,600	661,928	70,328	358,455	303,473	184.7
市 債	1,229,900	727,900	73,600	2,031,400	1,364,300	△ 667,100	1,536,700	△ 172,400	88.8
合 計	16,406,000	1,451,902	261,990	18,119,892	17,594,596	△ 525,296	18,105,675	△ 511,079	97.2

2 歳出

(単位 千円)

款	予 算 現 額					2 3 年度 支出済額 B	予算現額 対比増減 B-A	2 2 年度 支出済額 C	前年度比較 B-C	対前年度比 B/C %
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越 事業費繰越額	予備費充当	計 A					
1 議 会 費	221,369	△ 6,575	0	0	214,794	211,568	△ 3,226	164,440	47,128	128.7
2 総 務 費	1,911,226	19,591	557	464	1,931,838	1,767,637	△ 164,201	1,842,137	△ 74,500	96.0
3 民 生 費	5,776,225	184,093	7,560	0	5,967,878	5,690,181	△ 277,697	5,505,952	184,229	103.3
4 衛 生 費	1,816,360	98,494	977	0	1,915,831	1,794,376	△ 121,455	1,775,909	18,467	101.0
5 労 働 費	176,728	30,382	0	0	207,110	194,331	△ 12,779	174,815	19,516	111.2
6 農林水産業費	437,820	△ 135,535	0	310	302,595	291,082	△ 11,513	542,923	△ 251,841	53.6
7 商 工 費	343,077	88,955	8,091	0	440,123	395,641	△ 44,482	352,436	43,205	112.3
8 土 木 費	1,277,461	△ 28,553	169,168	1,530	1,419,606	1,232,751	△ 186,855	1,768,994	△ 536,243	69.7
9 消 防 費	933,620	△ 22,637	1,990	0	912,973	907,747	△ 5,226	888,508	19,239	102.2
10 教 育 費	1,448,926	596,834	49,860	0	2,095,620	1,416,632	△ 678,988	1,632,176	△ 215,544	86.8
11 災 害 復 旧 費	7,907	9,340	23,787	0	41,034	25,061	△ 15,973	41,919	△ 16,858	59.8
12 公 債 費	2,024,652	9,091	0	0	2,033,743	2,032,677	△ 1,066	1,972,754	59,923	103.0
13 諸 支 出 金	629	608,422	0	0	609,051	608,860	△ 191	475,322	133,538	128.1
14 予 備 費	30,000	0	0	△ 2,304	27,696	0	△ 27,696	0	0	-
合 計	16,406,000	1,451,902	261,990	0	18,119,892	16,568,544	△ 1,551,348	17,138,285	△ 569,741	96.7

第4表 一般会計歳入 市税決算の状況 (現年課税分)

区 分			課税標準等	税 率	調 定 額 (円)	徴収率 (%)	決 算 額 (円)
市民税	個人	均 等 割	24,590人	3,000円	73,770,000	96.7	1,970,752,392
		所 得 割		6.0%	1,963,977,109		
	法人	均 等 割	1,591法人	50千円～ 3,000千円	171,196,900	99.1	428,717,900
		法 人 税 割		12.3% 又は14.7%	261,388,200		
	計				2,470,332,209		2,399,470,292
固定資産税	土 地		60,299,711千円	1.4%	838,870,900	96.4	2,479,764,419
	家 屋		98,721,610千円		1,309,429,300		
	償 却 資 産		31,085,034千円		424,039,800		
	国有資産等所在 市町村交付金		1,184,341千円		16,580,200	100.0	16,580,200
	計		191,290,696千円		2,588,920,200		2,496,344,619
軽自動車税	50 c c 以下		3,647台	1,000円	3,647,000	96.1	104,676,600
	50cc超90cc以下		337台	1,200円	404,400		
	90 c c 超		223台	1,600円	356,800		
	ミ ニ カ ー		169台	2,500円	422,500		
	農 耕 用		819台	1,600円	1,310,400		
	軽 2 輪		497台	2,400円	1,192,800		
	軽 3 輪		2台	3,100円	6,200		
	4 輪乗用自家用		10,350台	7,200円	74,520,000		
	4 輪乗用営業用		1台	5,500円	5,500		
	4 輪貨物自家用		6,141台	4,000円	24,564,000		
	4 輪貨物営業用		88台	3,000円	264,000		
	2 輪 小 型		476台	4,000円	1,904,000		
	小 型 特 殊		59台	4,700円	277,300		
	計		22,809台		108,874,900		

区 分		課税標準等	税 率	調 定 額 (円)	徴収率 (%)	決 算 額 (円)
市たばこ税		93,487,159本 旧3級品 2,870,760本	千本当り 4,618円 旧 3 級品 2,190円	438,010,660	100.0	438,010,660
入湯税	宿泊を 伴うもの	96,477人	150円	16,517,100	100.0	16,517,100
	宿泊を 伴わないもの	40,911人	50円			
都市 計画税	土 地	78,111,903千円	0.3%	232,503,700	96.4	504,582,711
	家 屋	98,776,262千円		290,916,300		
総 計				6,146,075,069	97.0	5,959,601,982

市民1人・1世帯当たりの税額表 (現年課税分)

税 目 \ 区 分	平成23年度 決算額 (円)	1人当たり 税額 (円)	1世帯当たり 税額 (円)
市 民 税 (個 人)	1,970,752,392	39,485	87,538
固定資産税 (交付金除く)	2,479,764,419	49,684	110,148
軽 自 動 車 税	104,676,600	2,097	4,650
市 た ば こ 税	438,010,660	8,776	19,456
入 湯 税	16,517,100	331	734
都 市 計 画 税	504,582,711	10,110	22,413
合 計	5,514,303,882	110,483	244,939

(注) 平成24年1月1日現在 住基 人口：49,911人 世帯：22,513世帯

第5表 一般会計歳出 性質別決算の状況

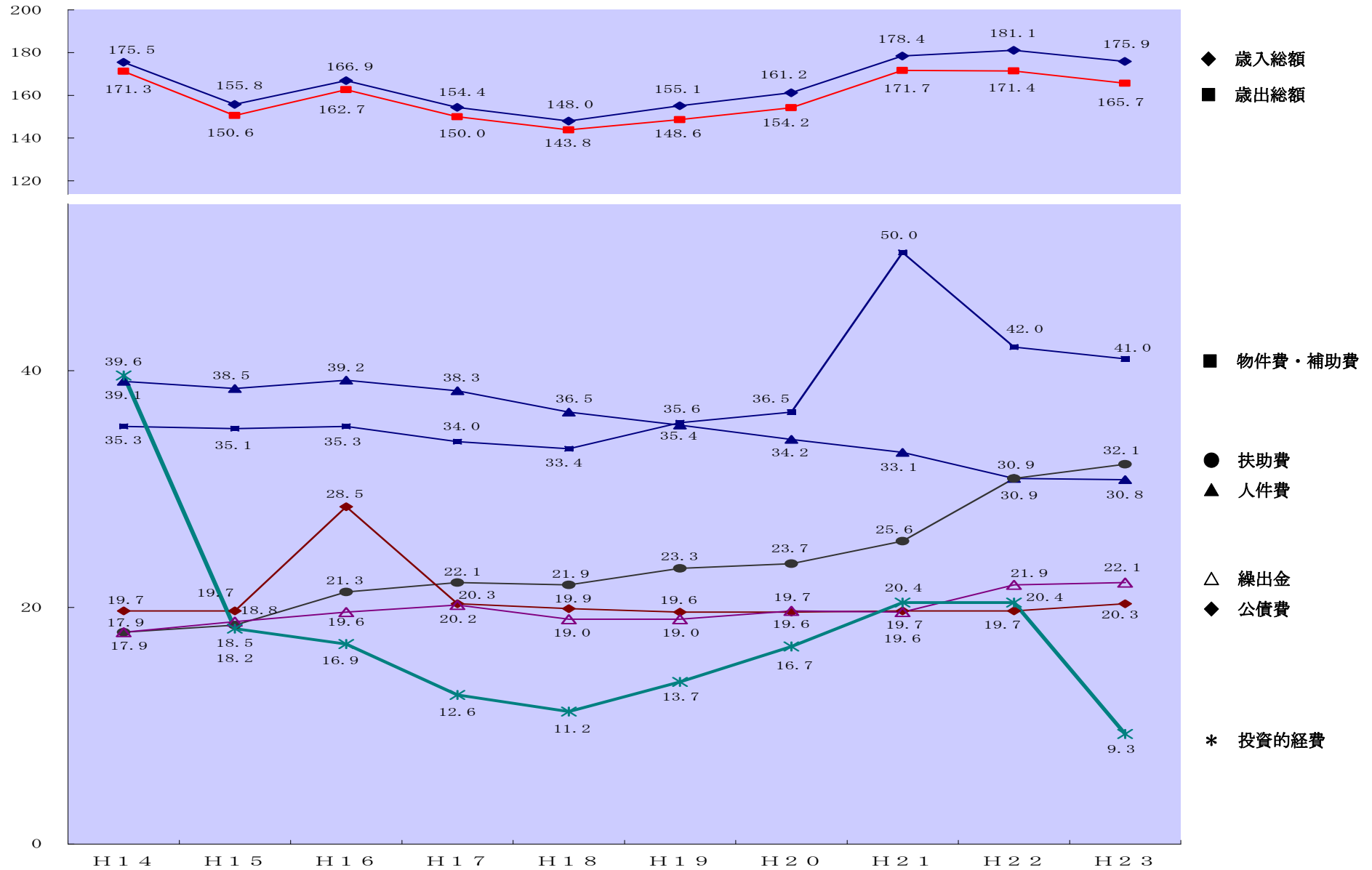
(単位 千円)

区 分	2 3 年度		2 2 年度		前年度比較	対前年度比 %
	決算額	構成比 %	決算額	構成比 %		
1 人 件 費	3,075,158	18.6	3,086,290	18.0	△ 11,132	99.6
2 扶 助 費	3,214,452	19.4	3,088,126	18.0	126,326	104.1
3 公 債 費	2,032,677	12.3	1,972,406	11.5	60,271	103.1
(義 務 的 経 費 小 計)	8,322,287	50.2	8,146,822	47.5	175,465	102.2
4 物 件 費	2,395,391	14.5	1,963,797	11.5	431,594	122.0
5 維 持 補 修 費	72,291	0.4	78,606	0.5	△ 6,315	92.0
6 補 助 費 等	1,706,847	10.3	2,231,522	13.0	△ 524,675	76.5
7 経 常 的 貸 付 金 等	70,118	0.4	72,842	0.4	△ 2,724	96.3
8 経 常 的 繰 出 金	1,885,100	11.4	1,826,892	10.7	58,208	103.2
(経 常 的 経 費 小 計)	14,452,034	87.2	14,320,481	83.6	131,553	100.9
9 積 立 金	627,577	3.8	348,019	2.0	279,558	180.3
10 投 資 ・ 出 資 金 ・ 貸 付 金	243,530	1.5	63,628	0.4	179,902	382.7
11 繰 出 金	320,307	1.9	366,173	2.1	△ 45,866	87.5
12 前 年 度 繰 上 充 用 金	0	0.0	0	0.0	0	-
13 投 資 的 経 費	925,096	5.6	2,039,984	11.9	△ 1,114,888	45.3
普 通 建 設 事 業 費	898,775	5.4	1,993,869	11.6	△ 1,095,094	45.1
災 害 復 旧 事 業 費	26,321	0.2	46,115	0.3	△ 19,794	57.1
合 計	16,568,544	100.0	17,138,285	100.0	△ 569,741	96.7

(注) 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入したものである。

図－Ⅱ 一般会計歳出（性質別）における決算額の推移（過去10年間）

（単位：億円）



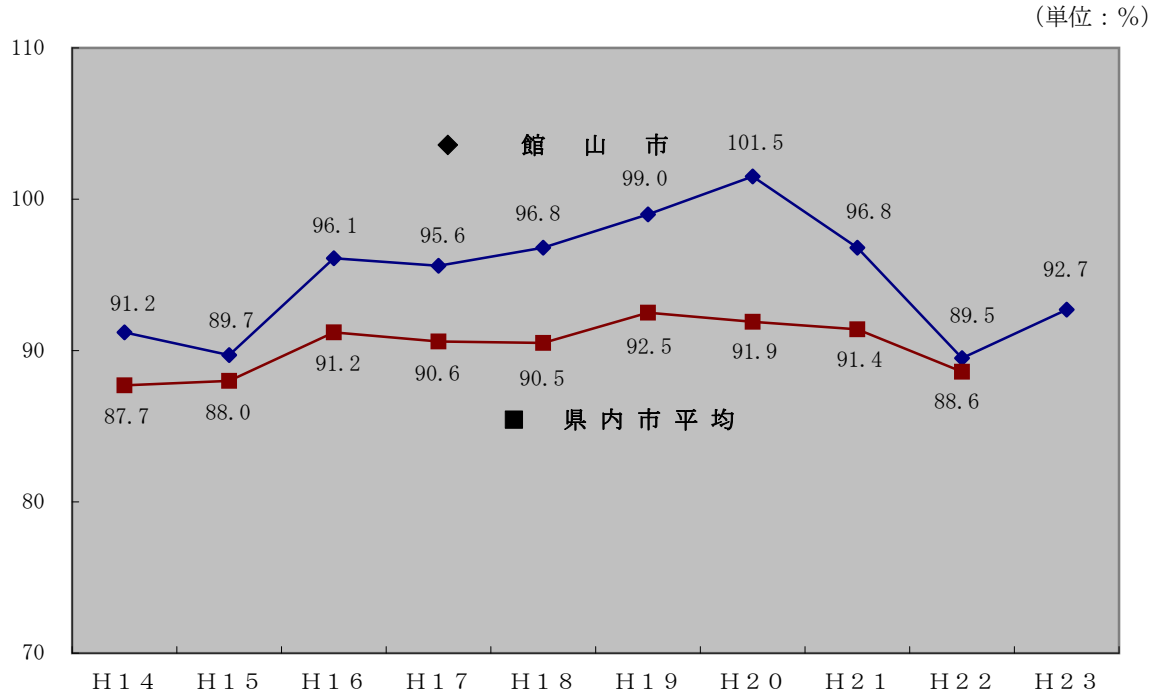
第6表 特別会計決算状況

(単位 千円)

会 計 名	区 分	2 3 年度		2 2 年度		2 1 年度	
		決算額	対前年度比 %	決算額	対前年度比 %	決算額	対前年度比 %
国 民 健 康 保 険	歳 入	6,729,557	104.9	6,413,131	98.9	6,485,781	102.0
	歳 出	6,461,226	104.1	6,209,454	98.5	6,304,089	102.4
	差引額	268,331	131.7	203,677	112.1	181,692	90.0
老 人 保 健	歳 入			1,694	21.7	7,791	1.3
	歳 出			1,694	23.4	7,231	1.3
	差引額			0	0.0	560	21.3
後 期 高 齢 者 医 療	歳 入	618,841	103.5	597,894	104.4	572,430	102.6
	歳 出	615,686	110.2	558,740	99.2	563,195	103.3
	差引額	3,155	8.1	39,154	424.0	9,235	72.7
介 護 保 険	歳 入	4,305,626	105.5	4,082,908	103.0	3,962,231	102.3
	歳 出	4,224,339	104.7	4,033,254	102.1	3,950,676	105.0
	差引額	81,287	163.7	49,654	429.7	11,555	10.4
学 童 災 害 共 済 事 業	歳 入	866	116.2	745	108.1	689	67.4
	歳 出	866	116.6	743	112.1	663	65.6
	差引額	0	0.0	2	7.7	26	216.7
下 水 道 事 業	歳 入	848,467	109.6	774,334	89.1	869,091	109.3
	歳 出	822,729	109.5	751,653	87.0	863,917	110.0
	差引額	25,738	113.5	22,681	438.4	5,174	52.0
特 別 会 計 合 計	歳 入	12,503,357	105.3	11,870,706	99.8	11,898,013	97.8
	歳 出	12,124,846	104.9	11,555,538	98.9	11,689,771	98.8
	差引額	378,511	120.1	315,168	151.3	208,242	61.6

(注) 老人保健特別会計は、平成22年度限りで廃止。
学童災害共済事業特別会計は、平成24年度から一般会計へ編入。

図一Ⅲ 経常収支比率の推移（過去10年間）



財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、前年度（89.5％）と比較し3.2ポイント上昇し92.7％となった。

分母となる経常一般財源は、109億2,649万3千円で、前年度比1億4,513万3千円（1.3％）の減となり、分子となる経常経費充当一般財源は、101億2,854万5千円で前年度比2億1,833万5千円（2.2％）の増となった。

主な要因として、経常一般財源（分母）においては、臨時財政対策債や地方消費税交付金の減額などによるものであり、経常経費充当一般財源（分子）においては、市議会議員共済負担金の増額による人件費の増、障害介護給付費の増額による扶助費の増、千葉県後期高齢者医療広域連合への負担金の増額による繰出金の増などによるものである。

健全化判断比率及び資金不足比率（下水道事業）については、いずれの指標においても、法令等で定める早期健全化基準及び経営健全化基準を下回った。

実質公債費比率は、公債費相当額（公債費や公営企業債に対する繰出金など）の標準財政規模に対する割合を示しており、過去3ヵ年の平均で算定される。昨年度算定に比べて0.2ポイント上昇しているが、これは、平成22年度から支払いが開始した、農用地総合整備事業負担金の影響などによるものである。

将来負担比率は、借入金残高などの将来負担額が、標準財政規模に対する割合を示す指標である。昨年度算定に比べて11.4ポイント改善しているが、これは、将来負担額の算出の際控除される、財政調整基金残高が前年度に比べて大幅に増加したことなどによるものである。

なお、実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率については、赤字（資金不足）額がなかったため、「該当なし」である（「-」で表示）。

第7表 健全化判断比率及び資金不足比率の推移

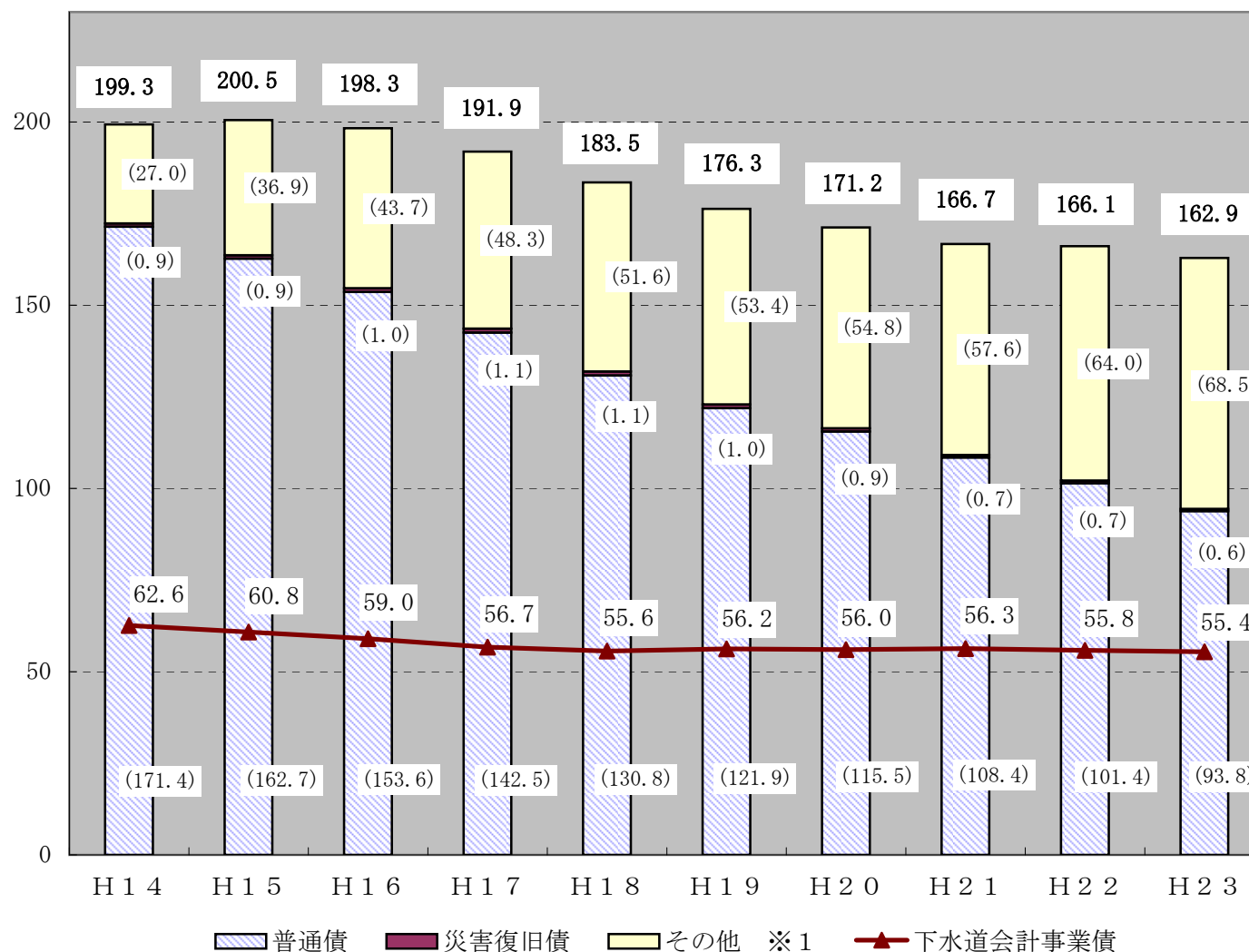
(単位：％)

各種指標	館山市の比率				早期健全化基準	財政再生基準
	H20	H21	H22	H23		
実質赤字比率	-	-	-	-	13.22	20.0
連結実質赤字比率	-	-	-	-	18.22	30.0
実質公債費比率	7.5	7.3	7.5	7.7	25.0	35.0
将来負担比率	107.3	106.6	90.5	79.1	350.0	-
資金不足比率	-	-	-	-	20.0（経営健全化基準）	

（注）経常収支比率及び第7表の各種数値は、国・県において内容確認中であり確定数値ではありません。

図－Ⅳ 市債残高の推移（過去 10 年間）

（単位：億円）



（ ）内数値は、一般会計地方債の種別内訳数値

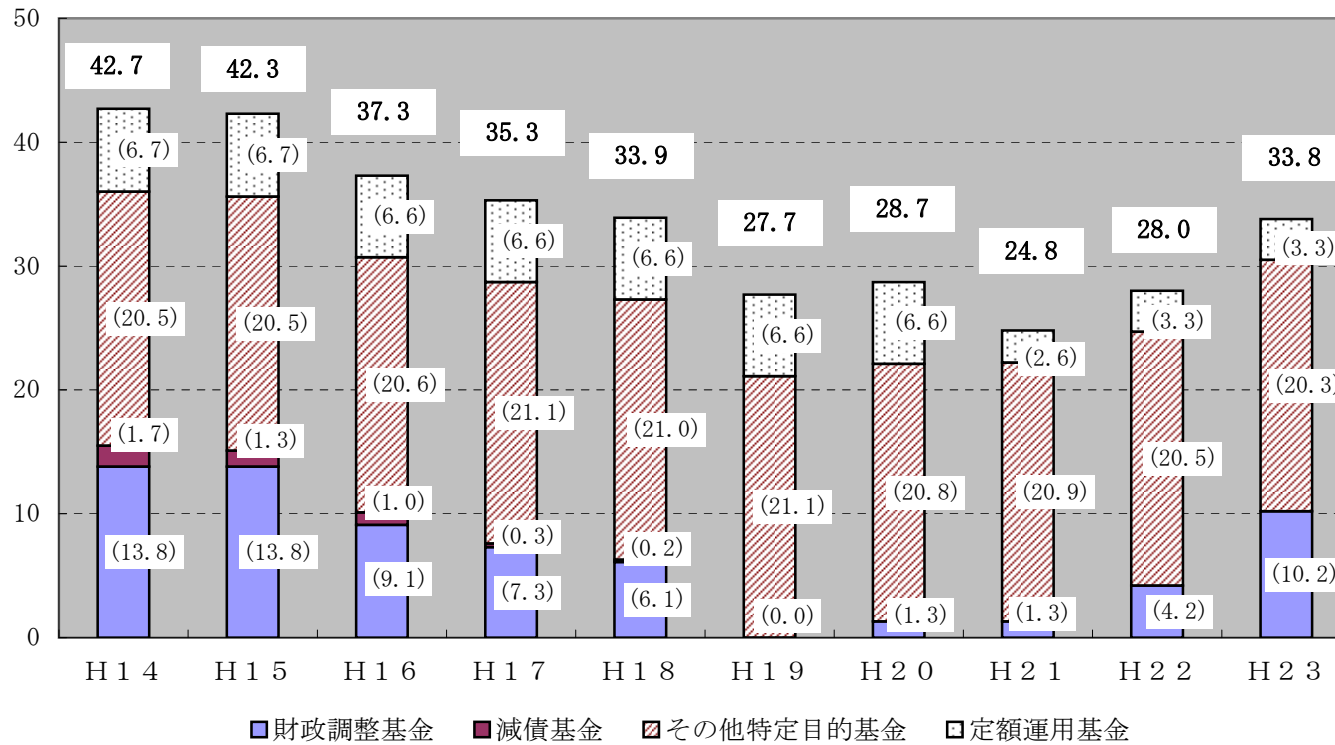
※ 1 その他は、臨時財政対策債・減税補てん債・臨時税収補てん債・減収補てん債の合計

平成 23 年度決算における市債残高（一般会計分）は、前年度末と比較し 3 億 1,646 万 6 千円（1.9%）の減となった。

主な要因として、歳入においては、渚の駅整備事業や船形館山港線道路整備事業（鏡ヶ浦通り）などの大規模事業の完了や臨時財政対策債の減額などにより、新規借入が 1 億 7,240 万円減少し、歳出においては、衛生債（上水道事業債）や臨時財政対策債などの元金償還が進んだためである。

図－Ⅴ 基金残高の推移（過去10年間 普通会計）

（単位：億円）



平成23年度決算における基金残高（普通会計分）は、33億8,368万6千円となり、平成18年度決算以来の30億円超過となった。

財政調整基金については、平成22年度決算剰余金の積立などにより、前年度末と比較し6億232万8千円（143.1%）の増額となり、平成15年度決算以来の10億円超過となった。

〔 普通会計 基金種類 〕

- 財政調整基金
年度間の財政の不均衡を調整し、財政の健全な運営を図るための基金
- 減債基金
市債償還の財源を確保し、計画的な償還を行うために設けられる基金
- その他特定目的基金
庁舎建設基金、地域福祉基金、福祉基金、中山間地域農村活性化基金、スポーツ振興基金、観光振興基金、フレフレ・たてやま応援基金、学童災害共済基金
- 定額運用基金
土地開発基金、ふるさと創生奨学基金、看護師等修学資金貸付基金、文化振興基金

各 部 門 の 事 業 概 要

I 一般会計

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事 業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
1 議会費	市議会議員共済負担金 【 P 53 職員給与費 】 【 総務課 】	72,476	72,364	平成23年6月1日に地方議会議員年金制度が廃止されたことに伴い、廃止による経過措置としての給付に要する費用の財源（平成23年度分）を、現職議員の標準報酬月額に応じて各地方公共団体が負担し、共済制度の維持に努めた。
	議会報発行事業 【 P 53 議会運営事業 】 【 議会事務局 】	1,479	1,373	「議会だより」を発行し、議会の活動状況について市民へ情報提供を行った。 発行回数：年4回（5月，8月，11月，2月） 発行部数：22,000部（全戸配布） 内 容：A4版 2色刷り（内1回はカラー刷り） 全40ページ（1回10ページ） ・ 印刷製本費 1,373千円
	会議録調製委託料 【 P 53 議会運営事業 】 【 議会事務局 】	2,063	2,011	本会議及び委員会の会議録の作成を委託することにより、事務能率の向上を図り、速やかな情報公開に努めた。 平成23年度 定例会4回 臨時会2回
	政務調査費交付金 【 P 55 議会調査活動事業 】 【 議会事務局 】	1,800	1,543	議会における各会派の市政に関する調査研究を推進し、議会活動の充実に資するよう努めた。 各会派（一人会派を含む）単位に支給 7会派 18人 ▼ 市民クラブ（7人） 624千円 ・ 調査旅費 島根県大田市：世界遺産登録における行政の役割などについて 島根県出雲市：スポーツ振興における行政支援の取組み状況等 ・ 議員研修参加費 外 ▼ 新生クラブ（4人） 363千円 ・ 調査旅費 徳島県上勝町：ごみ減量化の取組み及び木質バイオマスへの取組み状況等 兵庫県淡路市：震災復興における防災行政（耐震化事業）の取組み状況等 広島県広島市：平和行政への取組み状況等 東京都大島町：高速ジェット船運航に伴う経済効果などについて ・ 議員研修参加費 外 ▼ 緑風会 （2人） 179千円 ※11月30日付 2人から1人へ変更 ・ 議員研修参加費 ▼ 公明党 （2人） 188千円 ・ 調査旅費（同上 新生クラブと同一内容） ・ 議員研修参加費 外 ▼ 社会民主党（1人） 0千円 ▼ 日本共産党（1人） 100千円 ・ 市政報告印刷配布費用 ▼ 館山未来 （1人） 89千円 ・ 調査旅費（同上 新生クラブと同一内容 ※東京都大島町除く） ・ 資料購入費

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
2 総務費	職員研修事業 【 P 57 職員育成事業 】 【 総務課 】	2,916	2,046	職員研修（派遣研修，集合研修，通信教育等）を実施し，職員の資質向上を図ることにより，多様化・高度化する各種行政課題への対応力の向上に努めた。 1 派遣研修 延べ 70名 ・ 千葉県自治研修センター・市町村アカデミー等における専門能力向上を目的とした研修 ・ 新任役職（課長・副課長・主幹）に応じた資質向上を目的とした研修 外 2 集合研修 延べ149名 ・ 新規採用職員に対する，基礎知識習得及び現場体験研修 ・ 勤続3年以内の職員に対する，接遇向上のための研修 ・ 新任役職（係長・主査）に応じた資質向上を目的とした研修 外 3 通信教育等 延べ 39名 ・ 2級（主事）職員に対する，中堅社員実力養成コース・地方行政実務コース 外 各種研修負担金 753千円 通信教育受講手数料 628千円 外
	福利厚生事業 【 P 59 福利厚生事業 】 【 総務課 】	3,110	2,108	労働安全衛生法に基づく職員及び非常勤職員の定期健康診断を実施する他，職員の福利厚生に必要な事業を行った。 定期健康診断 333人（職員233人 非常勤職員100人） ・ 定期健康診断委託料 1,436千円 外
	総合法令例規管理システム業務委託料 【 P 59 法規事務 】 【 総務課 】	1,869	1,869	例規類集データベースの構築により条例，規則等の制定改廃作業の効率向上を図るとともに，インターネットによる例規類集の公開を行った。 条例制定3本 条例改正23本 規則制定1本 規則改正35本 外36本 ・ 総合法令例規管理システム業務委託料 1,869千円
	行財政改革推進事業 【 P 59 】 【 行革財政課 】	319	119	「館山市行財政改革方針」の目標である，平成25年度決算における財政収支の均衡回復を目指し，事業仕分け（第5回外部評価）による事務事業の見直しを行い，行財政改革に努めた。 事業仕分け：8月27日実施 評価対象：市有財産の管理事業 外4事業 ・ 行財政改革委員会委員報酬 51千円 外
	広報発行事業 【 P 61 広報発行事業 】 【 秘書広報課 】	10,848	10,003	広報「だん暖たてやま」を月2回発行し，市政情報を迅速かつ的確に市民に提供するよう努めた。 年間発行回数 : 23回（月2回〔1日号・15日号〕※1月1日号を除く） 年間発行ページ数：356ページ（1回 約15.5ページ） 総発行部数 : 500，250部（1回 21，750部） ・ 印刷製本費 9,709千円 外

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
2 総務費	行政事務委託料 【 P 61 行政事務委託事業 】 【 社会安全課 】	17,688	17,363	市民に対し、行政事務連絡の徹底を図り、市と町内会等との連絡を円滑にし、市行政事務の効率的運用に努めた。 1 行政事務委託料（委託先：155町内会）16,029千円 均等割 4,000 円（1町内会当たり） 世帯割 760 円（1世帯当たり） 委託内容：① 市広報及び文書の配布に関する事 ② 市通達事項の周知伝達に関する事 ③ 簡易な調査報告に関する事 2 文書配達委託料（委託先：社団法人 館山シルバー人材センター）1,334千円 1回 58,000円 23回分（各月2回、但し1月は1回）
	町内会連合協議会補助金 【 P 61 町内会連合協議会事業 】 【 社会安全課 】	5,445	5,445	町内会相互及び市との連絡調整等を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的に設立された、館山市町内会連合協議会の活動費の一部を補助し、円滑な活動が行えるよう支援した。 補助対象：館山市町内会連合協議会
	市庁舎耐震改修事業 【 P 67 庁舎管理事業 】 【 管財契約課 】	63,686	56,045	大地震発生時に来庁者や職員の生命の保護を図るとともに、被災後の復旧活動の拠点としての機能を確保するため、本館事務棟の耐震改修工事及びこれに伴う工事監理を実施し、庁舎整備の推進を図った。 建物概要 昭和35年築 RC造 延床面積3,220㎡ 平成22年度 詳細設計委託 平成23年度 改修工事（屋上庇撤去、屋上防水、外壁改修・塗装工） 平成24年度 改修工事（鉄骨ブレース設置等による耐震補強） ・ 市庁舎（本館事務棟）耐震改修工事請負費 53,000千円 参考：全体事業費 221,377千円 ・ 工事監理委託料 3,045千円 （平成22年度～24年度）
	市庁舎空調機設置事業 【 P 67 庁舎管理事業 】 【 管財契約課 】	40,550	14,950	老朽化に伴う故障により、使用可能台数が年々減少しているモジュラック式空調機（集中管理方式）を廃止し、空冷式空調機（個別管理方式）に更新することにより、庁舎内の環境の向上及び運転経費の縮減を図った。 空冷式空調機 室内機46台、室外機32台設置 既設モジュラック式空調機撤去 ・ 市庁舎空調機設置工事請負費 14,950千円 ※ 予算現額には、平成24年度への繰越分25,375千円含む
	サーバ室改修事業 【 P 67 庁舎管理事業 】 【 管財契約課 】	16,685	15,996	市庁舎耐震改修工事に伴い、本館地下のサーバ機器に支障が発生するため、サーバ室を2号館1階電算室脇へ移設し基幹系システムの安定稼動に努めた。 ・ サーバ機器移動委託料 13,818千円 ・ サーバ室床改修工事 924千円 外

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
2 総務費	参与報酬 【 P 69 参与事務 】 【 企画課 】	912	912	経験と見識を有する参与を設置し、館山湾の活用やみなとまちづくりの推進など、市政に対する助言・指導を得ることで、事務執行上の課題解決に役立てた。 助言・指導案件 14件
	安房広域市町村圏事務組合総務費負担金 【 P 69 一部事務組合事務 】 【 企画課 】	25,542	25,542	行政事務の効率化を図るため、安房地域4市町共同で行う職員採用試験、研修等の事務費及び組合の総務費、議会費について負担金を支出した。
	地方バス路線維持費補助金 【 P 69 地方バス路線維持事業 】 【 企画課 】	7,889	7,406	生活バス路線の運行を維持するため、南房総市と連携して交通事業者に対し補助金を交付し、地域住民の移動手段を確保した。 補助対象：館山日東バス(株) 補助金額：丸線・平群線 5,761千円 豊房線 1,601千円 市内線 44千円
	地域おこし協力隊事業 【 P 71 地域おこし協力隊事業 】 【 農水産課 】	6,984	6,198	地域農業の活性化のため、都市部などから意欲ある人材を農村地域に積極的に誘致し、その発想・能力を活用し、地産地消、農業の6次産業化の推進や地域への定住・定着により、農村集落の地域力の維持・強化を図った。 1 隊員 2名委嘱 期間 平成23年6月～平成26年3月 2 活動内容 農業技術や農産物等加工技術等の習得、農村地域での農作業支援、耕作放棄地の活用、地域イベントなどへの協力、集落共同作業への協力、農業の6次産業化や地産地消の推進活動など 3 活動地域 神戸地区、豊房地区、神余地区ほか 4 報償金 地域おこし協力隊員(2名)への活動に対する報償金 166,000円/月 5 支援委託料 地域農業関係団体等に対して、地域おこし協力隊員2名に係る活動等の支援業務を市内2団体に委託(農業技術習得、地域交流支援、農地確保、住居確保など)
	防災行政無線整備事業 【 P 71 防災行政無線事業 】 【 社会安全課 】	65,687	21,755	防災行政無線の設置されていない未整備地域の早期解消及び津波対策の強化を図るため、海岸部を中心に5局の新設を行った。また、既存の防災行政無線の保守点検及び屋外拡声子局等の修繕工事を実施し、災害時における情報連絡体制の確保を図った。 1 デジタル防災行政無線設備設置工事 16,590千円 5局(川崎・笠名・大賀・伊戸・犬石) 2 防災行政保守点検業務委託 2,870千円 年1回点検(89局分) 3 防災行政無線屋外拡声子局修繕工事 2,295千円 拡声装置・スピーカ交換等 防災行政無線設置基数 115基(平成23年度末) (デジタル式51基 アナログ式64基) ※ 予算現額には、平成24年度への繰越分40,468千円含む

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
2 総務費	交通安全施設整備事業 【 P 75 交通安全対策事業 】 【 社会安全課 】	9,860	9,040	町内会からの要望や現地パトロール、関係機関等との現地診断などに基づく交通危険箇所に、道路反射鏡、防護柵及び区画線等の整備を行い交通事故の防止に努めた。また、町内会へ生活道路への道路反射鏡の鏡面や支柱の資材支給を行い、地域での安全確保を図った。 1 施設整備工事請負費 8,391千円 反射鏡 38基 防護柵 17m 区画線 6,954m 路面塗装 135㎡ 他 2 工事（施設）整備用材料費 649千円 反射鏡鏡面 30枚 支柱 13本 電柱取付用金具 4組 二面用取付金具 5組
	電算システム運用事業 【 P 77 電算システム運用事業 】 【 管財契約課 】	106,859	104,806	オープンシステムに移行した基幹系システム及び財務会計システム等について、業務委託などによる運用や制度改正に伴う改修を行い、システムの安定稼働及び事務処理の簡素化・効率化を図った。 ・ システム改修委託料 336千円 ・ 基幹系システム運用・維持管理業務委託料 71,575千円 ・ 機械器具等借上料 27,773千円 外
	電子自治体推進事業 【 P 77 電子自治体推進事業 】 【 管財契約課 】	27,469	23,941	電子自治体の基盤となるパソコン等の機器及び行政情報ネットワークの整備・維持管理を行い、ＩＣＴを活用した業務の合理化、効率化を図った。 また、ホームページ作成システムの更新を行い、平時・災害時を問わない安定した情報発信能力・セキュリティ機能の向上を図った。 ・ サーバ等保守委託料 4,381千円 ・ ホームページ再構築委託料 5,849千円 ・ 庁用器具費（パソコン、サーバ機器、周辺機器等） 8,808千円 外
	総合行政ネットワーク事業 【 P 77 総合行政 ネットワーク事業 】 【 管財契約課 】	1,432	1,431	行政専用のネットワークである総合行政ネットワーク（ＬＧＷＡＮ）設備機器等の安定運用に努め、地方公共団体相互の情報共有及び国の各府省との情報交換を行い、行政事務の効率化を図った。 ・ インターネット等通信料 769千円 ・ サーバ等保守委託料 662千円
	コミュニティ事業補助金 【 P 79 自主防災促進事業 】 【 社会安全課 】	1,148	1,073	自主防災組織による、防災器材や非常食の備蓄に助成することで、災害時の迅速かつ効率的な救援活動を推進し、自主防災組織の充実を図った。 コミュニティ事業補助金 1,073千円 補助対象：自主防災会 補助金額及び件数 ① 施設整備分（事業費の１／２以内 限度額１００万円） 件数 なし ② 備品購入分（事業費の２／３以内 限度額 ２０万円） 件数 仲町区自主防災会 外８件

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
2 総務費	コミュニティ事業補助金 【 P 79 コミュニティ事業 】 【 社会安全課 】	4,951	4,601	市民と行政が分担協働する市民参加のまちづくりを推進するため、地区コミュニティ又は地域コミュニティ組織が実施するコミュニティ事業に対し助成し、円滑な活動が行えるよう支援した。 1 コミュニティ事業補助金 2,101千円 ① コミュニティ集会施設等整備事業（5地区：犬石区・上真倉区・東区・茂名区・笠名区） 地区が保有する集会施設等の修繕に対し事業費の一部を補助 ② コミュニティ活動推進事業（10地区） 館山市コミュニティ連絡協議会構成地区へ活動費の一部を補助 2 自治総合センター助成事業 2,500千円 一般コミュニティ助成事業（1団体：高井地区 御輿修繕事業）
	コミュニティセンター運営事業 【 P 79 コミュニティ センター運営事業 】 【 中央公民館 】	22,840	21,504	コミュニティセンターの適正な管理運営を図り、利用者へのサービスの向上、市民の社会教育活動の推進に努めた。 1 利用状況 7,250件 延べ135,390人 2 主な利用用途 サークル活動・各種会議・保健推進事業 外 3 施設管理 ① 非常勤職員賃金 3,189千円 ② 空調設備保守点検委託料 1,607千円 ③ 緑地管理委託料 2,100千円 他
	豊津地区学習等供用施設運営事業 【 P 79 豊津地区 学習等供用施設運営事業 】 【 中央公民館 】	3,248	2,978	豊津地区学習等供用施設（豊津ホール）の適正な管理運営を図り、利用者へのサービスの向上、市民の社会教育活動の推進に努めた。 1 利用状況 1,145件 延べ15,327人 2 主な利用用途 サークル活動・各種会議 外 3 施設管理 非常勤職員賃金 1,855千円 他
	中央地区学習等供用施設運営事業 【 P 81 中央地区 学習等供用施設運営事業 】 【 中央公民館 】	23,299	21,825	中央地区学習等供用施設（菜の花ホール）の適正な管理運営を図り、利用者へのサービスの向上、市民の社会教育活動の推進に努めた。 1 利用状況 3,134件 延べ37,447人 2 主な利用用途 サークル活動・各種会議 外 3 施設管理 非常勤職員賃金 1,573千円 他 4 省エネ改修事業 老朽化した空調システムについて、既存のガスヒートポンプ式から高効率の電気式に更新するとともに、照明設備をLED型及び環境配慮型へ更新し、省エネ化を図り、利用者へのサービスの向上に努めた。 ① 建物概要 鉄筋コンクリート2階建て（平成6年10月建築） 延べ床面積741㎡ ② 工事請負費 16,485千円、工事監理委託料 567千円

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
2 総務費	那古船形地区学習等供用施設運営事業 【 P 81 那古船形地区 学習等供用施設運営事業 】 【 中央公民館 】	7,261	6,802	那古船形地区学習等供用施設（若潮ホール）の適正な管理運営を図り、利用者へのサービスの向上、市民の社会教育活動の推進に努めた。 1 利用状況 1, 4 2 7 件 延べ1 3, 7 9 7 人 2 主な利用用途 サークル活動・各種会議 外 3 施設管理 那古船形地区学習等供用施設日常業務委託料 2,797千円 他
	男女共同参画推進事業 【 P 83 男女共同参画推進事業 】 【 企画課 】	112	80	男女共同参画社会の実現に向け、館山市コーラル会議の開催や啓発活動を中心に、男女共同参画の推進を図った。 ・ コーラル会議委員報酬 56千円 外
	国際交流事業 【 P 83 国際交流事業 】 【 企画課 】	2,057	2,011	国際化に対応するため、外国人観光客や在住外国人に対し、ホームページやパンフレットの作成などにより情報提供に努めた。 また、姉妹都市であるベリンハム市、ポーツティープンス市や市民レベルでの国際交流を行う館山国際交流協会の活動を支援し、市民主体の国際交流を推進した。 ・ 非常勤職員賃金 1,667千円 ・ 館山国際交流協会補助金 312千円 外
	ふるさと納税事務 【 P 83 ふるさと納税事務 】 【 企画課 】	216	158	ふるさと納税制度のPRに努めるとともに、寄附された方に対し記念品を贈呈し、制度の活用促進を図った。 平成23年度寄附件数：90件 平成23年度寄附総額：10,534,390円
	東日本大震災避難者支援事業 【 P 85 東日本大震災 避難者支援事業 】 【 福祉課 】	19,704	2,057	東日本大震災による市内避難者に対し、各種サービス（民間賃貸住宅借上げによる応急仮設住宅の提供、生活支援情報の提供、相談業務等）を提供し、避難者の生活の安定を図った。 ・ 家屋借上料 1,232千円 提供世帯：4世帯 ・ 非常勤職員賃金 582千円 雇用実績：1人 ・ 見舞金 等 243千円 見舞金配付世帯：20世帯
	東日本大震災被災者支援事業 【 P 85 東日本大震災 被災者支援事業 】 【 総務課 】 【 福祉課 】	1,441	1,327	東日本大震災による被災者に対し、各種サービス（支援物資の提供や輸送、被災地への職員派遣）を行い、被災者の生活の安定を図った。 ・ 自動車等借上料 130千円 被災者支援用消耗器材費 857千円 平成23年4月トラックにより被災地（岩手県久慈市・宮古市、福島県いわき市）へ支援物資を輸送 ・ 普通旅費 340千円 平成23年6・7・8月の4回 市職員計6名を被災地（宮城県石巻市・多賀城市、岩手県陸前高田市）に派遣した。

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
2 総務費	個人住民税システム等運用事業 【 P87 賦課事務 】 【 税務課 】	18,986	17,594	国税連携による個人住民税課税データ(確定申告データ)の電子データとしての収受及びe L T A Xを利用した法人市民税の確定申告の電子申告等に対応するためのシステムを導入するなど、O A機器を活用し、課税事務の適正化に努めるとともに、賦課業務の省力化及び効率化を図った。 ・ 個人住民税電算処理業務委託料 5,761千円 e L T A X利用者数 ・ システム借上料 9,236千円 1,182件 (平成23年度実績) ・ 機械器具等借上料 1,002千円 ・ パーソナルコンピュータ保守委託料 948千円 ・ 地方税電子化協議会負担金 647千円
	納税通知書作成等委託料 【 P87 賦課事務 】 【 税務課 】	4,443	3,785	固定資産税及び軽自動車税の納税通知書作成等の業務を委託し、課税業務の迅速化を図った。 ・ 固定資産税納税通知書作成等委託料 2,765千円 ・ 軽自動車税納税通知書作成等委託料 1,020千円
	固定資産税土地評価業務委託料 【 P87 賦課事務 】 【 税務課 】	11,930	11,929	平成24年度固定資産税評価替えに向け、不動産鑑定に基づく路線価等の付設を行うとともに、固定資産税土地システムの地番図データの更新及び公図の修正を行い、評価事務の適正かつ効率化及び課税の適正化を図った。 ・ 固定資産税土地評価業務委託料 11,550千円 ・ 不動産鑑定委託料 379千円
	徴収事務 【 P 87 徴収事務 】 【 納税課 】	8,518	6,840	市民の納税意識の高揚を図るとともに、徴収率の向上に向け、各種の徴収対策を講ずることにより、税収の確保に努めた。 市税徴収率 85.00% (前年度 83.24%) 国民健康保険税徴収率 58.83% (前年度 56.30%) 1 滞納処分の強化 納期内納税者との均衡を保つため、差押を前提とした滞納処分に努めた。 差押536件 参加差押14件 (不動産161件(内参加差押14件)、預金59件、国税還付金44件、生命保険193件、給与36件、売掛金8件、年金45件、動産1件、車両1件、賃料2件) 2 公売の実施 差押えた不動産及び動産を公売することにより、滞納市税の回収を図った。 実施回数 8回 11件 落札件数 7件 落札総額 12,196千円 (うちインターネット公売 動産3回1件 不動産2回1件 落札額 1,382千円) 3 口座振替制度及び郵便振替制度の普及率向上及び納期限内納付の促進に努めた。 口座振替 58,295件 収納額 1,520,962千円 郵便振替 15,713件 収納額 338,790千円 4 口座振替推進キャンペーン (平成23年4月～8月) 口座振替利用者の増加を図るため、金融機関等と共同して口座振替推進キャンペーンを実施した。 期間中新規口座振替利用者 585件増加 (平成22年度 1,146件 平成23年度 1,731件)

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
2 総務費	戸籍・住民基本台帳等事務 【 P 89 戸籍・住民基本台帳等事務 】 【 市民課 】	23,712	21,687	1 オンラインシステムの効率的運用により、住民記録の正確かつ迅速な処理に努めるとともに、多様化する窓口業務に対応するため、庁内外での職員研修により資質の向上を図り、住民サービスへの向上に努めた。 (1) 戸籍関係 出生（5 5 1 件） 死亡（8 7 5 件） 婚姻（5 9 6 件） 離婚（1 7 4 件） 養子縁組（5 1 件） 養子離縁（2 8 件） 転籍（2 5 2 件） その他（3 6 2 件） (2) 住民基本台帳関係 転入（1, 9 2 7 人） 転出（1, 9 3 2 人） 出生（3 4 8 人） 死亡（6 5 5 人） 転居（1, 4 5 9 人） 変更（6 1 0 人） 住民票職権記載等（3 4 人） (3) 謄抄本請求関係 戸籍（1 8, 0 7 2 件） 住民票（2 3, 9 1 4 件） (4) 印鑑登録関係 登録（1, 9 3 9 件） 証明（1 2, 5 0 0 件） 廃止（1 7 9 件） 亡失（4 6 6 件） その他（1, 4 2 1 件） (5) 諸証明 証明（7, 7 7 2 件） 臨時運行許可（5 1 5 件） (6) 平成24年3月末日現在戸籍及び住民基本台帳人口 本籍数 2 5, 2 5 6 戸籍 本籍人口数 5 9, 0 9 5 人 住民基本台帳世帯数 2 2, 4 7 2 世帯 住民基本台帳人口 4 9, 6 7 7 人 （男23, 9 3 6 人 女25, 7 4 1 人） 2 住民基本台帳ネットワークシステムの維持管理を行った。 ネットワークシステム保守委託料 682千円 ネットワークシステム借上料 3,402千円 3 電算化された戸籍システムの維持管理を行った。 戸籍システム保守委託料 3,150千円 戸籍電算化システム借上料 6,175千円

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
2 総務費	千葉県議会議員選挙事務 【 P 91 職員給与費 】 【 P 91 県議会議員選挙事務 】 【 総務課 】 【 選挙管理委員会事務局 】	781	753	任期満了に伴う千葉県議会議員一般選挙を執行した。 投票日：４月１０日 告示日：４月１日 館山市選挙区 定数１人 立候補者数１人 （無投票）
	館山市議会議員選挙事務 【 P 93 職員給与費 】 【 P 93 市議会議員選挙事務 】 【 総務課 】 【 選挙管理委員会事務局 】	22,266	22,223	任期満了に伴う館山市議会議員一般選挙を執行した。 投票日：４月２４日 告示日：４月１７日 定数１８人 立候補者数２２人 当日有権者数４１，４３４人 投票者数２５，９２８人 投票率６２．５８％
	農業委員会委員選挙事務 【 P 91 職員給与費 】 【 P 93 農業委員会委員選挙事務】 【 総務課 】 【 選挙管理委員会事務局 】	174	133	任期満了に伴う館山市農業委員会委員一般選挙を執行した。 投票日：７月１０日 告示日：７月３日 定数１５人 立候補者数１５人 （無投票）
	監査委員報酬 【 P 97 監査委員報酬 】 【 監査事務局 】	1,068	1,051	館山市の財務に関する事務の執行及び経営に関する事業の管理が、適切に行なわれているか監査を行なった。 ・ 監査委員報酬 1,051千円 （識見委員 636千円 議選委員 415千円） 〔 監査内容 〕 例月出納検査 毎月１回 定期監査 年２回に分け、全課及び全行政委員会の監査 財政援助団体等に対する監査 ５団体（（社）館山市社会福祉協議会 外） 決算審査及び基金の運用状況審査 年１回 健全化判断比率等審査 年１回 住民監査請求監査 年３件（坂田地区 市有地売却に関するもの）

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
3 民生費	障害福祉計画策定事業 【 P 99 福祉事務費 】 【 福祉課 】	4,768	3,167	計画的な障害者福祉の増進を図るため、平成24年度からの3ヵ年間の障害福祉サービス事業量見込等の計画策定を行った。 ・ 障害福祉計画策定委員報償金 122千円 ・ 障害福祉計画策定委託料 3,045千円
	民生委員業務委託料 【 P 99 民生委員事業 】 【 福祉課 】	3,690	3,690	民生委員児童委員協議会の活動(会議運営、研修、機関紙発行等)に対する支援業務を社会福祉協議会に委託し、民生委員・児童委員による地域福祉活動の推進を図った。 民生委員・児童委員数：109名(うち主任児童委員10名) 〔主な活動内容〕 ・ 機関紙『ともしび館山』の発行、地域福祉に係る相談や指導活動
	福祉団体補助事業 【 P 99 福祉団体補助事業 】 【 福祉課 】	24,952	24,952	社会福祉協議会の活動を活発化し、地域ぐるみ福祉ネットワークの推進を図るため、支援を行った。 1 社会福祉協議会補助金 18,866千円 地域福祉の中心的役割を担う館山市社会福祉協議会の活動を支援するため、協議会の人件費に対して助成を行い、協議会の基盤を安定させることにより地域福祉の総合的推進を図った。 2 地域ぐるみ福祉ネットワーク事業補助金 4,661千円 館山市社会福祉協議会が実施する「地域ぐるみ福祉ネットワーク事業」に対し、助成を行い、“お互いが支えあい、助けあうまちづくり”の推進を図った。 〔補助対象事業〕 ① 地域ぐるみ福祉専任職員人件費 ② 小域福祉圏活動推進事業 ③ ボランティア活動促進事業 ④ ボランティア傷害保険事業 3 地域福祉事業活動費補助金 1,425千円 高齢者等の保健福祉に関する民間活動の活発化を図り、高齢者保健福祉を増進するため、地域福祉基金の運用益を活用して、社会福祉協議会が実施する各種事業に補助した。 〔補助対象事業〕 ① 地域ボランティア活動の推進と見守りネットワークの整備 ② ふれあい・いきいきサロンへの支援 ③ 地域福祉世帯票の整備 ④ 高齢者テレホンサービスの実施 ⑤ お年寄りや障害者とのふれあい作文募集事業 外

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
3 民生費	障害福祉給付事業 【 P101 障害福祉給付事業 】 【 福祉課 】	156,976	149,869	障害者等に医療費を助成、各種手当の給付により、障害者等の福祉の増進を図った。 〔 主な事業内容 〕 1 配食サービス事業委託料 838千円 1,095食(実人数：10人) 65歳未満の単身世帯で、知的・身体・精神障害の理由により、自分で食事の準備や調理が十分にできない方を対象に、食事の提供とともに安否確認を行った。 2 福祉タクシー利用助成金 1,876千円 249人(実人数) 重度の心身障害者(児)がタクシーを利用した場合に、その料金の一部を助成することにより、社会参加の促進を図った。 3 重度障害者等福祉手当 4,256千円 43人(実人数) 重度知的障害者又はその養育者に対し、障害ゆえに生ずる負担を軽減するために手当を支給した。 4 心身障害者(児)医療費給付扶助費 121,492千円 1,304人(実人数) 心身障害者(児)に対し、心身障害者医療費を支給し、その生活の安定と福祉の増進を図った。 5 特別障害者手当 17,422千円 62人(実人数) 精神又は身体に著しい重度の障害を有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態に有る在宅の20歳以上の者に手当を支給した。 6 障害児福祉手当 3,384千円 23人(実人数) 精神又は身体に重度の障害を有するため、日常生活において常時介護を必要とする状態に有る在宅の20歳未満の者に手当を支給した。
	福祉作業所管理運営委託料 【 P101 福祉施設運営事業 】 【 福祉課 】	8,000	8,000	就労することが困難な15歳以上の心身障害者の自立助長を図るため、仕事の提供及び生活指導を行った。 福祉作業所利用者数：16名(定員数19名)(24年3月末現在) 利用対象者：① 年齢15歳以上で作業能力があること ② 市内に居住し、通所することが可能であること 作業内容：マジックペン組立作業等 管理運営：安房広域福祉会による指定管理(平成19年10月から)

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
3 民生費	地域生活支援事業 【 P101 地域生活支援事業 】 【 福祉課 】	40,286	35,463	相談事業，日常生活用具の給付，移動支援事業等を実施することにより，障害者等の自立した社会生活を支援した。 〔 主な事業内容 〕 1 地域生活支援センター委託料 7,557千円 1事業所 障害者等に対し，創作的活動又は生産的活動の機会の提供や社会との交流促進，相談支援などを行い，障害者の自立支援事業を実施した。 2 身体障害者入浴サービス委託料 900千円 2人（実人数） 居宅における入浴が困難な寝たきりの身体障害者に対し，保健衛生及び在宅福祉の向上を図るため，入浴援護事業を実施した。 3 地域活動支援センター運営費補助金 3,091千円 1事業所 障害者等に対し，創作的活動又は生産的活動の機会を提供し，社会との交流を促進するため，地域活動支援センターⅢ型事業所に対し，運営経費の補助を行った。 4 グループホーム等運営費補助金 6,328千円 9事業所 障害者の地域生活移行を促進するため，共同生活援助事業所・共同生活介護事業所の運営に要する経費の一部に対し補助を行った。 5 心身障害者（児）日常生活用具給付扶助費 11,000千円 1,138件（延件数） 在宅の心身障害者及び難病患者等の生活の自立を促すため，入浴補助用具やストマ装具など，日常生活用具の給付又は貸与を行った。 6 地域生活支援事業給付費 3,508千円 1,006件（実人数：33人） 障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことができるように，移動支援事業（屋外での移動が困難な障害者等への外出支援），日中一時支援事業（障害者等の日中の活動の場を確保することによる障害者等の家族への就労支援など），手話通訳者派遣事業（聴覚障害者等のコミュニケーション支援）などの事業を実施した。 7 障害者グループホーム等入居者家賃助成費 3,068千円 25人（実人数） 障害者の地域生活移行を促進するため，共同生活援助事業所・共同生活介護事業所などに支払った家賃の一部を助成した。
	自立支援給付事業 【 P103 自立支援給付事業 】 【 福祉課 】	566,784	542,406	障害者等の状況を踏まえ，適切な介護支援や身体機能及び生活能力向上に必要な訓練等を行うことにより，地域生活を営むための支援を行った。 〔 主な事業内容 〕 1 障害者介護給付費等審査会委員報酬 1,412千円 12回開催 介護給付サービス量などを決定する判断材料である「障害程度区分」の判定について，中立・公正な立場で専門的な観点から審査する委員報酬 2 身体障害者補装具交付扶助費 8,203千円 79件（延件数） 身体障害者（児）の日常生活の能力向上，社会参加を促進するため，車椅子，補聴器などの補装具の購入・修理にかかる費用を支給した。 3 自立支援医療費 20,351千円 189件（実人数：29人） 18歳以上の身体障害者手帳所持者を対象に，一般治療で既に治癒した障害の軽減，進行の防止，機能の回復のために行う治療（手術等）に係る費用の一部を公費により負担した。 4 障害介護給付費 501,729千円 5,599件（実人数：308人） 障害者自立支援法に基づく介護給付費・訓練等給付費・サービス利用計画作成費等，障害者等が利用したサービスについて，費用の一部を公費により負担した。

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
3 民生費	自立支援関連事業 【 P103 自立支援関連事業 】 【 社会福祉課 】	3,294	2,872	障害者自立支援法に基づく福祉サービスを補完する事業を実施することにより、障害者等の日常生活における自立の促進を図った。 〔 主な事業内容 〕 1 障害者ホームヘルプサービス委託料 840千円 1名 障害者や難病患者が居宅において日常生活を営むことができるよう、ホームヘルパーを派遣し、家事援助や身体介護を実施した。 2 児童デイサービス利用助成費 1,216千円 29人(実人数) 障害児の自立支援と親の子育て支援のため、障害児の早期の生活訓練を行うサービス利用者の自己負担分について助成を行った。
	障害者自立支援対策臨時特例基金管理事務 【 P103 障害者自立支援対策臨時特例基金管理事務 】 【 福祉課 】	13,856	13,856	障害者等の自立支援のため、障害者自立支援法に基づく制度の円滑な運用を図るための必要な措置等を行った。 〔 主な事業内容 〕 1 オストメイト対応トイレ設置工事請負費 987千円 1カ所(伊戸だいぼ工房地先 公衆トイレ内) オストメイトの社会参加を促進するため、既存公共施設にオストメイト対応トイレ設備を整備した。 2 障害者通所施設等送迎補助金 9,500千円 12事業所 障害者(児)が利用する通所施設及び短期入所事業所の送迎サービスについて、その経費の一部に補助を行い、サービス利用者及び事業者の負担軽減を図り、利用の促進を図った。 3 事業運営円滑化事業助成費 2,814千円 5事業所 障害者自立支援法の施行に伴い、事業者を支払われる報酬が減少した場合に、事業所の安定的な運営を確保するため、その差額について助成を行った。
	地域支え合い体制づくり事業 【 P103 地域支え合い体制づくり事業 】 【 福祉課 】	13,229	11,938	高齢者や障害者等の地域生活を支援するため、官民協働による日常的な支え合い活動の体制づくりの推進を図った。 1 要援護者台帳整備事業 4,501千円 災害時における高齢者や障害者等への支援体制整備を図るため、要援護者台帳システムを導入した。 ・ 要援護者台帳システム導入委託料 595千円 ・ 庁用器具費 3,906千円 2 「あんしん袋」「あんしんノート」配布事業補助金 2,500千円 入院などの緊急時に備え、連絡先などの必要情報や対応方法などを記載する「あんしんノート」や、非常時に持ち出せる「あんしん袋」の配付事業に補助を行い、高齢者等の日頃の備えや仲間づくりなど、地域の支え合い体制づくりを推進した。 「あんしんノート」セット 7,000個 「あんしん袋」2,500個 3 高齢者等買い物代行サービス事業補助金 2,447千円 外出が困難な高齢者や障害者等を対象とした、買い物代行サービス事業に対して補助を行い、地域における生活支援の充実を図った。 4 障害者移送サービス事業補助金 2,491千円 日常生活において移動に難のある障害者を対象に、通院や買い物などの外出を支援する事業に対して補助を行い、地域におけるコミュニケーションの増進を図った。

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
3 民生費	国民健康保険特別会計繰出事務 【 P105 国民健康保険 特別会計繰出事務 】 【 保険給付課 】	386,215	376,320	国民健康保険事業の安定的な運営を図るため、特別会計に支出した。 1 国民健康保険特別会計繰出金 74,663千円 (国民健康保険税の不能欠損額及び減免額等に対する繰出金) 2 職員給与費等繰出金 21,318千円 (国民健康保険の事務の執行に要する経費に対する繰出金) 3 保険基盤安定繰出金 216,919千円 (国民健康保険税の軽減額等に対する繰出金) 4 財政安定化支援事業繰出金 42,747千円 (低所得者層や高齢者が多い地域の負担軽減のための繰出金) 5 出産育児一時金繰出金 20,673千円 (出産育児一時金に対する繰出金)
	高齢者生活支援事業 【 P107 高齢者生活支援事業 】 【 福祉課 】	2,169	1,205	高齢者が在宅で自立した生活を過ごすことができるように、緊急通報装置貸与事業、軽度生活援助事業等を実施し、その生活を支援した。 緊急通報装置貸与件数 186件 (23年度末現在) ・ 電信料 976千円 外
	老人措置事業 【 P107 老人措置事業 】 【 福祉課 】	72,164	68,711	おおむね65歳以上の高齢者を対象に、必要に応じて養護老人ホームへ入所措置し、高齢者の福祉向上を図った。 〔 養護老人ホーム入所措置者 〕 4施設 32人 (23年度末現在)
	敬老祝金事業 【 P107 敬老祝金事業 】 【 福祉課 】	2,901	2,624	80歳、88歳、99歳及び100歳以上の高齢者へ、敬老の意を表し祝金(館山市商業協同組合共通商品券)を贈った。 〔 対象者数 〕 80歳 542人 (3,000円/人) 88歳 262人 (3,000円/人) 99歳 14人 (3,000円/人) 100歳以上 34人 (5,000円/人)
	高齢者福祉団体補助事業 【 P107 福祉団体補助事業 】 【 福祉課 】	11,720	11,415	市内各老人クラブや館山市シルバー人材センターを支援するため、活動費や運営費を補助し、高齢者福祉の向上を図った。 1 老人クラブ補助金 4,321千円 補助件数 69クラブ (平均補助額 45千円) 補助概要 均等割：1クラブ当たり3,100円/月 人数割：会員1名当たり200円 (他 市老連加入クラブ加算 団体加算：1クラブ当たり7,400円 会員加算：会員1名当たり170円) 館山市老人クラブ連合会 355千円 2 館山市シルバー人材センター補助金 6,650千円 補助対象 就業機会確保事業に対する補助
	介護保険特別会計繰出事務 【 P107 介護保険 特別会計繰出事務 】 【 保険給付課 】	669,073	669,073	介護保険事業の安定的な運営を図るため、介護保険特別会計に繰出しを行った。 1 介護給付費繰出金 505,335千円 (介護保険財政の市負担分12.5%) 2 職員給与費等繰出金 87,295千円 (事務に係る職員給与費に対する繰出金) 3 事務費繰出金 45,022千円 (要介護認定事務費に対する繰出金) 4 介護予防事業費繰出金 18,542千円 (介護予防事業費に対する繰出金) 5 包括的支援事業費等繰出金 12,879千円 (包括的支援事業費等に対する繰出金)

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
3 民生費	小規模福祉施設整備補助事業 【 P109 介護保険補助事務 】 【 保険給付課 】	5,719	5,417	千葉県介護基盤緊急整備等特例交付金を活用し、市内介護施設が行うスプリンクラー等の整備事業に対し補助を行った。 ・ 補助金額：5,417千円 2施設（赤門グループホーム広瀬ガーデン、赤門グループホーム神明町ガーデン） ※ 補助対象施設は、消防法施行令改正により、平成21年4月よりスプリンクラー等の設置が義務付けられた施設
	後期高齢者医療特別会計繰出事務 【 P109 後期高齢者医療特別会計繰出事務 】 【 保険給付課 】	142,767	137,401	後期高齢者医療の円滑な運営を図るため、特別会計に支出した。 1 保険基盤安定繰出金 110,966千円（後期高齢者医療保険料の軽減額に対する繰出金） 2 事務費繰出金 26,435千円（事務に係る職員給与費等に対する繰出金）
	後期高齢者医療負担金支払事務 【 P111 後期高齢者医療負担金支払事務 】 【 保険給付課 】	549,051	548,458	1 後期高齢者医療の円滑な運営を図るため、負担金を千葉県後期高齢者医療広域連合へ支出した。 千葉県後期高齢者医療広域連合負担金 20,198千円 2 後期高齢者医療療養給付費の市負担分（12分の1）として、負担金を千葉県後期高齢者医療広域連合へ支出した。 後期高齢者医療療養給付費負担金現年度分 528,260千円
	病児・病後児保育事業 【 P111 子育て支援対策事業 】 【 こども課 】	8,050	8,050	児童が病気の治療中又は病気の回復期にあり、集団保育及び保護者による保育が困難な場合に、一時的に預かる病児・病後児保育事業を行う施設に業務委託を行い、保護者の子育て支援と就労等の両立を支援した。 受入施設 亀田病院・病後児保育室たてやま（医療法人鉄蕉会 亀田ファミリークリニック館山内） 開設日数 295日 利用者数 延べ343人 登録者数 480人 ・ 病児・病後児保育委託料 8,000千円 ・ 病児・病後児保育事業損害賠償責任保険料 50千円
	元気な広場運営事業 【 P111 子育て支援対策事業 】 【 こども課 】	15,013	15,012	子育て中の親子の交流、相談、情報提供やシニア世代との交流を通じ、子育ての不安解消、虐待の防止、高齢者の生きがいづくりを推進するための核となる、元気な広場の管理・運営及び会員相互により子育て支援を行うファミリーサポートセンター事業を指定管理により実施した。 指定管理者 生活協同組合ちばコープ 元気な広場利用者数 延べ27,587人（1日平均／93.8人） ファミリーサポートセンター事業 会員数 206人 活動件数 476件 ・ 元気な広場運営委託料 15,000千円 ・ 建物総合損害共済基金分担金 12千円
	「赤ちゃんの駅」設置事業 【 P111 子育て支援対策事業 】 【 こども課 】	1,201	1,201	乳幼児を抱える子育て家庭が安心して外出できる環境づくりのため、「おむつ替え」や「授乳」ができる設備を公共施設において整備（25カ所）するとともに、対応可能な民間施設の登録（8カ所）を行い、地域全体で子育てを支える仕組みづくりを推進した。 ・ パンフレット等作成委託料 外 431千円 ・ 庁用器具費 770千円

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果																									
3 民生費	学童保育事業補助金 【 P111 子育て支援対策事業 】 【 こども課 】	8,128	8,128	昼間保護者のいない家庭の小学校低学年児童を預かる学童保育事業を行う組織に補助金を交付し、児童の健全育成を図った。 学童クラブ （船形・那古・北条・館山スマイル・神戸・豊房・いちご（館野））																									
	子ども医療費支給事業 【 P113 子ども医療費支給事業 】 【 こども課 】	95,037	88,075	小学校3年生までの子どもをもつ保護者に対し医療費を助成して、保護者の負担軽減を図るとともに、子どもの保健及び福祉の向上を図った。 〔 保護者負担額 〕 入院1日につき300円、通院1回につき300円、調剤は無料。 （市民税所得割非課税世帯は無料、所得制限あり） ・ 給付総額 83,912千円 給付延件数 53,839件 ・ 審査支払手数料 外 4,163千円																									
	子ども手当支給事業 【 P113 子ども手当支給事業 】 【 こども課 】	726,217	711,806	中学校修了前の児童を養育している者に手当を支給し、児童の健全な育成を図った。 〔 子ども手当額 〕 <table><thead><tr><th></th><th>月 額 (つなぎ法)</th><th>(特措法)</th><th>延べ</th><th>支給額</th></tr></thead><tbody><tr><td>3歳未満</td><td>13千円</td><td>15千円</td><td>10,087人</td><td>137,749千円</td></tr><tr><td>3歳以上小学校修了前（第1子・第2子）</td><td>13千円</td><td>10千円</td><td>30,940人</td><td>370,603千円</td></tr><tr><td>3歳以上小学校修了前（第3子以降）</td><td>13千円</td><td>15千円</td><td>4,003人</td><td>54,491千円</td></tr><tr><td>中学生</td><td>13千円</td><td>10千円</td><td>12,118人</td><td>145,468千円</td></tr></tbody></table> ・ 旧児童手当・システム業務委託料 外 3,495千円 ※ 予算現額には、平成24年度への繰越分7,245千円含む		月 額 (つなぎ法)	(特措法)	延べ	支給額	3歳未満	13千円	15千円	10,087人	137,749千円	3歳以上小学校修了前（第1子・第2子）	13千円	10千円	30,940人	370,603千円	3歳以上小学校修了前（第3子以降）	13千円	15千円	4,003人	54,491千円	中学生	13千円	10千円	12,118人	145,468千円
		月 額 (つなぎ法)	(特措法)	延べ	支給額																								
	3歳未満	13千円	15千円	10,087人	137,749千円																								
3歳以上小学校修了前（第1子・第2子）	13千円	10千円	30,940人	370,603千円																									
3歳以上小学校修了前（第3子以降）	13千円	15千円	4,003人	54,491千円																									
中学生	13千円	10千円	12,118人	145,468千円																									
ひとり親家庭等医療費給付助成事業 【 P113 ひとり親家庭等支援事業 】 【 こども課 】	10,236	10,236	ひとり親家庭の保護者及び児童に医療費等を助成し、ひとり親家庭の福祉の増進を図った。 〔 助成額 〕 通院 1カ月あたり、1医療機関で自己負担額 1,000円を超えた額 調剤 1カ月あたり、1薬局で自己負担額 1,000円を超えた額 入院 入院時食事療養費及び生活療養費を除く保険診療分の自己負担額 〔 助成人数 〕 497人 延べ2,485件																										
児童扶養手当事業 【 P113 ひとり親家庭等支援事業 】 【 こども課 】	182,518	180,828	児童を養育しているひとり親家庭等に手当を支給し、その生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図った。 〔 手当額 〕 第1子 全額支給 月額 41,550円 一部支給 月額 9,810円～41,540円（所得に応じて支給） 第2子は5,000円、第3子以降は3,000円が加算される。 ・ 支給総額 179,040千円 支給人数400人（全額支給者198人 一部支給者202人） ・ 児童扶養手当管理システム委託料 1,788千円																										

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
3 民生費	母子家庭自立支援給付金事業 【 P113 ひとり親家庭等支援事業 】 【 こども課 】	1,842	1,692	母子家庭の母等の就業を支援し、母子家庭の自立の促進を図った。 対象者：２人 看護師，准看護師の資格取得 ・ 母子家庭高等技能訓練促進費 １,692千円
	児童福祉法第５１条による運営委託料 【 P115 保育所運営委託事業 】 【 こども課 】	279,486	278,923	私立の認可保育園（市内４，南房総市４）及び市外の公立保育園（南房総市４，鴨川市２，鋸南町１）に対し、児童の保育を委託し、児童福祉の増進を図った。 委託児童 延べ３，３３８人（市内私立３，０２５人 市外３１３人）
	保育所運営費補助金 【 P115 保育所運営委託事業 】 【 こども課 】	23,275	20,292	私立保育所における延長保育及び予備保育士設置を奨励するため、同事業に助成するとともに、施設整備等に 対し補助金を交付し、私立保育所の運営の充実を図った。 〔 補助内容 〕 補助額 対象保育園 １ 延長保育分 10,741千円 聖アンデレ，館山教会附属 ２ 予備保育士設置分 8,815千円 聖アンデレ，子育，館山教会附属，館山ユネスコ ３ 施設整備分 518千円 聖アンデレ（地盤改良工事） 外３件 ４ 研修事業分 218千円 聖アンデレ，子育，館山教会附属，館山ユネスコ
	公立保育所運営事業 【 P115 公立保育所運営事業 】 【 こども課 】	150,292	139,661	保育ニーズの多様化に対応して乳児や障害児の受け入れ，長時間保育等を実施し，児童福祉の向上と保育所運 営の充実に努めた。 市立保育園 ５園 入所児童 延べ４，０８０人
	保育園施設整備事業 【 P117 公立保育所運営事業 （繰越明許費） 】 【 こども課 】	7,560	7,375	築３５年を経過し，老朽化した中央保育園の床等を改修し，保育園施設の整備に努めた。 工事概要 改修面積３５８㎡ 床下コンクリート打設，床張替，畳張替 等 ・ 施設整備工事請負費 ７,375千円
	幼保一元化施設整備設計委託料 【 P117 こども園運営事業 】 【 こども課 】	5,179	4,954	船形地区及び九重地区の幼保一元化に伴い，必要となる施設改修の設計を行った。 １ 船形保育園と船形幼稚園分 設計委託料 １,888千円 ２ 九重保育園と九重幼稚園分 設計委託料 ３,066千円 平成２３年度 設計委託 平成２４年度 改修工事 （ 船形：通路工事，空調工事，園庭工事，防水工事 外 ） （ 九重：通路工事，空調工事，外壁改修工事 外 ） 平成２５年４月 開園予定

※ 事業欄の下端 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果																																																	
3 民生費	こども園運営事業 【 P117 こども園運営事業 】 【 こども課 】	8,644	7,389	幼稚園と保育園の機能を併せ持つ房南こども園において、児童を受入れ、幼児教育の充実と児童福祉の向上に努めた。 長時間児入所児童 延べ586人 短時間児在籍児童 18人（平成23年度実績）																																																	
	生活保護事業 【 P119 生活保護事業 】 【 福祉課 】	1,052,745	1,022,606	生活困窮者に対して生活保護法を適用し、最低限度の生活を保障する保護費の給付と生活指導を行い、自立助長を図った。 <table> <tr> <td></td><td>延べ世帯数</td><td>延べ人数</td><td>給付額（千円）</td><td></td></tr> <tr> <td>生活扶助費</td><td>4,874世帯</td><td>6,257人</td><td>291,597</td><td></td></tr> <tr> <td>住宅扶助費</td><td>4,237世帯</td><td>5,489人</td><td>138,426</td><td>〔 生活保護 実世帯数・実人数 〕</td></tr> <tr> <td>教育扶助費</td><td>204世帯</td><td>322人</td><td>4,083</td><td>平成22年度末 484世帯 618人</td></tr> <tr> <td>医療扶助費</td><td>4,863世帯</td><td>5,746人</td><td>549,675</td><td>平成23年度末 502世帯 627人</td></tr> <tr> <td>出産扶助費</td><td>1世帯</td><td>1人</td><td>366</td><td>増加数 18世帯 9人</td></tr> <tr> <td>生業扶助費</td><td>177世帯</td><td>235人</td><td>3,735</td><td></td></tr> <tr> <td>葬祭扶助費</td><td>2世帯</td><td>2人</td><td>616</td><td></td></tr> <tr> <td>施設事務費</td><td>12世帯</td><td>12人</td><td>1,181</td><td></td></tr> <tr> <td>介護扶助費</td><td>1,090世帯</td><td>1,106人</td><td>32,927</td><td></td></tr> </table>		延べ世帯数	延べ人数	給付額（千円）		生活扶助費	4,874世帯	6,257人	291,597		住宅扶助費	4,237世帯	5,489人	138,426	〔 生活保護 実世帯数・実人数 〕	教育扶助費	204世帯	322人	4,083	平成22年度末 484世帯 618人	医療扶助費	4,863世帯	5,746人	549,675	平成23年度末 502世帯 627人	出産扶助費	1世帯	1人	366	増加数 18世帯 9人	生業扶助費	177世帯	235人	3,735		葬祭扶助費	2世帯	2人	616		施設事務費	12世帯	12人	1,181		介護扶助費	1,090世帯	1,106人	32,927
	延べ世帯数	延べ人数	給付額（千円）																																																		
生活扶助費	4,874世帯	6,257人	291,597																																																		
住宅扶助費	4,237世帯	5,489人	138,426	〔 生活保護 実世帯数・実人数 〕																																																	
教育扶助費	204世帯	322人	4,083	平成22年度末 484世帯 618人																																																	
医療扶助費	4,863世帯	5,746人	549,675	平成23年度末 502世帯 627人																																																	
出産扶助費	1世帯	1人	366	増加数 18世帯 9人																																																	
生業扶助費	177世帯	235人	3,735																																																		
葬祭扶助費	2世帯	2人	616																																																		
施設事務費	12世帯	12人	1,181																																																		
介護扶助費	1,090世帯	1,106人	32,927																																																		

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
4 衛生費	母子健康診査事業 【 P123 母子健康診査事業 】 【 健康課 】	42,520	35,411	安心して出産や子育てができるように、母子保健法に基づき、妊婦、乳児、1歳6カ月児、3歳児の健康診査事業及び相談事業を実施した。 平成21年度より、妊婦健康診査の受診回数を5回から14回に拡大し実施 (公費負担：14回合計93千円 ※1人当たり) 1歳6か月児精密健康診査委託料 11件 17千円 3歳児健康診査等委託料 26件 186千円 妊婦・乳児一般健康診査等委託料 4,679件 32,473千円 妊婦・一般健康診査助成金 73件 368千円
	健康づくり推進事業 【 P123 健康づくり推進事業 】 【 健康課 】	3,104	3,103	市民の身近な相談役である保健推進活動(母子・栄養・老人)の充実を図り、地域と密着した健康づくりを推進するため、市内各地区に保健推進委員を145人委嘱し、以下の活動を行った。 1 家庭訪問による問題点の発見及び行政との連絡調整 2 各種健康診査、健康診断等の受診勧奨 3 食生活の改善に関し、地区の自主活動を促進 4 各種研修会・講習会への参加 5 市の実施する保健事業等への参加・協力 ・保健推進事業委託料 2,946千円 外
	安房郡市広域市町村圏事務組合保健衛生費負担金 【 P125 一部事務組合管理事務 】 【 健康課 】	52,381	48,279	地域住民の生命と健康を守るため、安房郡市広域市町村圏事務組合へ救急医療に関する保健衛生費を負担し、救急医療体制の確保・充実に努めた。 負担額 1 夜間急病診療事業 13,638千円 毎夜間(19時～22時)における急病患者の初期診療を行った。 〔実績・件数〕 776件 (うち館山分 484件) 2 病院群輪番制病院運営事業 28,488千円 救急医療体制の二次医療機関として、土曜午後(12時～17時)、日曜休日昼間(8時～17時)及び毎夜間(17時～翌朝8時)の病院群輪番制運営事業を行った。 〔実績・件数〕 13,652件 (うち館山分 7,920件) 3 在宅当番医制事業 1,996千円 国民の休日及び日曜日における一次医療機関として、在宅当番医制事業を行った。 〔実績・件数〕 400件 (うち館山分 106件) 4 安房地域医療センター救急センター建設等事業費補助事業 4,157千円
	地域医療体制推進事業 【 P125 地域医療体制推進事業 】 【 健康課 】	202,934	202,934	1 安房地域医療センター救急医療事業運営費補助金 37,934千円 救急医療事業の安定した運営を図るため、安房地域医療センターへ運営費の助成を行った。 2 安房地域医療センター建設等事業貸付金 165,000千円 救急医の確保等による救急医療体制の充実を図るとともに、地域医療体制の整備を促進するため、安房地域医療センター救急センター建設に対し、(財)地域総合整備財団のふさと融資制度を活用した建設事業費等の無利子貸付を行った。

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果																																																																				
4 衛生費	館山市看護師等修学資金貸付基金管理事務 【 P125 館山市看護師等 修学資金貸付基金管理事務 】 【 健康課 】	24	22	看護師等の充足及び地域医療体制の確保を図るため、看護師又は准看護師を養成する大学、専門学校等に在籍し、将来安房郡市内において看護師等の業務に従事しようとする修学者に対して、修学資金の貸付を行った。 貸付実績 5件 1,800千円 基金残高 69,234千円（平成23年度末）																																																																				
	生活習慣病等予防対策事業 【 P125 健康診査事業 】 【 P125 がん検診事業 】 【 P125 歯周疾患検診事業】 【 P127 結核・肺がん検診事業 】 【 健康課 】	55,378	51,542	結核及びがん等、生活習慣病の早期発見・治療のため、効果的な各種検診を実施した。 〔 主な検診内容 〕（委託料） ※平均単価は検査方法等により異なる <table><thead><tr><th>名 称</th><th>対 象 者</th><th>実施方法</th><th>決算額 (千円)</th><th>人数 (人)</th><th>平均単価 (一人当たり／円)</th><th>受診率</th><th>公費 負担割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>結核・肺がん</td><td>40歳以上の市民</td><td>総合検診や胸部検診車で各地区を巡回して実施</td><td>7,629</td><td>6,120</td><td>1,247</td><td>35.0%</td><td>全額</td></tr><tr><td>胃がん</td><td>40歳以上の市民</td><td rowspan="4">総合検診（集団）と各医療機関で行う個別検診方式で実施</td><td>14,082</td><td>2,971</td><td>4,740</td><td>17.0%</td><td>一部</td></tr><tr><td>大腸がん</td><td>40歳以上の市民</td><td>5,846</td><td>4,058</td><td>1,441</td><td>23.2%</td><td>一部</td></tr><tr><td>前立腺がん</td><td>50歳以上の男性</td><td>2,604</td><td>1,546</td><td>1,684</td><td>31.3%</td><td>一部</td></tr><tr><td>子宮がん</td><td>20歳以上の女性 (隔年受診)</td><td>10,678</td><td>1,664</td><td>6,417</td><td>13.8%</td><td>一部</td></tr><tr><td>乳がん</td><td>30歳以上の女性 (隔年受診)</td><td>各医療機関で行う個別検診方式で実施</td><td>5,127</td><td>1,821</td><td>2,815</td><td>16.5%</td><td>一部</td></tr><tr><td>肝炎ウイルス検査</td><td>40歳以上で 未検査の人</td><td>総合検診における血液検査にて実施</td><td>1,484</td><td>574</td><td>2,585</td><td>31.0%</td><td>一部</td></tr><tr><td>骨粗しょう症検査</td><td>40歳～70歳 までの5歳毎</td><td>検診車による骨塩量測定にて実施</td><td>475</td><td>383</td><td>1,240</td><td>17.0%</td><td>一部</td></tr></tbody></table>	名 称	対 象 者	実施方法	決算額 (千円)	人数 (人)	平均単価 (一人当たり／円)	受診率	公費 負担割合	結核・肺がん	40歳以上の市民	総合検診や胸部検診車で各地区を巡回して実施	7,629	6,120	1,247	35.0%	全額	胃がん	40歳以上の市民	総合検診（集団）と各医療機関で行う個別検診方式で実施	14,082	2,971	4,740	17.0%	一部	大腸がん	40歳以上の市民	5,846	4,058	1,441	23.2%	一部	前立腺がん	50歳以上の男性	2,604	1,546	1,684	31.3%	一部	子宮がん	20歳以上の女性 (隔年受診)	10,678	1,664	6,417	13.8%	一部	乳がん	30歳以上の女性 (隔年受診)	各医療機関で行う個別検診方式で実施	5,127	1,821	2,815	16.5%	一部	肝炎ウイルス検査	40歳以上で 未検査の人	総合検診における血液検査にて実施	1,484	574	2,585	31.0%	一部	骨粗しょう症検査	40歳～70歳 までの5歳毎	検診車による骨塩量測定にて実施	475	383	1,240	17.0%
名 称	対 象 者	実施方法	決算額 (千円)	人数 (人)	平均単価 (一人当たり／円)	受診率	公費 負担割合																																																																	
結核・肺がん	40歳以上の市民	総合検診や胸部検診車で各地区を巡回して実施	7,629	6,120	1,247	35.0%	全額																																																																	
胃がん	40歳以上の市民	総合検診（集団）と各医療機関で行う個別検診方式で実施	14,082	2,971	4,740	17.0%	一部																																																																	
大腸がん	40歳以上の市民		5,846	4,058	1,441	23.2%	一部																																																																	
前立腺がん	50歳以上の男性		2,604	1,546	1,684	31.3%	一部																																																																	
子宮がん	20歳以上の女性 (隔年受診)		10,678	1,664	6,417	13.8%	一部																																																																	
乳がん	30歳以上の女性 (隔年受診)	各医療機関で行う個別検診方式で実施	5,127	1,821	2,815	16.5%	一部																																																																	
肝炎ウイルス検査	40歳以上で 未検査の人	総合検診における血液検査にて実施	1,484	574	2,585	31.0%	一部																																																																	
骨粗しょう症検査	40歳～70歳 までの5歳毎	検診車による骨塩量測定にて実施	475	383	1,240	17.0%	一部																																																																	

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果																																																																									
4 衛生費	予防接種事業 【 P127 予防接種事業 】 【 健康課 】	116,443	91,717	乳幼児・学童・高齢者の疾病予防のため、各種予防接種を行った。 〔 主な予防接種内容 〕（委託料）																																																																									
				<table><tr><th>名 称</th><th>対 象 者</th><th>効 果</th><th>決算額（公費負担額×人数）</th><th>受診率</th><th>公費負担割合</th></tr><tr><td>高齢者インフルエンザ</td><td>6 5 歳以上の市民</td><td>インフルエンザ重症化予防</td><td>13,272千円（ 1,500円×8,848人）</td><td>57.2%</td><td>一部</td></tr><tr><td>高齢者肺炎球菌</td><td>7 5 歳以上の市民</td><td>高齢者の肺炎予防</td><td>771千円（ 1,500円× 514人）</td><td>7.6%</td><td>一部</td></tr><tr><td>B C G</td><td>生後 3 ～ 6 ヶ月未満</td><td>結核の予防</td><td>2,206千円（ 6,180円× 357人）</td><td>98.3%</td><td>全額</td></tr><tr><td rowspan="2">麻しん・風しん</td><td>1 歳児及び小学校就学前 1 年間の幼児</td><td rowspan="2">麻しん・風しんの予防</td><td>7,481千円（10,150円× 737人）</td><td>95.8%</td><td>全額</td></tr><tr><td>中学 1 年生及び高校 3 年生相当</td><td>7,056千円（ 9,000円× 784人）</td><td>93.4%</td><td>全額</td></tr><tr><td>三種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風混合）</td><td>生後 3 ～ 9 0 ヶ月未満</td><td>ジフテリア・百日咳・破傷風の予防</td><td>8,669千円（ 5,600円×1,548人）</td><td>104.6%</td><td>全額</td></tr><tr><td rowspan="2">日本脳炎 ※平成 7 年 5 月 3 1 日 以前生まれ除く</td><td>生後 3 6 ヶ月～ 2 0 歳未満</td><td rowspan="2">日本脳炎の予防</td><td>15,239千円（ 7,000円×2,177人）</td><td>20.3%</td><td>全額</td></tr><tr><td>9 歳～ 2 0 歳未満</td><td>966千円（ 7,000円× 138人）</td><td>39.5%</td><td>全額</td></tr><tr><td>子宮頸がん</td><td>中学 1 年～高校 1 年生相当の女子</td><td>ヒトパピローマウイルスによるがん予防</td><td>10,268千円（14,340円× 716人）</td><td>44.2%</td><td>全額</td></tr><tr><td>ヒブ</td><td>生後 2 ヶ月～ 5 歳未満</td><td>インフルエンザ菌 b 型による細菌性髄膜炎の予防</td><td>9,178千円（ 7,960円×1,153人）</td><td>39.3%</td><td>全額</td></tr><tr><td>小児用肺炎球菌</td><td>生後 2 ヶ月～ 5 歳未満</td><td>肺炎球菌による細菌性髄膜炎の予防</td><td>14,024千円（10,140円×1,383人）</td><td>43.6%</td><td>全額</td></tr></table>						名 称	対 象 者	効 果	決算額（公費負担額×人数）	受診率	公費負担割合	高齢者インフルエンザ	6 5 歳以上の市民	インフルエンザ重症化予防	13,272千円（ 1,500円×8,848人）	57.2%	一部	高齢者肺炎球菌	7 5 歳以上の市民	高齢者の肺炎予防	771千円（ 1,500円× 514人）	7.6%	一部	B C G	生後 3 ～ 6 ヶ月未満	結核の予防	2,206千円（ 6,180円× 357人）	98.3%	全額	麻しん・風しん	1 歳児及び小学校就学前 1 年間の幼児	麻しん・風しんの予防	7,481千円（10,150円× 737人）	95.8%	全額	中学 1 年生及び高校 3 年生相当	7,056千円（ 9,000円× 784人）	93.4%	全額	三種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風混合）	生後 3 ～ 9 0 ヶ月未満	ジフテリア・百日咳・破傷風の予防	8,669千円（ 5,600円×1,548人）	104.6%	全額	日本脳炎 ※平成 7 年 5 月 3 1 日 以前生まれ除く	生後 3 6 ヶ月～ 2 0 歳未満	日本脳炎の予防	15,239千円（ 7,000円×2,177人）	20.3%	全額	9 歳～ 2 0 歳未満	966千円（ 7,000円× 138人）	39.5%	全額	子宮頸がん	中学 1 年～高校 1 年生相当の女子	ヒトパピローマウイルスによるがん予防	10,268千円（14,340円× 716人）	44.2%	全額	ヒブ	生後 2 ヶ月～ 5 歳未満	インフルエンザ菌 b 型による細菌性髄膜炎の予防	9,178千円（ 7,960円×1,153人）	39.3%	全額	小児用肺炎球菌	生後 2 ヶ月～ 5 歳未満	肺炎球菌による細菌性髄膜炎の予防	14,024千円（10,140円×1,383人）	43.6%	全額
				名 称	対 象 者	効 果	決算額（公費負担額×人数）	受診率	公費負担割合																																																																				
				高齢者インフルエンザ	6 5 歳以上の市民	インフルエンザ重症化予防	13,272千円（ 1,500円×8,848人）	57.2%	一部																																																																				
				高齢者肺炎球菌	7 5 歳以上の市民	高齢者の肺炎予防	771千円（ 1,500円× 514人）	7.6%	一部																																																																				
				B C G	生後 3 ～ 6 ヶ月未満	結核の予防	2,206千円（ 6,180円× 357人）	98.3%	全額																																																																				
				麻しん・風しん	1 歳児及び小学校就学前 1 年間の幼児	麻しん・風しんの予防	7,481千円（10,150円× 737人）	95.8%	全額																																																																				
					中学 1 年生及び高校 3 年生相当		7,056千円（ 9,000円× 784人）	93.4%	全額																																																																				
				三種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風混合）	生後 3 ～ 9 0 ヶ月未満	ジフテリア・百日咳・破傷風の予防	8,669千円（ 5,600円×1,548人）	104.6%	全額																																																																				
				日本脳炎 ※平成 7 年 5 月 3 1 日 以前生まれ除く	生後 3 6 ヶ月～ 2 0 歳未満	日本脳炎の予防	15,239千円（ 7,000円×2,177人）	20.3%	全額																																																																				
					9 歳～ 2 0 歳未満		966千円（ 7,000円× 138人）	39.5%	全額																																																																				
				子宮頸がん	中学 1 年～高校 1 年生相当の女子	ヒトパピローマウイルスによるがん予防	10,268千円（14,340円× 716人）	44.2%	全額																																																																				
				ヒブ	生後 2 ヶ月～ 5 歳未満	インフルエンザ菌 b 型による細菌性髄膜炎の予防	9,178千円（ 7,960円×1,153人）	39.3%	全額																																																																				
				小児用肺炎球菌	生後 2 ヶ月～ 5 歳未満	肺炎球菌による細菌性髄膜炎の予防	14,024千円（10,140円×1,383人）	43.6%	全額																																																																				
生活排水による河川・海域等公共用水域の水質汚濁を防止するため、既存の単独処理浄化槽又はくみ取り便所から合併処理浄化槽に転換する者に対し補助金を交付し、合併処理浄化槽の普及に努めた。																																																																													
浄化槽設置事業補助金 補助対象：設置者（個人） 補助金額：3,570千円（1基あたり、設置補助：120千円、撤去補助：50千円） 補助基数：21基（くみ取りからの転換：16基、単独処理浄化槽からの転換：5基）																																																																													

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
4 衛生費	水質検査等委託事業 【 P129 公害対策事業 】 【 環境課 】	3,470	2,164	市民の健康を守るとともに快適な生活環境を保全するため、環境汚染物質の調査・測定を実施し監視に努めた。 1 浸出水水質検査 512千円 過去の埋立地等の汚染物質監視 10カ所 年1回実施 2 地下水水質検査 173千円 塩素系有機溶剤等による地下水汚染監視 19カ所 年1回実施 3 神余地区水質検査 265千円 最終処分場水質処理施設からの放流水の水質監視 神余地区河川 年2回実施 4 河川・海水浴場水質調査 546千円 河川水質調査 平久里側・汐入川・巴川(神戸地区) 年2回実施 海水浴場調査 那古海岸・北条海岸・相浜海岸 年12回実施 5 土壌分析調査 223千円 埋立地等の汚染物質の調査 5カ所 年1回実施 6 ばい煙調査 445千円 工場からの排気監視 2工場 年1回実施
	住宅用太陽光発電システム設置費補助金 【 P129 地球環境対策事業 】 【 環境課 】	6,776	6,518	住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し補助金を交付し、地球温暖化対策の促進を図った。 住宅用太陽光発電システム設置費補助金 補助対象：設置者 (個人) 補助金額：6,518千円 (1kw当たり20千円 上限80千円) 補助件数：89件 (1件平均73千円) 累計(平成21年度～23年度)：184件 13,366千円 771.83kw分
	安房郡市広域市町村圏事務組合新火葬場建設事業費負担金 【 P129 一部事務組合事務 】 【 環境課 】	30,042	30,042	安房郡市広域市町村圏事務組合が建設する新火葬場の建設事業負担金を支出し、新火葬場整備事業の推進を図った。 新火葬場概要 南房総市山名地区 鉄筋コンクリート造 延床2,856.15㎡ (平成24年10月供用開始予定) 平成22年度 設計業務 平成23年～24年度 建設工事
	安房郡市広域市町村圏事務組合火葬場運営費負担金 【 P129 一部事務組合事務 】 【 環境課 】	13,748	13,748	安房郡市広域市町村圏事務組合が運営する館山・千倉・長狭地区火葬場運営事業の負担金を支出し、圏域内の住民サービス向上を図った。

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
4 衛生費	放射性物質検査委託事業 【 P129 放射性物質調査事業 】 【 環境課 】	1,407	1,407	東日本大震災による原子力発電所事故の環境への影響を監視するため、放射性物質の検査を実施した。 1 海水検査 205千円 北条海岸・波左間海岸・坂田海岸・相浜海岸で検査 5 回実施 2 プール検査 252千円 小・中学校プール・50メートルプールの検査 1 6 施設で1 回実施 3 土壌検査 183千円 保育園・幼稚園・小学校の砂場等の土壌の検査 1 9 施設で1 回実施 4 焼却灰検査 331千円 清掃センターの焼却灰の検査 1 3 回実施 5 ばい煙検査 173千円 清掃センターの焼却炉から排出されるばい煙の検査 1 回実施 6 汚泥肥料検査 168千円 衛生センター汚泥肥料の検査 8 回実施 7 最終処分場地下水等検査 95千円 最終処分場の地下水・放流水の検査 3 回実施
	安房郡市広域市町村圏事務組合ごみ処理広域化負担金 【 P133 一部事務組合事務 】 【 環境課 】	15,051	15,028	安房郡市広域市町村圏事務組合に対し、ごみ処理広域化事業に係る負担金を支出し、事業の推進を図った。 ごみ処理広域化事業 構成市町のごみ焼却施設の老朽化に伴い、一般廃棄物の共同処理に向け、中間処理（ごみ焼却等）施設及び最終処分場の整備を行う。 平成23年度事業 一般廃棄物処理基本計画及び循環型社会形成推進地域計画等策定業務
	安房郡市広域市町村圏事務組合粗大ごみ処理費負担金 【 P133 一部事務組合事務 】 【 環境課 】	4,176	4,176	安房郡市広域市町村圏事務組合に対し、粗大ごみ処理施設運営に係る負担金を支出し、粗大ごみの適正処理に努めた。 粗大ごみ処理施設 構成市町が収集した粗大ごみを、破碎及び圧縮処理するための施設 所在地 館山市出野尾540番地 処理能力 50t／日
	ごみ再資源化事業 【 P133 ごみ再資源化事業 】 【 環境課 】	182,053	180,564	ごみの分別による再資源化を促進し、燃せるごみの減量化を図るため、資源ごみの収集運搬及び処理業務等を委託し、資源ごみの適正処理を推進した。 再資源化対象 金属類、ガラス類、プラスチック製容器包装、ペットボトル、白色トレイ、 発泡スチロール、古紙類、飲料用紙パック 再資源化量（t） 平成21年度 3,886t 平成22年度 3,880t 平成23年度 3,759t

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果																													
4 衛生費	ごみ処理手数料事務 【 P133 ごみ処理手数料事務 】 【 環境課 】	18,315	16,904	ごみ指定袋取扱店を設置し、ごみ指定袋の交付と引き換えに手数料を徴収する事務を委託した。また、ごみ指定袋の製造、取扱店への配送、保管及び在庫管理業務を委託した。これらの燃せるごみ用指定袋制を通じて、燃せるごみの減量化を図るとともに適正処理を推進した。 ごみ指定袋取扱店 174カ所 (平成24年3月末現在) 交付組数(1組＝10枚) <table><tr><td></td><td>平成21年度</td><td>平成22年度</td><td>平成23年度</td></tr><tr><td>45リットル用</td><td>107,713組</td><td>116,011組</td><td>110,982組</td></tr><tr><td>20リットル用</td><td>84,859組</td><td>88,733組</td><td>75,064組</td></tr><tr><td>10リットル用</td><td>19,304組</td><td>19,895組</td><td>15,297組</td></tr><tr><td>交付組数計</td><td>211,876組</td><td>224,639組</td><td>201,343組</td></tr></table>		平成21年度	平成22年度	平成23年度	45リットル用	107,713組	116,011組	110,982組	20リットル用	84,859組	88,733組	75,064組	10リットル用	19,304組	19,895組	15,297組	交付組数計	211,876組	224,639組	201,343組									
		平成21年度	平成22年度	平成23年度																													
	45リットル用	107,713組	116,011組	110,982組																													
	20リットル用	84,859組	88,733組	75,064組																													
	10リットル用	19,304組	19,895組	15,297組																													
交付組数計	211,876組	224,639組	201,343組																														
ごみ収集事業 【 P133 ごみ収集事業 】 【 環境課 】	15,249	13,918	市内の家庭から排出され、ごみステーションに搬出された燃せるごみの収集業務を委託し、燃せるごみの適正処理を推進した。 業者委託収集地区 館山・北条・那古・富崎・九重地区 <table><tr><td>可燃ごみ搬入量(t)</td><td>平成21年度</td><td>平成22年度</td><td>平成23年度</td><td></td></tr><tr><td>直 営</td><td>8,173t</td><td>8,057t</td><td>2,864t</td><td></td></tr><tr><td>委 託</td><td>3,168t</td><td>3,125t</td><td>8,041t</td><td></td></tr><tr><td>小 計</td><td>11,341t</td><td>11,182t</td><td>10,905t</td><td>小計＝ステーション収集計</td></tr><tr><td>その他</td><td>6,547t</td><td>6,570t</td><td>6,425t</td><td>その他＝許可業者・個人搬入等</td></tr><tr><td>合 計</td><td>17,888t</td><td>17,752t</td><td>17,330t</td><td></td></tr></table>	可燃ごみ搬入量(t)	平成21年度	平成22年度	平成23年度		直 営	8,173t	8,057t	2,864t		委 託	3,168t	3,125t	8,041t		小 計	11,341t	11,182t	10,905t	小計＝ステーション収集計	その他	6,547t	6,570t	6,425t	その他＝許可業者・個人搬入等	合 計	17,888t	17,752t	17,330t	
可燃ごみ搬入量(t)	平成21年度	平成22年度	平成23年度																														
直 営	8,173t	8,057t	2,864t																														
委 託	3,168t	3,125t	8,041t																														
小 計	11,341t	11,182t	10,905t	小計＝ステーション収集計																													
その他	6,547t	6,570t	6,425t	その他＝許可業者・個人搬入等																													
合 計	17,888t	17,752t	17,330t																														
焼却灰処理業務委託事業 【 P133 清掃センター運営事業 】 【 環境センター 】	69,300	51,694	館山市清掃センター(ごみ焼却施設)から発生する焼却灰の運搬及び処分業務を委託し、最終処分場の延命化を図った。 ・ 焼却灰処理業務委託料(焼却灰の委託量 2,344.38t) 51,694千円																														
清掃センター定期点検補修事業 【 P133 清掃センター運営事業 】 【 環境センター 】	105,666	99,643	清掃センター(ごみ焼却施設)各機器の点検補修を行うことにより、施設の延命化を図った。また、可燃ごみの安定した処理のために、突発的な機器の故障等に対応した。 ・ 機械等補修工事請負費 99,643千円 <table><tr><td>1 清掃センター定期点検補修工事</td><td>一式</td><td>97,650千円</td></tr><tr><td>2 クレーン年次点検整備工事</td><td>一式</td><td>785千円</td></tr><tr><td>3 給水ポンプ交換工事</td><td>一式</td><td>1,208千円</td></tr></table>	1 清掃センター定期点検補修工事	一式	97,650千円	2 クレーン年次点検整備工事	一式	785千円	3 給水ポンプ交換工事	一式	1,208千円																					
1 清掃センター定期点検補修工事	一式	97,650千円																															
2 クレーン年次点検整備工事	一式	785千円																															
3 給水ポンプ交換工事	一式	1,208千円																															
最終処分場水処理施設定期点検補修事業 【 P135 最終処分場運営事業 】 【 環境センター 】	1,692	260	最終処分場水処理施設の突発的な故障防止及び延命化を図るため、各機器の定期的な補修を行った。また、水質検査等から浸出水の処理状況を詳細に検討し、適正に補修することにより、清潔で快適な住みよいまちづくりの推進を図った。 ・ 機械等補修工事請負費 260千円 水処理施設処理施設放流水用UV計修繕工事 一式 260千円																														

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
4 衛生費	自動車（側溝清掃用吸引作業車）購入事業 【 P135 収集センター運営事業 】 【 環境センター 】	13,250	10,742	老朽化により機能が低下した側溝清掃用吸引作業車を更新し、作業の効率化及び職員の負担軽減を図った。 ・ 自動車購入費（強力吸引作業車）1台 10,742千円
	衛生センター定期点検補修事業 【 P137 衛生センター運営事業 】 【 環境センター 】	31,486	18,858	衛生センター施設の適正な維持・管理のため、各機器の点検補修工事を行い、突発的な故障によるし尿等の搬入停止の防止及び施設の延命化に努めた。（処理量 27,611kl） ・ 機械等補修工事請負費 18,858千円 1 し尿貯留槽防食塗装工事 一式 4,567千円 2 井戸水ろ過装置更新工事 一式 3,812千円 3 活性炭再生炉点検補修工事 一式 7,350千円 4 遠心脱水機点検補修工事 一式 3,129千円
	上水道費 【 P139 一部事務組合事務 】 【 環境課 】	371,500	351,962	安全で良質な水の安定供給を確保するため、三芳水道企業団・南房総広域水道企業団に対して、構成市として応分の負担を行った。 1 三芳水道企業団補助金 245,013千円 県水道料金との格差是正のための補助 2 三芳水道企業団出資金 1,903千円 施設耐震化事業に対する出資 3 南房総広域水道企業団補助金 30,351千円 水道用水供給施設（房総導水路・南房総導水路）に対する補助 4 南房総広域水道企業団出資金 74,695千円 水道用水供給施設（房総導水路・南房総導水路）に対する出資

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
5 労働費	ふるさと雇用再生特別基金事業 【 P139 街なか情報発信事業 】 【 商工観光課 】	16,000	16,000	「街なか」に館山の特産品・土産品などの情報発信拠点を設け、館山の「街なか」のPRを通し、商業者の更なる活性化を図った。 1 商店街調査と活性化 館山市中心市街地活性化に関する研究事業等を実施 (ブラフラ祭りの開催) 2 館山まちあるきパンフレット作成 (5箇所 各3,000部) 3 かんベレタス情報紙作成 (30,000部) 4 中間支援の実践 たてやまブランド販売拠点づくりのための試験販売を実施 街なか情報発信事業委託料 16,000千円 委託先 : 館山商工会議所 雇用実績 : 3人
	ふるさと雇用再生特別基金事業 【 P139 滞在型観光創出支援事業 】 【 商工観光課 】	5,680	5,680	滞在性を高める地域資源としての「温泉」に着目し、温泉宿泊施設の拡大と温泉郷としての魅力アップを図るため、分湯システムの検証及び温泉PRを行った。 1 分湯システムの効率化を図るため、配湯員及び事務員の雇用 2 たてやま温泉郷パンフレット作成 31,000部 3 館山市温泉事業組合ホームページの作成 滞在型観光創出支援事業委託料 5,680千円 委託先 : 館山市温泉事業組合 雇用実績 : 2人
	ふるさと雇用再生特別基金事業 【 P139 体験型観光振興事業 】 【 商工観光課 】	30,000	28,905	新たな滞在プログラムの確立と効果的なプロモーション活動を展開することにより、館山市の地域イメージの確立及び浸透を図るとともに、自立可能なビジネスモデルの検証を行った。 〔 主な事業内容 〕 1 中間支援機能、コーディネート機能の強化事業 地域で体験観光等に携わる事業者やNPO、農漁業者、宿泊施設等の連携強化に努め、教育旅行や一般体験観光旅行の受入れ機能の強化を図った。 2 各種プロモーション事業 学校や旅行者への訪問活動、各種パンフレット、プロモーション用CD・DVDの作成を行った。 3 在住外国人向けの体験メニューの開発 日本国内に在住の外国人に対応した体験プログラムの開発を行った。 4 地域の二次交通の活用と連動した着地型旅行の造成 レンタサイクルなどを活用した周遊ツアーの造成とプロモーションを推進し、渚の駅を拠点とした周遊ツアーの実証実験及び具体的商品化について検討を行った。 体験型観光推進事業委託料 28,905千円 委託先 : 渚のまちづくり会議 雇用実績 : 5人

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
5 労働費	ふるさと雇用再生特別基金事業 【 P139 観光プロモーション事業 】 【 商工観光課 】	12,000	12,000	新たな旅行商品と連携した観光プロモーションを展開することにより、館山市の地域イメージの確立及び浸透を図った。 ・各種プロモーション事業（パンフレット・チラシ・ポスター・WEBサイト等の作成） 観光プロモーション事業委託料 12,000千円 委託先：(有)コアコミュニケーション 雇用実績 2人
	ふるさと雇用再生特別基金事業 【 P139 マスコット キャラクター管理事業 】 【 商工観光課 】	15,410	15,410	館山市マスコットキャラクターについて、商標及び著作権・使用許可等の適正な管理を行うとともに、マスコットキャラクターの周知を図るため、着ぐるみ作成や各種グッズ作成を行った。 マスコットキャラクター管理事業委託料 15,410千円 委託先：(株)フォーサム 雇用実績：1人
	緊急雇用創出事業 【 P139 花を活用した ふるさと納税推進事業 】 【 企画課 】	1,432	1,235	館山市の貴重な地域資源である「花」を活用したふるさと納税啓発グッズを作成し、花のまちづくり及びふるさと納税を促進した。 雇用実績：1人
	緊急雇用創出事業 【 P141 新聞デジタル化事業 】 【 秘書広報課 】	1,621	1,593	過去に蓄積した館山市関連記事の新聞スクラップについて、デジタル化を図り記録媒体に保存し、管理台帳を作成した。 雇用実績：2人
	緊急雇用創出事業 【 P141 自主防災会等 防災対策強化事業 】 【 社会安全課 】	1,974	1,755	防災計画や津波対策などに伴う作業（地域別ハザードマップの作成や地盤高表示板など作成）及び自主防災会の強化・育成等に伴う実働マニュアル作成等の作業のため、非常勤職員を雇用し、業務の推進を図った。 雇用実績：2人
	緊急雇用創出事業 【 P141 東日本大震災 避難者支援事業 】 【 福祉課 】	769	690	東日本大震災に関する情報の収集、整理、提供、避難者からの相談対応や生活支援業務のため、非常勤職員を雇用し、業務の推進を図った。 雇用実績：1人
	緊急雇用創出事業 【 P141 障害者自立支援 事業事務費 】 【 福祉課 】	1,423	1,254	災害時における要援護者を把握するために必要となる各障害者台帳の整備や、障害福祉計画策定に係る事務作業のため、非常勤職員を雇用し、業務の推進を図った。 雇用実績：1人
	緊急雇用創出事業 【 P141 改正住民基本 台帳法移行準備事業 】 【 市民課 】	813	789	外国人住民の住民基本台帳制度への移行に関し、外国人データの基礎となる外国人登録システムのデータ整備のため、非常勤職員を雇用し、移行準備事務の推進を図った。 雇用実績：1人

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
5 労働費	緊急雇用創出事業 【 P141 諸証明申請手続 サポート事業 】 【 市民課 】	813	763	各種証明申請受付から交付までの一連の市民課窓口事務における所要時間の短縮を図るため、申請書の記入方法等のサポートを行う非常勤職員を雇用し、住民サービスの向上を図った。 雇用実績：1人
	緊急雇用創出事業 【 P141 「渚の駅」観光振興事業 】 【 みなとまちづくり課 】	3,920	3,856	「渚の駅」たてやまの来館者に対する案内・受付業務を行い、施設利用者のサービス向上を図った。 雇用実績：5人
	緊急雇用創出事業 【 P141 「海辺の広場」 観光振興事業 】 【 みなとまちづくり課 】	9,069	5,404	「海辺の広場」の開館に向け、魚飼育水槽の立上げ・維持・管理を行う非常勤職員を雇用し、業務の推進を図った。 雇用実績：2人
	緊急雇用創出事業 【 P143 「渚の駅」開設準備事業 】 【 みなとまちづくり課 】	1,428	1,037	「渚の駅」たてやまの開館に向け、式典開催などの準備作業のため非常勤職員を雇用し、業務の推進を図った。 オープニングイベント開催：平成24年3月25日 雇用実績：1人
	緊急雇用創出事業 【 P143 「渚の駅」PR事業 】 【 みなとまちづくり課 】	5,313	5,040	「渚の駅」たてやまの施設PRのため、ポスター・パンフレットなどの作成を行った。 ・PR冊子 3,000部作成 (配布先：学校・旅行者・観光施設など) ・PRリーフレット 50,000部作成 (配布先：学校・旅行者・観光施設など) ・PRポスター 4,000部作成 (配布先：学校・旅行者・観光施設など) 雇用実績：4人
	緊急雇用創出事業 【 P143 都市部との 経済交流サポート事業 】 【 商工観光課 】	1,784	1,784	ターゲットを明確に絞ったプロモーション活動やイベントを実施し、都市部における館山の知名度高め、交流人口の増大を図り、観光振興・移住定住の促進を図った。 1 東京都中野区との体験交流事業の促進 2 館山体験交流協会と連携したPR事業の実施 雇用実績：1人
	緊急雇用創出事業 【 P143 キャラクターを活用 した観光情報発信事業 】 【 商工観光課 】	5,504	4,425	館山市マスコットキャラクターを活用し、各種キャンペーンやイベント等において館山市のPRやインターネット（ダッペエホームページ）による情報発信を行った。 雇用実績：4人

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
5 労働費	緊急雇用創出事業 【 P143 観光 マーケティング事業 】 【 商工観光課 】	8,160	7,454	ターゲットを明確にした観光キャンペーンやPR活動を新たに進めるとともに、地域ならではの情報を提供できるコンシェルジュ機能を強化することで、効果的な観光客誘致を図った。 1 マーケティング戦略に基づく各種観光PR・キャンペーンの実施 マーケティング戦略に基づきターゲットの明確化を図るため調査・検討を実施し、ターゲットに応じた観光PR・キャンペーンを展開した。 2 コンシェルジュ機能の強化事業 海ほたるのワンデイ観光案内所を活用した「館山観光コンシェルジュ」を設置し、効果的な情報発信を図った。 観光マーケティング事業委託料 7,454千円 委託先：一般社団法人 館山市観光協会 雇用実績 4人
	緊急雇用創出事業 【 P143 ラジオ等を活用した 観光情報発信事業 】 【 商工観光課 】	10,745	10,745	インターネットと連動したラジオ等を活用し、県内及び首都圏へ館山市の観光情報発信を行い、観光客の増加を図った。 1 インターネットと連動したラジオ等による情報発信体制の構築 FMラジオから放送したテーマを編集し、インターネットと連動したWEBサイト等の構築を行った。 2 ラジオ媒体を使った情報発信 館山市の観光情報や地域情報、イベント情報等を、地域レポーターが取材し、FMラジオから毎週1回放送した。 観光情報発信業務委託料 10,745千円 委託先：一般社団法人 館山市観光協会 雇用実績：5人
	緊急雇用創出事業 【 P143 森林環境整備事業 】 【 農水産課 】	6,000	6,000	イノシシによる農産物の被害を最小限にとどめ、農業生産の安定を図るため、放置されている森林環境の改善について「森林環境整備計画（平成21・22年度作成）」に基づき、マテバシイ等の伐採・間伐等の施策を行った。 1 調査・検討計画の作成（現況確認、測量、所有者の確認等） 2 野生獣の食料となる餌の発生の抑制（選択伐採の実施、刈り払い、間伐、整理、0.96ha） 3 山林と耕作地の間への緩衝帯の設置（前年度に伐採した那古地域の刈払整備、1ha） 4 イノシシの流入導線を考慮した生息環境の人為的な操作による威圧 防護柵（211m）、門扉（3カ所）及び管理道（290m）の設置 5 林床への植物自生の促進及び水源涵養能力の向上 雇用実績：4人
	緊急雇用創出事業 【 P143 農水産 パンフレット作成事業 】 【 農水産課 】	11,080	11,080	館山産の農水産物の需要の喚起と地産地消の推進を図るため、3種類のパンフレットを作成し、市内外の消費者・観光客・商工業関係者などに、その魅力を伝え、理解の増進を図った。 1 農水産物パンフ A4冊子「農水図鑑」 32P 1,000冊（商工観光業者向け） 2 農水産物パンフ A4冊子「農水の達人」12P 21,000冊（市民向け） 3 体験観光用パンフA3 「たてやまTANKEN」 10,000枚 雇用実績：3人

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
5 労働費	緊急雇用創出事業 【 P145 地産地消推進事業 】 【 農水産課 】	4,839	4,162	農水産業の活性化のため、地産地消推進に取り組む事業者を館山市地産地消推進店として登録・PRを行い、農商工連携による地域産業の活性化に努めた。 1 館山市地産地消推進店登録制度の推進 登録店舗数71店舗（平成23年度末） のぼり旗・ポスター等PR資材作成 2 地産地消推進店等の利用促進 地産地消推進店ガイドブック作成（10,000部）、地産地消推進店スタンプラリー実施 3 地産地消に関する調査・分析 地産地消推進店に対する取組み状況調査、消費者アンケート調査実施（約1,000件） 雇用実績：4人
	緊急雇用創出事業 【 P145 道路情報管理事業 】 【 建設課 】	1,660	1,553	道路用地の境界確認の状況把握の迅速化を図るため、道路情報管理システムに境界査定資料の入力を行った。 雇用実績：1人
	緊急雇用創出事業 【 P145 公道の除草作業事業 】 【 建設課 】	8,820	8,820	市道等の環境美化と交通事故防止を図るため、公道の除草作業を実施した。 雇用実績：4人
	緊急雇用創出事業 【 P145 河川環境改善事業 】 【 建設課 】	4,515	4,515	館山市管理の河川の環境美化と災害防止を目的に、河川内にある竹等の障害物の除去・伐採・撤去を実施した。 雇用実績：3人
	緊急雇用創出事業 【 P145 河川環境基礎調査事業 】 【 建設課 】	6,405	6,405	館山市管理の河川を、適正に維持管理していくための基礎資料とするため、横断測量等の河川現況調査を実施した。 雇用実績：3人
	緊急雇用創出事業 【 P145 公園予定地の 管理・再生事業 】 【 都市計画課 】	3,598	3,465	館山運動公園内市有地の遊歩道沿いに、花木の植栽を実施して、公園予定地の新たな土地活用を図った。 雇用実績：2人
	緊急雇用創出事業 【 P145 ごみ減量化推進事業 】 【 環境課 】	3,629	2,426	ごみの分別徹底により再資源化を促進し、燃せるごみの減量化を図るため、ごみの分別等に関する出前講座の開催や啓発物資の作成等を実施した。 出前講座開催実績 平成22～23年度 32回 啓発物資作成実績 平成22～23年度 3回（各26,000部 市内全戸配布） 雇用実績：1人

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
5 労働費	緊急雇用創出事業 【 P145 博物館 収蔵資料整備事業 】 【 博物館 】	2,571	2,554	博物館本館の博物館資料の整理及びデータベースへの入力を行った。 雇用実績：2人
	緊急雇用創出事業 【 P145 博物館画像等 データベース化事業 】 【 博物館 】	2,184	2,167	博物館本館及び渚の博物館の博物館資料の整理及びデータベースへの入力を行った。 雇用実績：1人
	緊急雇用創出事業 【 P147 博物館 収蔵庫整理事業 】 【 博物館 】	1,456	1,455	博物館が収蔵する資料の整理と台帳の作成を行い、検索の便に供するためデータベース化を行った。 雇用実績：2人
	緊急雇用創出事業 【 P147 赤山地下壕跡 入壕受付事務 】 【 生涯学習課 】	1,395	1,337	館山市指定史跡「館山海軍航空隊 赤山地下壕跡」の有料化（平成23年10月から）に伴い、入壕受付事務を円滑に行うため、非常勤職員を雇用し業務の推進に努めた。 平成23年度赤山地下壕跡入壕者数：15,030名（内10月～3月末 7,205名） 雇用実績：2人
	緊急雇用創出事業 【 P147 固定資産税 課税資料整備事業 】 【 税務課 】	2,241	2,034	土地及び家屋の登記事項と固定資産共有者の確認を行いデータを整備し、固定資産税課税データの適正管理を図った。 雇用実績：2人
	緊急雇用創出事業 【 P147 one-stop 案内相談事業 】 【 管財契約課 】	1,707	1,653	市役所担当部署の直通電話に加え、市役所代表電話を設置し、担当部署への取次ぎ等を行い市民サービスの向上を図った。 雇用実績：2人
	緊急雇用創出事業 【 P147 スポーツ観光推進事業 】 【 スポーツ課 】	2,732	2,127	「ASTCトライアスロンアジア選手権2012/館山」の開催（平成24年4月6日・7日）に向け、非常勤職員を雇用し、地元調整やボランティア募集等の業務を行った。 雇用実績：2人
	市議会会議録デジタル化事業 【 P147 市議会会議録 デジタル化事業 】 【 議会事務局 】	1,846	1,647	市議会会議録の経年劣化による滅失を防止を行うため、非常勤職員を雇用し会議録のデジタル化を行った。 雇用実績：2人

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
6 農林水産業費	農業委員会事務 【 P149 農業委員会事務費 】 【 農業委員会事務局 】	2,038	1,921	1 農業生産基盤である農地を守り、耕作者の地位の安定、食料の安定供給の確保などを目的に、農地転用等の規制について農地法の厳正実施することにより、健全な農地の利用調整を図った。 (1) 農地法第3条に基づく移動状況及び第4条、第5条の転用状況 第3条 (37件 60,617㎡) 第4条 (5件 4,791㎡) 第5条 (61件 42,445㎡) (2) 農地移動適正化あっせん事業 売買 (3件 5,049㎡) 2 中核的担い手農家へ農地の集約化を図るため、農業経営基盤強化促進法による利用権設定の促進を引き続き実施し、約48haの貸借契約を図った。 利用権設定事業 新規 (95件 359,817㎡) 再設定 (51件 120,230㎡) 3 農業者の老後生活の安定・福祉の向上を目的とする農業者年金への加入促進に努めた。 新規加入 (3件) 4 農業者や農地情報を把握するため、農家台帳システムの維持管理を行った。 ・ 農地情報管理システムデータ更新委託料 578千円 ・ 農家台帳システム借上料 750千円 外
	中山間地域等直接支払事業 【 P153 中山間地域等 直接支払制度事業 】 【 農水産課 】	2,445	2,445	中山間地域などの農業生産条件が不利な地域において、耕作放棄地の発生を防止し、水源かん養・洪水防止・土砂崩壊防止等の多面的機能を継続的、効果的に発揮するため、協定に基づき、5年以上農業生産活動が続ける農業者に対して交付金を交付した。 5集落 (小原、滝ノ谷、上ノ台、加藤、久所) 及び4認定農業者と協定締結
	有害鳥獣対策事業 【 P153 有害鳥獣対策事業 】 【 農水産課 】	11,586	10,605	有害鳥獣による農作物の被害を抑えるために、鳥獣の捕獲事業及び防護柵の設置などについて支援し、有害鳥獣への対応を強化した。 1 事業名：有害鳥獣対策事業委託料 3,283千円 ① 捕獲事業 事業内容：報奨金・賠償責任保険 捕獲実績：イノシシ90頭 外 (小動物・鳥類など) ② わな免許取得支援事業 事業内容：わな免許取得に係る費用支援 (5名) 2 事業名：有害鳥獣被害防止対策事業補助金 7,317千円 ① 総事業費：2,427千円 (県1,616千円、市811千円) 事業内容：防護柵購入費の1/6補助 28カ所：7,659m ② 総事業費：4,890千円 (県、鳥獣被害防止総合対策交付金4,890千円) 推進交付金：1,600千円 イノシシ用箱わな15基、イノシシ用くくりわな20基 整備交付金：3,290千円 ワイヤメッシュ柵延長2,800m

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
6 農林水産業費	廃プラスチック処理対策推進事業 【 P153 園芸環境対策事業 】 【 農水産課 】	1,647	1,236	農業用ビニール等の不法投棄や野焼き防止により、環境保全と資源の有効利用を図るため、園芸用使用済プラスチックの収集処理事業に対し支援を行い、農村環境の保全と園芸の振興を図った。 館山市廃プラスチック対策協議会構成団体：15団体 平成23年度 回収処理実績：年4回 処理量：39,980kg (塩化ビニール10,350kg ポリエチレン29,630kg) 処理委託先：千葉県園芸プラスチック加工㈱ 東金市
	「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業補助金 【 P153 生産団体支援事業 】 【 農水産課 】	6,456	6,410	厳しい産地間競争への対応と農業経営の基盤強化を目的として、生産者組合などが実施する園芸生産施設や機械整備を行う者に対して千葉県の補助を受け支援を行い、園芸の振興を図った。 1 館山市苺組合 総事業費：16,563千円 (県支出金：5,258千円) 整備施設：① パイプハウス5連棟 (1,350㎡) ② 省エネ型暖房機及び保温カーテン 2 認定農業者 総事業費：4,842千円 (県支出金：1,152千円) 整備施設：① いちじくパイプハウス 4連棟 (907㎡) 果樹棚 (30a) ② 加工処理施設 (予冷库)
	家畜防疫事業補助金 【 P155 畜産振興事業 】 【 農水産課 】	831	265	健全な酪農業の維持と保全を目的として、家畜伝染病などの検査費用の一部を支援し、家畜伝性病発生の未然防止に努めた。 結核病：ツベルクリン検査 ブルセラ病・ヨーネ病：血液採取検査 検査頭数合計：404頭 ※ 検査費の1/2補助 補助先：館山市家畜伝染病予防会
	さわやか畜産総合展開事業補助金 【 P155 畜産振興事業 】 【 農水産課 】	1,294	1,294	地域の自然や生活環境の保全に配慮し、安定的な畜産経営を図るため、家畜排せつ物の適正処理と利活用に資する施設機械の整備に対して支援を行い、畜産環境の改善に努めた。 事業主体 岡田畜産環境保全組合 事業内容 堆肥舎建設 (木造方屋根：50㎡)，ホイルローダー整備 事業費 総事業費：3,200千円 (県：989千円，市：305千円)
	ため池整備計画作成事業 (柳作地区) 【 P155 土地改良事業 】 【 農水産課 】	2,000	1,890	老朽化により堤体からの漏水や堤体法面の陥没などが発生した「柳作堰」(沼地先)の改修を行うため、現地調査を実施し改修計画を策定した。 事業位置：館山市沼地内 受益面積：11.5ha 事業スケジュール：平成23年度 改修計画，設計委託 平成24年度 改修工事 ・ ため池整備計画作成業務委託料 (柳作地区) 1,890千円

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
6 農林水産業費	ため池等整備事業（大正地区） 【 P155 土地改良事業 】 【 農水産課 】	1,352	1,351	築造後80年以上経過した農業用ため池である大正堰は、老朽化に伴う堤体からの漏水と洪水吐の断面不足により、機能低下及び安全性が懸念されることから、堤体と洪水吐を改修し、機能回復と安全確保を図るため、千葉県が実施する事業費の一部を負担し、事業の推進を図った。 事業位置：館山市山本地内 事業主体：千葉県 受益面積：8.2ha 事業内容：堤体築堤工 堤体護岸工 法面保護工 洪水吐工 事業年度：平成22年度～26年度 ・ 県営ため池等整備事業大正地区負担金 1,351千円
	農用地総合整備事業（豊房地区ほ場整備） 【 P155 土地改良事業 】 【 農水産課 】	53,612	53,610	区画整理事業により優良農地の整備が図られた農用地総合整備事業に対する市と受益者の負担金を償還し、事業の清算を進めた。 事業名：安房南部区域農用地総合整備事業 事業位置：館山市豊房地区及び真倉地区 事業量：区画整理A＝11.9ha 事業年度：平成13年度～21年度（償還予定年度：平成22年度～36年度） ・ 農用地総合整備事業負担金 53,610千円
	かんがい排水事業 【 P155 土地改良事業 】 【 農水産課 】	22,973	22,948	農業用の安房中央ダムは、施設の老朽化による取水機能の低下や受益地区内の用水不足、維持管理費の増加、経年変化による施設の安全性が懸念されることから、農業用水の安定供給と安全性確保のため、千葉県が実施する事業費の一部を負担し、事業の推進を図った。 事業位置：南房総市丸山川谷地内 事業主体：千葉県 受益面積：9.55ha 事業内容：取水設備 放流設備 管理施設 事業年度：平成16年度～平成25年度 ・ 県営かんがい排水事業安房中央地区負担金 22,948千円
	土地改良施設維持管理適正化事業 【 P155 農業施設維持管理事業 】 【 農水産課 】	11,105	10,929	1 土地改良施設維持管理適正化事業仲尾沢地区負担金 3,349千円 ため池の堤体内に土砂の堆積が著しく、貯留能力の低下した仲尾沢堰（富浦地区）に対する南房総市の浚渫工事の事業費の一部を負担し、事業の推進を図った。 事業位置：南房総市富浦町福澤地内 事業主体：南房総市 事業内容：仲尾沢堰（船形八束水利組合）の浚渫工事 事業年度：平成23年度～24年度 2 土地改良施設維持管理適正化事業平久里川防潮堰負担金 7,580千円 可動部の老朽化と腐食や欠落により、堰の開閉不能が懸念された平久里川防潮堰の鋼製ローラゲート補修工事の事業費の一部を負担し、機能性・安全性を高めた。 事業位置：館山市正木地内 事業主体：安房中央土地改良区 事業内容：鋼製ローラゲート補修 事業年度：平成23年度～25年度

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
6 農林水産業費	農業用施設整備事業 【 P157 農林業施設整備支援事業 】 【 農水産課 】	7,000	6,908	農道、農業用排水路等の維持管理・改修等を行う団体（集落）に対して、必要な補修用資材の交付を行い、農林業生産基盤の整備を図った。 主な支給資材：生コンクリート、砕石、コンクリート二次製品、木杭等 申請者：農業協力員 地区数：69地区 ・ 補修修繕用材料費 6,908千円
	小規模土地改良事業 【 P157 農林業施設整備支援事業 】 【 農水産課 】	2,000	1,914	各地域で維持管理をしている、ため池や農道、用排水路等の補修、新規施設の設置及び災害復旧等の事業を実施する団体に対して補助を行い、土地改良施設の整備を図った。 ・ 小規模土地改良事業補助金 1,914千円 農業用排水設備改修事業：4地区 1,622千円 (農業用ポンプの更新、用排水路改修、止水ゲートの設置等) 農道整備、改修事業 2地区 292千円 (コンクリート舗装補修)
	農地・水・環境保全向上対策事業 【 P157 農地・水保全管理支援事業 】 【 農水産課 】	6,998	6,683	1 農地・水共同活動支援交付金 (10地区) 3,167千円 農地や農業用水等の資源を守るため、共同活動の取り組みを行う集落（組織）に対して支援を行い、農村環境の保全と向上を図った。 2 農地・水向上活動支援交付金 (7地区) 3,516千円 水路・農道等の補修や施設の長寿命化のための活動に取組む集落（組織）に対して支援を行い、土地改良施設の整備を図った。
	漁業生産基盤等整備補助金 【 P159 漁業経営支援事業 】 【 農水産課 】	2,786	2,786	水産業の流通機能を改善するため、西岬漁協が平成24年度に建設する下原漁港荷捌き所建設に係る実施設計費に対して、平成23年度千葉県産地水産業強化施設整備支援事業により国、県と共に一部補助し、荷捌き所建設の推進を図った。 漁業生産基盤等整備補助金 補助対象：西岬漁業協同組合 補助金額：2,786千円（内、県補助金（国費含む）2,388千円）
	あわび種苗放流事業補助金 【 P159 栽培漁業支援事業 】 【 農水産課 】	1,701	1,701	禁漁区への放流により放流種苗が確実に育つことにより漁獲量の増加を図るため、市内5漁協が実施するあわびの稚貝放流事業に対して補助金を交付し、沿岸漁業における漁業資源の維持・増大を図った。 補助対象：市内5漁業協同組合（補助率：事業費の1／2） 補助金額：館山船形漁協 378千円 西岬漁協 567千円 波左間漁協 126千円 館山市相浜漁協 315千円 館山市布良漁協 315千円

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
6 農林水産業費	東京湾漁業総合対策事業補助金 【 P159 栽培漁業支援事業 】 【 農水産課 】	1,250	1,250	禁漁区へ種苗の放流により漁獲量の増加を図るため、市内5漁協が実施するサザエの稚貝放流事業に対して県と共に補助金を交付し、沿岸漁業における漁業資源の維持・増大を図った。 補助対象：市内5漁業協同組合（補助率：事業費の1／2（県3／10，市2／10）） 補助金額：1,250千円（各漁協250千円×5漁協）
	県営漁港整備事業 【 P161 漁港建設事業 】 【 農水産課 】	8,953	8,953	漁船操業の安全性の確保や、漁業作業の効率化を図るための県営漁港（船形、富崎）の整備に対して、事業費の一部を負担し事業の推進を図った。 1 漁村再生交付金事業（国庫補助） 船形 物揚場改良設計 ／ － 2 m物揚場改良 L = 6 3 m ² 全体事業費 33,075千円 市負担額 4,134千円 富崎 護岸改良 L = 6 5 6 m ² ／ － 2 m泊地浚渫 A = 7 8 0 m ² ／ 底質調査一式 全体事業費 34,939千円 市負担額 4,367千円 2 漁港維持改良事業（県単独補助） 船形 側溝補修 L = 2 0 m ² 全体事業費 903千円 市負担金 452千円

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
7 商工費	消費生活推進事業 【 P161 消費生活推進事業 】 【 社会安全課 】	2,045	2,031	多様化する消費者トラブル防止のため、地域に即した消費者保護対策・消費学習の推進を行った。 1 消費生活シンポジウム開催：(2月18日)シンポジウムを行い、消費者行政の活性化を図った。 2 啓発物資等の作成：くらしの豆知識 600部作成(配布先：成人式、講座・相談先など) 街頭啓発物資 1,000個作成(配布先：イオンタウン前の街頭先など) ・ 消費者対策事業委託料 300千円 外
	中小企業融資事業 【 P163 中小企業融資事業 】 【 商工観光課 】	90,519	81,057	中小企業の振興を図るため、館山市中小企業融資等の借入れを行なった中小企業者に対して、保証料及び利子の一部を補給した。また、融資の円滑化を図るため、市内各金融機関に預託を行なった。 1 小規模事業者経営改善資金利子補給金 1,971千円 (81件) 小規模事業者経営改善資金制度に基づく資金融資を受けた中小企業者に対して、3年以内を限度にその資金に対する利子の一部を補給した。 2 中小企業融資保証料補給金 4,067千円 (104件) 中小企業の振興を図るため、館山市中小企業融資の借入れを行なった中小企業者に対して、3年以内を限度に保証料を補給した。 3 中小企業融資利子補給金 4,637千円 (118件) 中小企業の振興を図るため、館山市中小企業融資の借入れを行なった中小企業者に対して、3年以内を限度に利子の一部を補給した。 4 中小企業融資預託金 70,000千円(貸付金額：297,400千円) 中小企業者の事業資金の融資の円滑化を図るため、市内各金融機関に預託した。 5 中小企業融資補填金 382千円 (1件) 千葉県信用保証協会が代位弁済した制度融資案件について、条例に基づき損失補てんを行なった。
	商工関係団体支援事業 【 P163 商工関係団体支援事業 】 【 商工観光課 】	9,134	9,134	商工業の振興や伝統工芸の振興を図るため、商工関係団体の運営や事業を支援した。 1 房州うちわ振興協議会補助金 291千円 千葉県唯一の国指定の伝統的工芸品である房州うちわの振興を図るため、各展示会出展・パンフレット発行などの房州うちわ振興協議会の事業に助成した。 2 商店会連合会補助金 1,398千円 商店会の組織強化・育成及び、近代化を促進するため、近代化促進事業・共同施設関係商店会育成事業などの館山市商店会連合会の事業に助成した。 3 館山たばこ販売組合補助金 279千円 たばこの販売促進を図り、市税の増収を図るため、館山たばこ販売組合が実施する、スモークンキャンペーン・火遊び事故防止の啓発事業などの、たばこ販売促進事業に助成した。 4 館山商工会議所補助金 7,071千円 小規模事業者の経営改善普及事業の推進、税務指導の充実等、商工業の総合的な改善発展のため、商工業活性化事業・中小企業相談所事業などの館山商工会議所の事業に助成した。 5 その他 会議等出席負担金 95千円 外

※ 事業欄の下端【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
7 商工費	緊急経済対策事業補助金 【 P163 商工関係団体支援事業 】 【 商工観光課 】	12,500	12,443	東日本大震災の影響と福島第一原子力発電所事故の発生に伴う風評被害等により、低迷する消費活動の活性化を図るため、10%のプレミアムがついた商品券を発行し、地域経済の活性化を図った。 販売期間 : 平成23年9月1日から、売り切れ次第終了(平成23年10月21日完売) 販売場所 : 市内14カ所 (商工会議所含む) 使用期限 : 平成23年9月1日(木)～11月30日(水)まで 取扱店 : 市内286店舗 購入限度額 : 1人50,000円(5セットまで) (1枚1,000円の商品券を11枚1セット10,000円で12,000セット販売) 補助対象 : 館山市商業協同組合 補助金額 : 12,443千円 (商品券販売合計額 : 132,000千円)
	広域連携事務 【 P165 広域連携事務 】 【 商工観光課 】	9,930	9,930	館山市の観光振興を図るため、千葉県他関係機関や南房総地域の自治体と連携しながら、観光振興事業やキャンペーン、プロモーション等を実施した。 1 南房総地域観光圏整備推進協議会負担金 8,850千円 フラワーツーリズム推進のため、平砂浦滞在促進地区で植栽事業を実施 滞在時間の延長を図るため、広域連携によるプロモーション活動を実施 2 宿泊・滞在型観光推進協議会負担金 1,080千円 旅の重要な要素である交通手段として、東京湾フェリーでの船旅を取り入れ、首都圏在住者、特に神奈川県在住者を対象に、新たな観光誘客・滞在促進を図った。 ① 東京湾フェリー、京浜急行電鉄株との連携による、電車・バスの中吊り広告などの宣伝媒体を活用した実証モニターツアーの実施 ② 横須賀市をはじめとした神奈川県自治体との連携による観光プロモーションの実施 ③ 南房総地域と神奈川方面の観光情報を掲載した、エージェント向けPRパンフレットの作成(9,000部) ④ マスコミ関係者へのファムトリップ・実証モニターツアーの実施(3回)

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
7 商工費	観光振興事業 【 P165 観光振興事業 】 【 商工観光課 】	15,334	13,687	観光客誘致のための受入体制の強化や地域資源のブラッシュアップ，着地型観光などの推進を図るため，市内の団体等が行う観光振興に係る事業へ支援を行った。 1 観光案内業務委託料 5,000千円 (委託先：館山市観光協会) 来訪者に対する観光案内や観光情報の収集，観光振興を図るための事業に係る各種団体との企画・連絡・調整などの業務により，来訪者へのサービス向上及びさらなる誘客を図った。 2 館山市観光協会補助金 2,334千円 観光客誘致につながる観光事業の積極的な展開及び，観光客の受入れ態勢の強化を図るため，館山市観光協会に助成を行った。 ① 定期観光バス ポピー&ストロベリー号の実施 補助額： 298千円 ② 広告宣伝・キャンペーン事業費・新商品開発費 補助額：2,015千円 外 3 中間支援機能等支援助成金 2,500千円 (助成対象：館山体験交流協会) 教育旅行を中心とした体験観光推進のため中間支援機能（コーディネート，情報発信，商品開発など）の強化を図るため，館山体験交流協会へ助成を行った。 〔教育旅行者数及び学校数〕 平成23年度 4,173人(68校) 平成22年度 10,904人(106校) 平成21年度 6,007人(50校) 4 観光振興支援事業補助金 3,853千円 魅力的な観光地づくりのため，観光振興に資する事業を行う民間団体を支援した。 ※ 平成23年度は，震災復興に資する事業限定 ① 東北再生へ舵を取れ 補助額： 913千円 (補助対象：館山商工会議所青年部) 南総里見まつり開催に合わせたB級グルメ祭り事業への支援 ② 配湯設備等改良事業 補助額： 990千円 (補助対象：館山市温泉事業組合) 温泉取水施設改良工事への補助 (休暇村館山，花しぶき，平砂浦ビーチホテル) ③ 訪日外国人観光客誘致事業 補助額：1,950千円 (補助対象：館山インバウンド協議会) 訪日外国人観光客誘致のため，韓国語パンフレット作成事業・韓国旅行企画会社への営業活動などの取組みへ支援を行った。
	新商品開発事業補助金 【 P165 観光振興事業 】 【 商工観光課 】	5,000	5,000	(財)地域総合整備財団の支援を受け，交流人口の増加による地域経済の活性化を図るため，市内の事業者が連携して実施する，地域食材を活用した館山オリジナルの商品開発事業について支援を行なった。 補助対象：館山市地域ブランド推進協議会 補助金額：5,000千円 事業内容：「館山炙り海鮮丼」の開発事業 平成24年2月1日発売開始

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
7 商工費	緊急経済対策事業補助金 【 P165 観光振興事業 】 【 商工観光課 】	24,500	20,069	東日本大震災後の観光客の落ち込みを回復するため、館山市観光協会が実施した緊急経済対策事業（たてやま全開プレミアムキャンペーン）に助成を行い、地域経済の活性化を図った。 「ゴールデンチケット」付宿泊プラン 17,193千円（配布枚数：9,911枚，利用枚数：8,238枚） 市内各宿泊施設のお得意様を主なターゲットにした特典付宿泊プランの実施及び授与された特典の市内での利用促進により、地域経済の活性化に努めた。 〔実施期間：平成23年9月1日～3月31日〕 - 房州イセエビ3001本フェア 1,131千円（実績：2,298本） 房州イセエビの名称定着化と宿泊時の満足度向上のため、プラス500円でその味を堪能していただく宿泊客増加促進を行った。 〔実施期間：平成23年9月1日～11月10日〕 - 館山ほっとフォトコンテスト 588千円（応募総数：571点） 7つのテーマで表現した写真によるフォトコンテストを開催し、写真愛好家を主とした誘客と滞在時間・期間の長期化を促すとともに、館山における画像素材の蓄積を図った。 〔実施期間：平成23年9月1日～12月20日〕 10月限定☆里見ワールドクイズ 174千円（応募総数：56件） 第30回南総里見まつりを中核イベントと位置付け、里見まつりと南総里見八犬伝をテーマにクイズ形式で楽しみながら街めぐりを促すことにより、滞在時間・期間の長期化を図った。 〔実施期間：平成23年10月1日～10月31日〕 - 旅行読売新春ビッグプレゼント 511千円（配布枚数：100枚，利用枚数：49枚） 東日本大震災から1年を迎える春の観光シーズンに、再び消費マインドが落ち込む懸念があったため、宿泊補助券を旅行読売の読者プレゼントとして提供し、ひと足早い春を楽しめる観光地として観光客誘致を行った。 〔実施期間：平成24年1月1日～3月31日〕 - 専用ホームページの開設 472千円 たてやま全開プレミアムキャンペーン事業の専用ホームページを構築した。 〔実施期間：平成24年9月1日から随時更新〕
	観光振興基金管理事務 【 P165 観光振興基金管理事務 】 【 商工観光課 】	18,789	13,065	観光振興の円滑な推進を図るため、入湯税を原資に、観光振興基金へ積み立てを行った。 観光振興基金積立金 13,065千円

※ 事業欄の下端 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
7 商工費	観光施設整備事業 【 P165 観光施設整備事業 】 【 P165 観光施設整備事業 (繰越明許費) 】 【 商工観光課 】	46,167	33,087	来訪者が快適に観光地めぐりができるよう、公衆トイレの改修や案内表示の整備を図った。 1 新井海岸公衆トイレ建設工事 ・ トイレ設置工事請負費 22,000千円 ・ 工事監理委託料 924千円 工事概要：鉄筋コンクリート造・平屋建 延床面積51.34㎡ 2 ウォーキングコース情報案内表示板整備事業 ・ 案内看板等設置工事請負費 1,314千円 工事概要：ウォーキングコース情報案内表示板設置（17カ所） 工事場所：館山市洲崎地先 3 観光地魅力アップ緊急整備事業補助金 580千円 千葉県観光地魅力アップ緊急整備事業補助により、観光関連施設の整備充実を図った。 補助概要：(株)アークスが実施する公衆用トイレ整備事業費の一部を補助 4 館山市観光案内板設置事業 案内看板等設置工事請負費（繰越明許費分） 7,860千円 工事概要：交差点名表示10カ所 総合案内板2基 施設案内板1基 誘導標識4基 工事場所：館山市湊地先 外 ※ 予算現額には、平成24年度への繰越分12,600千円含む
	観光施設管理事業 【 P165 観光施設管理事業 】 【 商工観光課 】	31,262	28,933	来訪者が快適に観光地めぐりができるよう、花き植栽及び清掃等により、観光地の美化に努めた。 1 非常勤職員賃金（海岸清掃） 6,445千円 2 公衆トイレ清掃委託料（常設21カ所） 4,804千円 3 観光地美化事業委託料 2,563千円 館山駅東口ロータリー植栽、県道南安房公園線花き植栽（A＝610㎡）など 4 那古山遊歩道清掃業務委託料 535千円 5 し尿浄化槽維持管理委託料 3,291千円 6 館山集団施設地区管理委託料 2,415千円（浜田・見物地区 A＝8,000㎡） 7 その他維持管理費（消耗品、光熱水費等） 8,880千円
	観光プロモーション事業 【 P167 観光プロモーション事業 】 【 商工観光課 】	2,828	2,325	観光パンフレットの作成・配布及び、首都圏をはじめ国内各地での観光キャンペーンを行い、観光宣伝に努めた。 1 印刷製本費 1,139千円 ・ 館山市通年型総合パンフレット作成 30,000部 ・ 赤山地下壕跡パンフレット作成 12,000部 2 その他（消耗品、資機材等借上料 外） 1,186千円

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
7 商工費	館山市観光プロモーション活動推進事業資金貸付金 【 P167 観光プロモーション事業 】 【 商工観光課 】	2,050	2,050	観光プロモーション推進活動等を行うNPO等団体が、国・県等の受託・助成を受けて行う公益事業に対し、つなぎ資金の無利子貸付を行い事業の推進を支援した。 館山市観光プロモーション活動推進事業資金貸付金 1 青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会 750千円 2 神余里味発見伝協議会 1,300千円
	観光イベント事業 【 P167 観光イベント事業 】 【 商工観光課 】	13,825	13,612	観光振興と地域の活性化を図るため、観光イベントの実施、また、観光行事への助成を行った。 1 館山市観光行事補助金 ① 館山観光まつり 6,750千円 (補助対象：館山観光まつり実行委員会) 館山オープンウォータースイムレース 450千円 館山湾花火大会 6,300千円 主催者発表 160千人 ② 南総里見まつり 5,000千円 (補助対象：南総里見まつり実行委員会) 主催者発表 105千人 2 その他(消耗品、資機材等借上料 外) 1,862千円
	海水浴場開設事業 【 P169 海水浴場開設事業 】 【 商工観光課 】	27,597	25,890	海水浴場開設に係る事業を実施し、海水浴場の安全確保に努めた。 1 海水浴場監視船委託料 2,668千円 遊泳客の安全確保のため、市内漁業協同組合へ監視を委託 実施期間：7月14日～8月21日 5船 2 海水浴場監視委託料 17,810千円 8海水浴場の監視及び大賀・見物海岸の監視パトロール 海水浴場 開設期間：7月16日～8月21日 入込数 48,000人 3 駐車場整理委託料 1,057千円 北条・沖ノ島海水浴場の駐車場整備委託等を実施 実施期間：7月16日～8月15日 4 監視所救護所等設置工事 915千円 海水浴場の無料休憩所(救護所)設置及び解体撤去工事(3地区) 海水浴場監視所の電気配線設置及び撤去 5 その他(公衆・仮設トイレ清掃、補修修繕用材料費 外) 3,440千円

※ 事業欄の下端 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
8 土木費	道路台帳等整備事業 【 P173 道路管理事業費 】 【 建設課 】	3,192	2,499	道路台帳の整備により、市道の認定、変更に伴う調書及び平面図の修正を行い、市道の適切な管理を図った。 処理件数 新規認定2路線 道路改良等による修正7路線 新規構造物（橋梁）5カ所 ・ 道路台帳修正等委託料 2,499千円
	道路清掃等管理事業 【 P173 道路等維持事業 】 【 建設課 】	9,124	7,996	市道内にある街路樹等の適正な植栽管理や幹線市道の路肩の草刈作業を行い、道路環境の保全を図った。 1 植栽管理委託料 5,689千円 館山駅西口交通広場等植栽管理委託 市道1031号線外2線植栽管理業務委託 外5件 2 市道清掃等管理委託料 2,308千円 市道1194号線外1線清掃管理委託 市道8038号線清掃管理委託 外6件
	道路維持管理事業 【 P173 道路等維持事業 】 【 建設課 】	31,703	26,894	市道の適正な維持管理のための維持補修工事等の実施により、道路機能の維持を図った。 1 道路維持補修工事請負費 9,326千円 (1) 道路舗装工事 15カ所 (2) 道路排水工事 19カ所 (3) 道路維持工事 41カ所 2 市道飛砂防止網設置及び撤去工事請負費 2,093千円 北条・新井・那古・船形海岸線 延長＝1200m 3 補修修繕用材料費 15,475千円 アスファルト合材、砕石、生コンクリート、U字溝、グレーチングなど

※ 事業欄の下端【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
8 土木費	道路新設改良事業 【 P175 道路新設改良事業 】 【 P175 道路新設改良事業 (繰越明許) 】 【 建設課 】	208,960	141,737	市道の改良等に伴う測量，調査，設計並びに改良工事，排水整備工事，舗装補修工事等を行い，生活環境及び道路機能の向上を図った。 1 道路新設改良工事請負費 (繰越分) 15,226千円 道路舗装補修工事 延長 (m) 市道369号線 (上真倉地内) 542.0 15,226千円 2 排水路整備工事請負費 (繰越分) 11,743千円 排水路整備工事 延長 (m) 館山工業団地地区外排水路 (稲地内) 219.3 11,734千円 3 路線測量設計等委託料 18,094千円 ① 道路改良 : 市道7040号線 外7線 (畑地内外) 11,398千円 ② 排水整備 : 市道325号線 外3線 (大賀地内) 5,489千円 ③ 舗装補修 : 市道369号線 (上真倉地内) 1,207千円 4 用地測量及び分筆登記委託料 市道9052号線 (二子地内) 171千円 5 不動産等調査委託料 市道9052号線 (二子地内) 2,310千円 6 不動産鑑定委託料 市道9052号線 (二子地内) 678千円 7 道路新設改良工事請負費 92,645千円 ① 道路改良工事 延長 (m) 市道318号線 外3線 (大賀地内外) 97.6 20,886千円 ② 道路排水整備工事 市道5022号線 外4線 (犬石地内外) 655.1 41,451千円 ③ 道路舗装補修工事 市道9044号線 外3線 (安東地内外) 617.9 30,308千円 8 用地購入費 市道9052号線 (二子地内) 451千円 9 移設移転補償費 市道7040号線 (畑地内) 419千円 ※ 予算現額には、平成24年度への繰越分65,060千円含む

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
8 土木費	橋梁整備事業 【 P175 橋梁整備事業 】 【 P175 橋梁整備事業 (繰越明許) 】 【 建設課 】	123,187	69,333	安全・円滑な交通機能確保するため橋梁整備を行った。また、橋梁長寿命化修繕計画の策定を行い、今後の維持管理における基礎的データの収集に努めた。 1 橋梁調査委託料 (繰越分) 2,520千円 橋梁長寿命化修繕計画策定委託 事業年度：平成20年度～24年度 対象橋梁：140橋 平成23年度は、15m未満68橋の橋梁点検調査を実施 2 橋梁整備工事請負費 (繰越分) 58,203千円 ① 汐入橋人道橋新設工事 (橋長 47.5m, 幅員 3.0m) 54,767千円 ② 境橋外3橋梁橋梁補修 (塗装塗替え) 工事外 (畑地内外) 3,436千円 3 設計委託料 8,610千円 汐入橋橋梁補修工事 (市道3016号線) 事業年度：平成23年度～24年度 工事概要：平成23年度 詳細調査・補修設計業務委託 平成24年度 補修工事 (上部工, 下部工) ※ 予算現額には、平成24年度への繰越分52,000千円含む
	河川等維持事業 【 P175 河川等維持事業 】 【 建設課 】	6,710	3,375	河川等の適正な維持管理のための維持工事を行い、生活環境の改善に努めた。 河川等整備工事請負費 (境川河川護岸補修工事 外3件) 3,375千円 ※ 予算現額には、平成24年度への繰越分3,262千円含む

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
8 土木費	みなと施設整備事業 【 P177 みなと施設整備事業 】 【 みなとまちづくり課 】	81,873	67,711	1 交流人口の増加による地域経済の活性化を図るため、交流拠点施設「“渚の駅” たてやま」の整備を行い、平成24年3月25日供用開始を行った。 〔平成23年度 整備事業概要〕 ① 港湾緑地・駐車場整備 47,198千円 (A S舗装：2,820㎡) ② 緑地植栽 8,138千円 (ゲッケイジュ567本 ツツジ567本 ムクゲ18本 コウライシバ植栽133㎡) ③ P R施設設置 4,515千円 ④ 施設内案内看板整備 522千円 ⑤ 駐輪場・喫煙所・ベンチ等整備 2,019千円 〔年度別事業概略〕 平成19年度 港湾緑地計画設計，交流拠点施設計画 平成20年度 港湾緑地設計業務，交流拠点改修設計 平成21年度 港湾緑地・プロムナード，交流拠点施設改修 平成22年度 港湾緑地・プロムナード，駐車場整備 2 館山港修築工事負担金 5,319千円 ① 経年劣化による損耗が激しい宮城地区臨港道路の改修事業（県営事業）の事業費の一部を負担し，事業の推進を図った。 4,500千円（県事業費 24,000千円 負担率：18.75%） - 沼地区臨港道路舗装（工事延長＝150m） - 宮城区臨港道路舗装（工事延長＝84m） ② 館山夕日栈橋における係留施設設置検討調査に係る一部事業費を負担し，事業の推進を図った。 819千円（県事業費 2,730千円 負担率：30%）
	みなと振興事業 【 P179 みなと振興事業 】 【 みなと振興室 】	7,225	3,401	「“渚の駅” たてやま」，館山夕日栈橋及び館山湾の利活用を推進するため，施設のP R・客船等の誘致活動を行い，地域経済の活性化に努めた。 1 「“渚の駅” たてやま」P Rイベントの実施 1,708千円 (オープニングイベント開催：平成24年3月25日) 2 客船等歓迎行事委託料 1,693千円 ① 高速ジェット船運航 三宅島臨時便 館山乗船者 383名 (平成23年6月20日～6月29日) セブンアイランド季節便 館山乗船者 6,345名 (平成24年2月14日～4月1日) 〔乗船実績〕 平成23年 5,515名 平成22年 6,490名 ② おがさわら丸運航 館山乗船者 36名 (平成23年10月18日) 〔乗船実績〕 平成22年度 25名 ③ 客船寄港 にっぽん丸 夏休み館山花火クルーズ 415名 (平成23年8月8日) 館山市民クルーズ 35名 (平成23年8月8日)

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
8 土木費	都市計画基礎調査事業 【 P179 都市計画運用事務 】 【 都市計画課 】	4,820	4,389	都市計画法の規定に基づき、都市化の状況に応じた都市計画の見直しを図るための基礎調査を行った。 調査区域： 館山市全域 調査項目： 住区調査，土地利用現況（土地利用別面積）調査，非可住地調査，建物利用現況（用途別現況）調査，公共公益施設の立地状況調査，大規模小売店舗の立地状況調査，市街地開発事業等調査 ・ 都市計画基礎調査業務委託料 4,389千円
	船形館山港線道路整備事業 【 P181 都市計画道路整備事業 】 【 P183 都市計画道路整備事業（繰越明許費） 】 【 都市計画課 】	87,458	76,867	1 地域活性化や観光振興を図ることを目的とした、（仮称）船形バイパスの整備を行うため、路線選定等の道路予備設計を行った。 ・ 船形館山港線道路予備設計業務委託料 7,850千円 2 都市計画道路船形館山港線（北条・八幡地区）に埋設した電線共同溝を円滑かつ適正に管理していくため、管理台帳の作成を行った。 ・ 電線共同溝管理台帳作成業務委託料 5,429千円 3 都市計画道路船形館山港線の歩道整備等を行い、利便性及び安全性の向上を図った。 また、低木（ハマヒサカキ）の植栽等を行い、景観形成に努めた。 ・ 船形館山港線道路工事請負費（繰越明許費） 47,020千円 道路付帯工事（L＝127.0m） 交通信号機移設工事（信号機新設 4基） 歩道整備工事（L＝95.0m） 道路植栽工事 4 まちづくり交付金事業の事業費確定による、同交付金の清算処理に伴う国庫支出金返還金 ・ 過年度国庫支出金返還金 16,569千円
	雨水排水路整備事業 【 P183 雨水排水路整備事業 】 【 都市計画課 】	7,597	3,200	大雨時の溢水による被害解消のため、排水路整備事業を行い、市民の安全で安心な生活環境の確保に努めた。 1 楠見1号排水路詳細設計業務委託 924千円 2 排水路整備工事請負費 2,260千円 楠見1号排水路改良工事（L＝8.1m） ※ 予算現額には、平成24年度への繰越分4,067千円含む
	公園管理事業 【 P183 公園管理事業 】 【 都市計画課 】	42,112	39,737	都市公園等の整備事業や適切な維持管理を行うことにより、公園利用者の安全と利便性を図った。 公園維持管理等委託料 4,955千円 ・ 公園施設維持管理委託（4カ所） ・ 公園樹木防除伐採委託（7カ所） 公園修繕工事請負費 2,705千円 ・ 城山公園転落防止柵設置工事（外4カ所）

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
8 土木費	市営住宅解体工事 【 P189 市営住宅運営事業 (繰越明許費) 】 【 都市計画課 】	9,545	9,545	老朽化した大賀地区市営住宅の解体撤去を行い、公営住宅の管理戸数の適正化に努めた。 平成22年度末管理戸数 277戸 平成23年度末管理戸数 269戸 ・ 市営住宅解体工事請負費(大賀住宅8棟) 9,545千円
	市営住宅修繕事業 【 P187 市営住宅運営事業 】 【 都市計画課 】	4,499	4,499	市営住宅の適正な維持管理を行い、耐用年限の延伸を図るとともに、居住環境の整備に努めた。 建物等修繕料(船形漁民住宅外5住宅) 4,499千円 ・ 船形漁民住宅1号棟404号室修繕工事 423千円 ・ 沼住宅205号室内部修繕 357千円 外 97件
	木造住宅耐震診断費用助成事業 【 P189 住宅対策事業 】 【 都市計画課 】	579	360	木造住宅の耐震性に対する市民意識の向上を図り、震災に強いまちづくりの推進に努めた。 木造住宅耐震診断費補助金 補助対象：昭和56年6月以前に建築の木造住宅(個人) 補助金額：360千円(対象経費の全額, 限度額120千円) 補助件数：3件 累計(平成20年度～23年度)：6件 578千円

※ 事業欄の下端【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
9 消防費	安房郡市広域市町村事務組合消防費負担金 【 P189 一部事務組合事務 】 【 社会安全課 】	815,757	815,757	広域消防体制の整備充実を図るため、消防職員の資質向上及び消防機器等の整備充実に努めた。 ・常備消防職員 260名 (H24.4.1現在) 安房管内 2署 11分遣所 (市内1署 2分遣所) ・出動件数 34件 (火災33件, 行方不明1件 ※平成23年度実績 市内出動件数)
	消防団活動事業 【 P191 消防団事業 】 【 社会安全課 】	29,708	26,852	火災等の災害から市民の生命、身体及び財産を守る消防団員に対する報酬等の費用 1 消防団員報酬 14,401千円 消防団員358人に対する報酬 年報酬額：団長 213千円 副団長 147千円 分団長 91千円 副分団長 72千円 部長 54千円 班長 40千円 その他団員 33千円 2 費用弁償 12,451千円 火災出動、訓練、災害警戒、搜索、夜警、防火広報、器具点検など、活動対価に係るもの 費用弁償額 (1人1回活動につき) 火災出動 (放水 1,800円 / 非放水 900円) 訓練 (1,200円) 風水害警戒 (1,800円) 夜警 (1,200円) 歳末特別警戒 (1,800円) 防火広報活動 (1,200円) 器具点検 (600円) 防火水槽清掃 (1,200円)
	消防車両購入事業 【 P191 消防機材整備事業 】 【 社会安全課 】	17,065	17,010	老朽化した消防車両を更新し、消防力の充実・強化を図った。 ・自動車購入費 (第8分団 第20部 豊房地区 購入後21年経過)
	消防施設設置改修事業 【 P191 消防施設整備事業 】 【 P193 消防施設整備事業 (繰越明許費) 】 【 社会安全課 】	11,464	10,231	老朽化した詰所の改修及び消火栓の新設・修繕を行い、消防力の充実を図った。 1 消火栓新設 1,600千円 (4カ所：伊戸地区 外) 2 消火栓修繕 3,844千円 (25カ所：安東地区 外) 3 詰所修繕工事等 762千円 (6カ所：第8分団第19部詰所 外) 4 防火水槽改修事業 (繰越分) 1,953千円 (1カ所：八幡地区) 5 詰所補修原材料 他 2,072千円

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
10 教育費	特別支援教育体制推進事業 【 P195 学校教育振興事業 】 【 学校教育課 】	12,000	11,654	様々な障害をもつ児童生徒に対する学習支援を行うため、小中学校等に特別支援教育学習支援員を派遣した。 〔 支援内容 〕 ① 発達障害の児童生徒に対する学習支援 ② 発達障害の児童生徒の健康・安全確保の支援 ③ 学校行事参加に伴う支援 ④ 周囲の児童生徒の障害理解の促進 〔 特別支援教育学習支援員 〕 17人（小学校15人、中学校2人（兼：幼稚園2名）） 非常勤職員賃金 11,654千円
	小中学校体育振興委託料 【 P195 学校教育振興事業 】 【 学校教育課 】	7,480	7,480	児童生徒の体力づくり、運動能力の向上など、学校体育・部活動の振興を図ることを目的に、館山市小中学校体育振興会に事業を委託し、体育実技のレベルアップと児童生徒の体力向上を図った。 1 館山市小学校体操教室 （対象：3・4年生） 2 館山市小学校陸上競技大会 3 千葉県中学校総合体育大会参加 （選手182名、引率教諭32名） 4 千葉県中学校新人体育大会参加 （選手173名、引率教諭30名） ・ 小中学校体育振興委託料 7,480千円
	生活習慣病予防検診委託事業 【 P193 教育総務事務費 】 【 P197 小学校運営事業 】 【 P201 小学校教育振興事業 】 【 P201 中学校運営事業 】 【 P205 中学校教育振興事業 】 【 教育総務課 】	2,430	2,223	生活習慣病の早期発見・予防のため生活習慣病予防検診を実施、246人が所見有と診断され、結果説明会や電話相談による個別指導を行い、生活習慣病の予防及び解消に努めた。 検 査 項 目 ： 脂質・肝機能・貧血・糖代謝 小学校5年生 ： 対象371人 受診350人 中学校2年生 ： 対象396人 受診377人 ・ 生活習慣病予防検診委託料（小学校） 2,915円×350人＝1,020千円 ・ 生活習慣病予防検診委託料（中学校） 2,915円×377人＝1,099千円 ・ 結果説明会栄養士謝礼 13千円 外
	遠距離通学児童通学費補助事業 【 P197 小学校運営事業 】 【 教育総務課 】	782	713	学校統合に伴い、遠距離通学となった地区の児童に対し、通学費の一部を補助し、保護者負担の軽減を図った。 〔 西岬小学校 〕 1 通学距離：2～4km 補助金額 年額5,000円 補助件数 17件 補助金額合計 85千円 2 通学距離：4km以上 補助金額 通学定期運賃の1／2×月数（8月の1ヶ月は除く） 補助件数 34件 補助金額合計 628千円

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
10 教育費	小学校施設修繕改修事業 【 P199 小学校施設管理事業 】 【 P199 小学校施設管理事業 (繰越明許費) 】 【 教育総務課 】	21,932	21,479	小学校施設の修繕、改修、整備を行い、児童の学習環境の改善を図った。 1 修繕料 12,275千円 建物、給排水設備、電気機械設備など小規模修繕 2 施設整備工事請負費 9,204千円 (繰越分) 小学校プールろ過装置修繕工事 (船形・館山・西岬・豊房・九重小学校) 1,527千円 船形・那古小学校洋式トイレ設置工事 610千円 西岬小学校洋式トイレ設置工事 473千円 館野小学校校舎屋上防水改修工事 6,594千円
	要保護及び準要保護児童援助事業 【 P201 小学校教育振興事業 】 【 教育総務課 】	11,078	9,469	生活保護世帯やこれに準ずる世帯など、経済的な理由により就学困難な児童に対し、必要な援助を行い、義務教育が円滑に受けられるように努めた。 〔 支給状況 〕 学用品費 1 4 6 人 1,540千円 通学用品費 1 2 5 人 256千円 校外活動費 (宿泊なし) 1 2 9 人 151千円 校外活動費 (宿泊あり) 2 9 人 14千円 修学旅行費 3 3 人 705千円 新入学学用品費 2 0 人 398千円 通学費 0 人 — 医療費 4 0 人 319千円 給食費 1 4 4 人 6,086千円 〔 認定者の推移 〕 年度 人数 支給額 2 1 年度 1 5 2 人 7,945千円 2 2 年度 1 7 1 人 9,407千円 2 3 年度 1 6 1 人 9,469千円
	特別支援教育就学奨励事業 【 P201 小学校教育振興事業 】 【 教育総務課 】	1,836	1,285	特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学に必要な経費の一部を補助し、特別支援教育の普及奨励を図った。 〔 支給状況 〕 学用品等購入費 4 2 人 222千円 新入学学用品費等 3 人 26千円 修学旅行費 7 人 72千円 校外活動等参加費 (宿泊なし) 3 8 人 22千円 校外活動等参加費 (宿泊あり) 7 人 3千円 給食費 4 2 人 894千円 交流及び共同学習交通費 3 7 人 15千円 通学費 1 人 31千円 〔 支給対象者の推移 〕 年度 人数 支給額 2 1 年度 3 8 人 923千円 2 2 年度 4 3 人 1,013千円 2 3 年度 4 9 人 1,285千円

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果																
10 教育費	教科用図書に関する事務 【 P201 小学校教育振興事業 】 【 教育総務課 】	17,299	15,972	教科書の改訂に伴い、教師用の教科書・指導書を購入した。 教科書 1,426冊 486千円 指導書 1,386冊 15,486千円																
	情報教育推進事業 【 P201 小学校教育振興事業 (繰越明許費) 】 【 教育総務課 】	10,292	8,891	小学校パソコン教室のパーソナルコンピュータ等を購入し、総合的な学習における探求活動や理科・社会の学習資料の検索等で活用し、児童の課題学習の充実を図った。 ・ 小学校教育用パーソナルコンピュータ購入（庁用器具費） 8,891千円 船形小学校 1台、那古小学校 1台、北条小学校 1台、館山小学校 1台、西岬小学校 1台 神戸小学校 28台、神余小学校 1台、富崎小学校 5台、豊房小学校 23台、館野小学校 1台 九重小学校 24台 （合計 87台）																
	スクールバス運行委託事業 【 P201 中学校運営事業 】 【 教育総務課 】	22,619	21,978	学校統合に伴い、遠距離通学となった地区のうち、路線バスのない又は不便な地区でスクールバスの運行を委託し、通学の利便を図った。 1 第二中学校 ① 神余地区と第二中学校区間の生徒の登下校 ② 畑地区から豊房小学校を經由し第二中学校区間で、豊房小学校及び第二中学校の児童生徒の登下校 2 第三中学校 ① 九重地区と第三中学校区間の生徒の登下校 〔運行状況〕 <table><tr><td>地 区</td><td>運行日数</td><td>行距離数</td><td>乗車人数</td></tr><tr><td>畑地区（二中）</td><td>205日</td><td>16,748km</td><td>延 1,085人</td></tr><tr><td>神余地区（二中）</td><td>203日</td><td>13,303km</td><td>延 1,668人</td></tr><tr><td>九重地区（三中）</td><td>204日</td><td>20,921km</td><td>延 12,480人</td></tr></table> ・ スクールバス運行委託料 21,978千円	地 区	運行日数	行距離数	乗車人数	畑地区（二中）	205日	16,748km	延 1,085人	神余地区（二中）	203日	13,303km	延 1,668人	九重地区（三中）	204日	20,921km	延 12,480人
	地 区	運行日数	行距離数	乗車人数																
畑地区（二中）	205日	16,748km	延 1,085人																	
神余地区（二中）	203日	13,303km	延 1,668人																	
九重地区（三中）	204日	20,921km	延 12,480人																	
遠距離通学生徒通学費補助事業 【 P201 中学校運営事業 】 【 教育総務課 】	5,973	5,204	学校統合に伴い、遠距離通学となった地区の生徒に対し、通学費の一部を補助し、保護者負担の軽減を図った。 1 第二中学校 ① 通学距離：4～6km（豊房地区） 補助金額 年額10,000円 補助件数 34件 補助金額合計 340千円 ② 通学距離：6km以上（西岬地区） 補助金額 通学定期運賃から3,500円を差引いた額×月数 補助件数 40件 補助金額合計 4,624千円 2 第三中学校 ① 通学距離：4～6km（館野地区） 補助金額 年額10,000円 補助件数 24件 補助金額合計 240千円																	

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
10 教育費	中学校施設修繕改修事業 【 P203 中学校施設管理事業 】 【 P205 中学校施設管理事業 (繰越明許費) 】 【 教育総務課 】	7,169	6,574	中学校施設の修繕、改修、整備を行い、生徒の学習環境の改善を図った。 1 修繕料 4,470千円 建物、給排水設備、電気機械設備など小規模修繕 2 施設整備工事請負費 2,104千円 第三中学校校長室エアコン交換工事 1,071千円 中学校プールろ過装置修繕工事（繰越分） 350千円 房南中学校洋式トイレ設置工事（繰越分） 683千円
	要保護及び準要保護生徒援助事業 【 P205 中学校教育振興事業 】 【 教育総務課 】	11,971	9,686	生活保護世帯やこれに準ずる世帯など、経済的な理由により就学困難な生徒に対し、必要な援助を行い、義務教育が円滑に受けられるように努めた。 〔支給状況〕 学用品費 1 0 5 人 2,165千円 通学用品費 6 7 人 135千円 校外活動費（宿泊なし） 2 5 人 53千円 校外活動費（宿泊あり） 3 9 人 65千円 修学旅行費 2 8 人 1,095千円 新入学学用品費 3 6 人 824千円 通学費 1 人 14千円 医療費 2 4 人 322千円 給食費 1 0 2 人 4,918千円 体育実技用具費 1 9 人 95千円 〔認定者の推移〕 年 度 人数 支給額 2 1 年度 1 1 1 人 8,541千円 2 2 年度 1 2 1 人 10,878千円 2 3 年度 1 1 8 人 9,686千円
	特別支援教育就学奨励事業 【 P205 中学校教育振興事業 】 【 教育総務課 】	1,339	845	特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学に必要な経費の一部を補助し、特別支援教育の普及奨励を図った。 〔支給状況〕 学用品等購入費 1 8 人 195千円 新入学学用品費等 5 人 57千円 修学旅行費 5 人 120千円 校外活動等参加費（宿泊なし） 5 人 5千円 校外活動等参加費（宿泊あり） 8 人 6千円 給食費 1 8 人 456千円 体育実技用具費 2 人 5千円 交流及び共同学習交通費 0 人 — 通学費 0 人 — 職場実習交通費 1 人 1千円 〔支給対象者の推移〕 年 度 人数 支給額 2 1 年度 2 3 人 693千円 2 2 年度 1 9 人 721千円 2 3 年度 2 6 人 845千円

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
10 教育費	情報教育推進事業 【 P205 中学校教育振興事業 】 【 教育総務課 】	6,299	6,297	中学校パソコン教室のパーソナルコンピュータ等を借上げ、総合的な学習における探求活動や理科や社会の学習資料の検索等で活用し、生徒の課題学習の充実を図った。 ・ パーソナルコンピュータ保守点検委託料 302千円 ・ パーソナルコンピュータ借上料 5,995千円 第一中学校41台、第二中学校41台、第三中学校41台、房南中学校35台 (合計158台)
	国際理解教育推進事業 【 P205 中学校教育振興事業 】 【 学校教育課 】	6,510	4,673	民間委託による外国語指導助手を配置し、中学校での国際理解教育を推進した。 また、小学校においても、学習指導要領の改正により、平成23年度から英語の授業が必須となったため、外国語指導助手を有効活用し、国際理解教育の推進を図った。 ・ A L T派遣業務委託料 4,673千円 (小中学校に2人派遣：1,640時間(1人820時間))
	幼稚園施設修繕改修事業 【 P209 幼稚園施設管理事業 】 【 P209 幼稚園施設管理事業 (繰越明許費) 】 【 教育総務課 】	9,314	8,360	幼稚園施設の修繕、改修、整備を行い、園児の学習環境の改善を図った。 1 修繕料 3,120千円 建物、給排水設備、電気機械設備など小規模修繕 2 施設整備工事請負費 5,240千円(繰越分) 館山幼稚園プレイルーム及び園舎屋上防水改修工事 2,363千円 西岬幼稚園プレイルーム棟屋根改修工事 2,877千円
	私立幼稚園就園等助成事業 【 P209 私立幼稚園教育振興事業 】 【 教育総務課 】	1,337	1,330	私立幼稚園の設置者が、保護者から徴収する入園料・保育料を減免した場合(生活保護者や市民税非課税世帯など)に、その減免分を補助することにより、幼稚園教育の振興を図った。 補助対象 私立幼稚園 補助件数 1件(実人数19名分)
	放課後子ども教室推進事業 【 P213 放課後子ども教室運営事業 】 【 生涯学習課 】	2,814	1,852	放課後や週末に小学校の余裕教室等を活用し、地域住民の参画を得て、勉強や体験活動、地域住民との交流活動等を実施し、子どもたちの安心・安全な居場所づくりの推進を図った。 〔開催教室数〕 9教室(館山小、神戸小学校区を除き実施。) 〔参加児童延べ人数〕 21年度 4,187名 22年度 5,366名 23年度 5,644名
	児童遊園管理事業 【 P213 児童遊園管理事業 】 【 生涯学習課 】	3,325	3,325	市内に設置している児童遊園の維持管理に努め、子どもの健全な遊び場を提供するため、遊具を更新するとともに、那古児童遊園を新規設置した。 ・ 那古児童遊園ネットフェンス設置工事費 900千円 ・ 那古児童遊園遊具購入設置費 1,268千円 (滑り台・ブランコ) ・ 六軒町児童遊園遊具購入設置費 628千円 (滑り台) ・ その他修繕料 外 529千円

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
10 教育費	地区花壇運営事業 【 P213 地区花壇運営事業 】 【 生涯学習課 】	1,413	1,318	花のまちづくりの一環として、地域ボランティアの参画を得て花苗の配布を行い、事業の推進を図った。 〔 実施状況 〕 ① 時期：6月～7月 配布団体数：22団体 花壇数：25カ所 配布数等：8,460株（マリーゴールド3,490株、ポチュラカ4,970株） ② 時期：10月～12月 配布団体数：27団体 花壇数：30カ所 配布数等：9,220株（パンジー） ・ 花苗購入費 1,201千円 外
	青少年相談員連絡協議会補助金 【 P213 青少年健全育成事業 】 【 生涯学習課 】	1,248	1,248	青少年相談員活動に対する補助を行い、球技大会・親子写生大会・各地区（小学校区）における地区活動としての各種レクリエーションが実施され、市全体的な青少年健全育成が展開された。 1 館山市青少年連絡協議会主催事業 ・ 第41回館山市青少年球技大会実施 ・ 第37回館山市親子写生大会実施 2 各地区活動 ・ サマーキャンプ、ホテル鑑賞会、球技大会、親子イチゴ狩り大会 など ・ 青少年相談員連絡協議会補助金 1,248千円（96名×13千円）
	地区公民館運営事業 【 P215 地区公民館運営事業 】 【 P215 地区公民館運営事業 （繰越明許費） 】 【 中央公民館 】	24,444	23,238	市内10カ所の地区公民館の適正な管理運営を図り、利用者へのサービス向上、市民の社会教育活動の推進に努めた。 1 利用状況 館山地区公民館 1,148件 18,742人 那古地区公民館 653件 8,041人 船形地区公民館 387件 3,257人 西岬地区公民館 492件 5,400人 西岬地区公民館（分館） 186件 1,651人 神戸地区公民館 381件 5,470人 富崎地区公民館 260件 2,720人 豊房地区公民館 537件 5,848人 館野地区公民館 759件 11,284人 九重地区公民館 384件 4,572人 2 施設管理 ① 地区公民館館長・副館長報酬 1,780千円（館長133千円／年、副館長45千円／年 各10人） ② 非常勤職員賃金 11,046千円（月・水・金 週3日勤務） ③ し尿浄化槽維持管理委託料 1,103千円 他 3 那古地区公民館屋根改修事業（繰越分） 老朽化により雨漏り箇所が拡大していた那古地区公民館の屋根を改修した。 建物概要 木造平屋建て（昭和50年築） 改修面積（全面）231㎡ 工事請負費 3,445千円

※ 事業欄の下端 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
10 教育費	生涯学習講座事業 【 P215 公民館講座等事業 】 【 中央公民館 】	5,255	4,447	いつでも、どこでも、だれでも楽しく学習し、成果が社会に活かされる生涯学習の拠点として、また、施設利用者同士が交流を図る場となるよう市民を対象とした各種事業を実施し、生涯学習の推進を図った。 1 中央公民館生涯学習講座事業 講師謝礼 564千円 ① 成人対象事業 8講座 30回 延べ参加者 1,537人 ② 家庭教育事業 3講座 42回 延べ参加者 2,027人 ③ 家庭教育学級 20学級 45回 延べ参加者 1,671人 ④ 青少年対象事業 5講座 36回 延べ参加者 672人 2 地区公民館生涯学習講座事業 講師謝礼 1,392千円 ① 館山地区公民館 16講座 45回 延べ参加者 800人 ② 北条地区公民館 6講座 33回 延べ参加者 655人 ③ 那古地区公民館 15講座 40回 延べ参加者 592人 ④ 船形地区公民館 12講座 39回 延べ参加者 512人 ⑤ 西岬地区公民館 11講座 21回 延べ参加者 606人 ⑥ 神戸地区公民館 16講座 27回 延べ参加者 417人 ⑦ 富崎地区公民館 9講座 21回 延べ参加者 415人 ⑧ 豊房地区公民館 13講座 25回 延べ参加者 407人 ⑨ 館野地区公民館 21講座 38回 延べ参加者 672人 ⑩ 九重地区公民館 11講座 44回 延べ参加者 681人 3 総合事業 ① サークルフェスティバルの開催 委託料 300千円 日頃のサークル活動を市民に紹介する場として、また、サークル間の親睦を図る場としてサークルフェスティバルを実施した。 ② 成人式の開催 事業費（講師謝礼、印刷製本費、会場借上料） 555千円 成人に達した市民を対象に心身の健全な成長を願い、社会人としての自覚と認識を深めてもらうとともに門出を祝福するため、成人式を開催した。 開催日・会場 平成24年1月8日（日）千葉県南総文化ホール（大ホール） 参加者数 対象者 414人 出席者 322人 出席率 80.7%

※ 事業欄の下端 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果																
10 教育費	図書館運営事業 【 P217 図書館運営事業 】 【 図書館 】	12,528	11,897	市民の調査・研究等生涯学習の推進を図るため、利用しやすい図書館を目指し、図書館サービスの向上に努めた。 〔 図書館利用実績 〕 <table><tr><td></td><td>貸出者数</td><td>貸出冊数</td><td>図書利用券登録者数（うち新規登録者数）</td></tr><tr><td>平成21年度</td><td>延べ38,404件</td><td>151,812点</td><td>7,995件（933件）</td></tr><tr><td>平成22年度</td><td>延べ38,827件</td><td>150,941点</td><td>7,776件（1,016件）</td></tr><tr><td>平成23年度</td><td>延べ37,439件</td><td>145,253点</td><td>7,824件（952件）</td></tr></table> 〔 図書館主催事業 〕 1 おはなし会等の実施 乳児・幼児・児童を対象に豊かな創造力と言語力を育ててもらうため、おはなし会やわらべうたの会を開催し、読書普及及び子育て支援に努めた。 ・ 年68回 参加者延べ1,226人 2 講座・教室の実施 市民の生涯学習を支援するため、文化的事業を実施し、図書館活動の普及と推進を図った。 （児童） 夏休み子ども講座「俳句であそぼう」 子ども講演会「レストランオーナー南極へ行く」 （一般） 文学講座「おもしろ八大伝教室」 講演会「レストランオーナー南極へ行く」 製本講座「製本にチャレンジ」 ・ 年9回 参加者延べ194人		貸出者数	貸出冊数	図書利用券登録者数（うち新規登録者数）	平成21年度	延べ38,404件	151,812点	7,995件（933件）	平成22年度	延べ38,827件	150,941点	7,776件（1,016件）	平成23年度	延べ37,439件	145,253点	7,824件（952件）
	貸出者数	貸出冊数	図書利用券登録者数（うち新規登録者数）																	
平成21年度	延べ38,404件	151,812点	7,995件（933件）																	
平成22年度	延べ38,827件	150,941点	7,776件（1,016件）																	
平成23年度	延べ37,439件	145,253点	7,824件（952件）																	
	図書館施設修繕、改修事業 【 P219 図書館施設管理事業 】 【 P219 図書館施設管理事業（繰越明許費） 】 【 図書館 】	16,023	15,829	1 屋上防水改修工事請負費 2,159千円 天井からの雨漏りを防止するため、老朽化した屋上防水シートの改修工事を実施し、利用者の安全性・快適性を確保するとともに、資料汚損の防止及び施設維持を図った。 建物概要：昭和47年築 延床面積822.4㎡ 施工面積：平場148㎡ 立上り41㎡ 施工場所：トイレ・通路・閲覧室・事務室・児童室 屋上 2 トイレ等施設改修工事 13,670千円（繰越分） 利用者の利便性・快適性・安全性の向上を図るため、老朽化した施設設備の改修を行った。 工事概要：既存男女トイレ改修 身障者用トイレ新設 ベビーベット設置 施工面積：28.8㎡																
	図書館資料整備事業 【 P219 図書館資料整備事業 】 【 図書館 】	7,027	7,027	市民の学習や課題解決に応えるため、新刊図書・郷土資料及び視聴覚資料等を購入し、図書館資料の整備充実に努めた。 購入図書 3,367冊（一般書 2,501冊 児童書 866冊） 購入視聴覚資料 22点 新聞 10紙 雑誌 34誌																

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
10 教育費	全国大学フラメンコフェスティバル 委託料 【 P219 文化振興活動事業 】 【 生涯学習課 】	2,147	2,028	大学生と館山市民の協働等，市民参画型の事業を展開することで，オリジナルの情報発信による館山のイメージアップを図った。 第17回全国大学フラメンコフェスティバル 開催日：平成23年8月7日(日) 参加数：大学数13校 175人 入場者数：1,383人 関連事業：「花火とフラメンコ」 8月8日(月)外
	館山市芸術文化協会補助金 【 P219 文化振興活動事業 】 【 生涯学習課 】	1,418	1,418	地域文化の振興を図り市民生活の向上に寄与することを目的に活動し，館山市文化祭の実施団体である館山市芸術文化協会(26団体)に対して，補助金を交付した。 第64回館山市文化祭 参加数：参加団体26 延べ2,294人 観覧者数：10,693人 開催期間：平成23年10月22日～12月11日
	不特定遺跡発掘調査委託料 【 P221 文化財調査事業 】 【 生涯学習課 】	1,575	1,565	特別養護老人ホーム建設に際し，腰越遺跡内の埋蔵文化財を発掘調査し，埋蔵文化財の保全に努めた。 調査期間：平成23年7月12日～平成23年7月26日 調査面積：184m ² 遺跡の種類：集落跡 遺跡の時代：古墳時代，奈良・平安時代 遺構の概要：古墳時代竪穴住居2軒，奈良・平安時代竪穴住居9軒，時期不明土坑11基，溝3条 出土遺物：古墳時代土師器，奈良平安時代土師器・須恵器・鉄器

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
10 教育費	博物館展覧会等開催事業 【 P223 博物館展示 ・学習支援事業 】 【 博物館 】	6,781	3,977	館山市の歴史・民俗、南総里見八犬伝、房総半島の海と生活をテーマに、博物館の調査・研究の成果として特別展・企画展等を開催し、ふるさと館山への関心や理解の深化に努めた。 総入館者数 (本館・館山城) 56,235人 (渚の博物館) 16,350人 〔 博物館事業の開催 〕 1 特別展等の開催 2,964千円 (印刷費1,845千円 運搬料1,119千円) ① 博物館本館 ・ トピック展示「館山市城山下出土遺物」, 「庶民の力が完成させた那古寺多宝塔」 ② 渚の博物館 ・ 「ゆめ半島千葉国体」展 ・ 収蔵資料展「安房の伝統工芸展-房州うちわと唐棧織-」 ・ 出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり-古墳に眠る石枕-」 ・ 特別企画展「中世の安房と鎌倉-海で結ばれた信仰の道-」 ③ 南総文化ホール ・ 「館山市名誉市民岩崎巴人追悼展」 2 講座・教室等の開催 歴史講座「八犬伝の原典を読む会」, 「古文書を読んでみよう」, 「わたし町の歴史探訪」, ワークショップ「房州うちわをつくろう」, 「甲冑を着よう」, 夏休み子ども歴史教室「城山(館山城跡)探検隊」, 「特別展解説会」, 「特別展・トピック展講演会」を開催 ・ 講座, 教室 開催回数 99回 参加者数 延 2,102人 ・ 展示関連事業 開催回数 8回 参加者数 延 339人
	博物館展示資料購入事業 【 P225 博物館資料収集調査事業 】 【 博物館 】	2,483	1,478	館山市を中心とした安房地方の歴史・民俗資料等を購入し、展示・研究資料の充実を図った。 ・ 展示資料購入費 666千円 (海防7点, 観光33点, 産業11点, 八犬伝3点, 産業11点, 唐棧織1点) ・ 展示資料保険料 812千円

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
10 教育費	館山若潮マラソン大会事業 【 P227 若潮マラソン大会事業 】 【 スポーツ課 】	30,447	30,447	「第32回館山若潮マラソン大会」を開催し、市民の健康体力づくりはもとよりスポーツ観光による地域経済の活性化を図った。 開催日：平成24年1月29日（日） 申込者数：10,170人 内訳 フルマラソン 6,263人（市外参加者5,875人 市内参加者388人） 10km 2,645人（市外参加者2,145人 市内参加者500人） ファミリー 1,262人（市外参加者 584人 市内参加者678人）
	若潮旗争奪全国高校剣道大会委託料 【 P227 若潮旗争奪剣道大会事業 】 【 スポーツ課 】	800	695	「第26回若潮旗争奪全国高校剣道館山大会」を開催し、安房地域の高校剣道競技力の向上や競技人口の拡大、交流人口の増加による地域経済の活性化を図った。 開催日：平成23年8月20日（土） 参加チーム：男子50チーム、女子39チーム 参加人数：合計577人
	館山市体育協会補助金 【 P227 社会体育団体体育成事業 】 【 スポーツ課 】	5,706	5,106	加盟スポーツ団体の自主的かつ積極的な活動を支援し、市民スポーツの底辺拡大と指導者育成、競技力の向上に努めた。 1 県関係事業（県民体育大会への参加） 2 普及事業（加盟スポーツ団体への普及活動支援） 団体数：24団体 会員数：約4,000人
	スポーツ少年団育成補助金 【 P227 社会体育団体体育成事業 】 【 スポーツ課 】	1,245	1,245	スポーツ少年団の各種大会や交流会、研修会などを支援し、青少年のスポーツ振興と健全育成に努めた。 1 行事参加開催事業（野球・剣道・サッカー・バレー等の各種親善大会の参加及び実施） 2 研修交流事業（指導者の研修や幸手市・魚沼市・笛吹市等とのスポーツ交流） 団体数：28団体 指導者：152人 団員：587人
	社会体育施設運営事業 【 P229 社会体育施設運営事業 】 【 P229 社会体育施設運営事業（繰越明許費） 】 【 スポーツ課 】	51,988	45,954	市民の生涯スポーツ・競技スポーツの活動の場として、また、スポーツ合宿等での利用促進のため、社会体育施設等の適切な維持管理と整備・改修を行った。 1 社会体育施設等の利用状況（延べ人数） 50メートルプール 6,278人 温水プール 16,524人 市民運動場 51,677人 第一柔剣道場 4,933人 市民体育館 7,287人 弓道場・遠的射場 392人 出野尾多目的運動広場 9,232人 2 社会体育施設等の整備・改修 第一柔剣道場 屋根・外壁改修（繰越分） 2,709千円

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
10 教育費	学校給食調理業務委託事業 【 P231 学校給食事業 】 【 給食センター 】	75,939	75,939	調理業務を専門業者へ委託することにより、事務の効率化並びに経費の削減に努めつつ、充実した学校給食の提供を行った。 給食提供日 年間 188日(平成23年度) 給食提供数 中学校4校(1,249名) 小学校11校(2,346名) 幼稚園8園(424名) ・ 学校給食調理業務委託料 75,939千円
	学校給食搬送業務委託事業 【 P231 学校給食事業 】 【 給食センター 】	15,482	15,481	学校給食の搬送及び回収業務を委託することにより、事務の効率化並びに経費の削減に努めた。 搬送日数 年間188日(平成23年度) 搬 送 数 中学校4校 小学校11校 幼稚園8園 ・ 給食搬送業務委託料 15,481千円
	学校給食施設整備事業 【 P231 学校給食事業 】 【 給食センター 】	12,970	12,831	老朽化した学校給食センターの改修及び整備を行い、安全で安定した給食の提供に努めた。 1 蒸気ボイラー設置工事(老朽化したボイラーの交換工事) 11,970千円 2 学校給食センター屋根改修改修工事 861千円 板金工事 延長91.1m 防水工事 延長258.0m 塗装工事 ルーフファン6基 他
11 災害復旧費	災害復旧事業 【 P235 災害復旧事業 】 【 P235 災害復旧事業 (繰越明許費) 】 【 建設課 】	38,128	24,105	台風や豪雨により被災した道路や河川などの復旧を図った。 1 道路・河川災害復旧測量設計業務委託 263千円 河川災害測量業務委託(普通河川笹川) 外 1件 2 道路・河川災害復旧工事請負費 23,843千円 道路災害復旧工事(市道7026号線) 外12件 河川災害復旧工事(普通河川長田川) 外10件 ※ 予算現額には、平成24年度への繰越分9,340千円含む

Ⅱ 特別会計

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

会計	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
国民健康 保険特別 会計	国民健康保険税電算処理業務委託 【 P261 賦課事務 】 【 税務課 】	1,911	1,630	国民健康保険税の納税通知書作成等の業務を委託し、課税業務の迅速化を図った。 ・ 国民健康保険税電算処理業務委託料 1,630千円
	療養給付費支給事務 【 P263 一般被保険者 療養給付費支給事務 】 【 P263 退職被保険者等 療養給付費支給事務 】 【 保険給付課 】	4,002,316	3,896,192	1 被保険者の疾病、負傷に対して適正な保険給付を行った。 ① 療養給付費の状況 総件数 263,100件 費用額 5,359,335千円 給付額 3,896,192千円 ② 療養給付費（費用額）の内訳 入院（食事を含む） 3,784件 1,959,791千円 入院外 143,193件 2,064,008千円 歯科 30,290件 382,598千円 調剤 85,833件 907,217千円 一人当たり費用額 296,734円 2 診療報酬明細書を点検し、給付の適正に努めた。 ① 被保険者から給付費の返還を求めたもの 525千円 ② 第三者行為による請求に基づくもの 5,825千円
	療養費支給事務 【 P263 一般被保険者 療養費支給事務 】 【 P263 退職被保険者等 療養費支給事務 】 【 保険給付課 】	36,172	35,397	療養費の状況 総件数 4,455件 支給額 35,397千円
	高額療養費支給事務 【 P263 一般被保険者 高額療養者支給事務 】 【 P263 退職被保険者等 高額療養者支給事務 】 【 保険給付課 】	455,633	450,455	高額療養費の状況 総件数 7,816件 支給額 450,455千円
	葬祭費支給事務 【 P265 葬祭費支給事務 】 【 保険給付課 】	7,500	3,800	一件当たり支給額 50千円 76件
	出産育児一時金支給事務 【 P265 出産育児一時金支給事務 】 【 保険給付課 】	37,800	32,310	一件当たり支給額 420千円 77件

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

会計	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
国民健康 保険特別 会計	後期高齢者支援金拠出事務 【 P265 後期高齢者 支援金拠出事務 】 【 保険給付課 】	798,283	798,283	平成23年度 概算額 845,001千円 平成21年度分精算額 △46,718千円 計 798,283千円
	前期高齢者納付金拠出事務 【 P267 前期高齢者 納付金拠出事務 】 【 保険給付課 】	2,290	2,290	平成23年度 概算額 1,799千円 平成21年度分精算額 491千円 計 2,290千円
	介護納付金拠出事務 【 P267 介護納付金拠出事務 】 【 保険給付課 】	378,927	378,927	平成23年度 概算額 407,083千円 平成21年度分精算額 △28,156千円 計 378,927千円
	生活習慣病予防事業 【 P269 生活習慣病予防事業 】 【 健康課 】 【 保険給付課 】	31,917	24,544	糖尿病その他生活習慣病に関する健康診査を実施し、その結果、生活習慣改善の必要がある者に対し、専門的知識及び技術を有する者により、保健指導を行った。 ・ 健康診査委託料 21,628千円 外
	短期人間ドック補助事業 【 P269 疾病予防事業 】 【 保険給付課 】	5,900	4,154	疾病の早期発見、早期治療のため40歳以上の国民健康保険被保険者を対象に、人間ドック及び脳ドックの検査費用の7割（限度額2万円）を補助し、被保険者の健康保持増進を図った。 人間ドック補助 208件 4,154千円
後期高齢 者医療特 別会計	短期人間ドック補助事業 【 P285 後期高齢者医療事務費 】 【 保険給付課 】	1,000	640	疾病の早期発見、早期治療のため後期高齢者医療被保険者を対象に、人間ドック及び脳ドックの検査費用の7割（限度額2万円）を補助し、高齢者の健康保持増進を図った。 人間ドック補助 32件 640千円
	後期高齢者医療広域連合納付金支払 事務 【 P287 後期高齢者医療 広域連合納付金支払事務 】 【 保険給付課 】	593,191	582,938	後期高齢者医療保険料及び保険基盤安定繰入金を千葉県後期高齢者医療広域連合へ納付した。 1 後期高齢者医療保険料 471,972千円 2 保険基盤安定繰入金 110,966千円

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

会計	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
介護保険 特別会計	介護保険料電算処理業務委託 【 P307 賦課事務 】 【 税務課 】	1, 947	1, 813	介護保険料の納入通知書作成等の業務を委託し、 賦課業務の迅速化を図った。 ・ 介護保険料電算処理業務委託料 1, 813千円
	居宅介護サービス等給付 【 P309 介護サービス支給事務 】 【 保険給付課 】	3, 694, 555	3, 602, 955	要介護１～５と認定された被保険者に対して適正な保険給付を行った。 1 居宅介護サービス給付費 総件数 3 3, 6 0 8 件 給付費 1, 569, 840千円 2 地域密着型介護サービス給付費 総件数 1, 9 8 7 件 給付額 317, 160千円 3 施設介護サービス給付費 総件数 5, 7 0 4 件 給付額 1, 504, 745千円 4 居宅介護福祉用具購入費 総件数 1 9 3 件 給付額 4, 635千円 5 居宅介護住宅改修費 総件数 1 1 0 件 給付額 11, 060千円 6 居宅介護サービス計画給付費 総件数 1 5, 1 1 7 件 給付額 195, 515千円
	介護予防サービス等給付 【 P311 介護予防 サービス支給事務 】 【 保険給付課 】	137, 077	131, 128	要支援と認定された被保険者に対して適正な保険給付を行った。 1 介護予防サービス給付費 総件数 4, 8 5 2 件 給付額 110, 749千円 2 地域密着型介護予防サービス給付費 総件数 3 件 給付額 83千円 3 介護予防福祉用具購入費 総件数 4 4 件 給付額 770千円 4 介護予防住宅改修費 総件数 3 7 件 給付額 3, 419千円 5 介護予防サービス計画給付費 総件数 3, 7 9 6 件 給付額 16, 107千円
	審査支払手数料 【 P311 審査支払手数料支払事務 】 【 保険給付課】	5, 120	4, 167	介護報酬の支払に係る千葉県国民健康保険団体連合会が審査支払いすることに対する手数料。 審査支払手数料 総件数 6 4, 1 0 6 件 給付額 4, 167千円
	高額介護サービス費 【 P311 高額介護サービス費 支給事務 】 【 保険給付課 】	69, 624	68, 903	介護サービスの利用に係る１割の自己負担額が上限を超える場合にその超過分を支給した。 高額介護サービス費 総件数 6, 8 3 0 件 給付額 68, 903千円
	高額介護予防サービス費 【 P311 高額介護予防 サービス費支給事務 】 【 保険給付課 】	100	34	介護予防サービスの利用に係る１割の自己負担額が上限を超える場合にその超過分を支給した。 高額介護予防サービス費 総件数 3 4 件 給付額 34千円
	高額医療合算介護サービス費 【 P311 高額医療合算介護 サービス費支給事務 】 【 保険給付課 】	9, 481	9, 481	医療費と介護サービス費の自己負担額が一定の額を超える場合にその超過分を支給した。 高額医療合算介護サービス費 総件数 3 9 1 件 給付額 9, 481千円

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

会計	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
介護保険 特別会計	高額医療合算介護予防サービス費 【 P311 高額医療合算 介護予防サービス費支給事務 】 【 保険給付課 】	100	40	医療費と介護予防サービス費の自己負担額が一定の額を超える場合にその超過分を支給した。 高額医療合算介護予防サービス費 総件数 8 件 給付額 40千円
	特定入所者介護サービス費 【 P311 特定入所者 介護サービス費支給事務 】 【 保険給付課 】	126, 522	126, 522	特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設の入所者及びショートステイ利用者の食費・居住費について所得の少ない方への補足給付を行った。 特定入所者介護サービス費 総件数 5, 6 5 5 件 給付額 126, 522千円
	包括的支援事業 【 P315 地域包括支援事業 】 【 福祉課 】	46, 200	44, 900	高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が続けられるよう、介護、福祉、健康、医療等の面から総合的に支援していく拠点として、市内 2 か所に「地域包括支援センター」を設置・運営委託し、総合相談や介護予防サービス、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援を行った。 介護予防ケアマネジメント事業委託料 11, 278千円 総合相談事業委託料 9, 200千円 権利擁護事業委託料 2, 000千円 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業委託料 22, 422千円
	任意事業 【 P315 地域支援事業 】 【 福祉課 】 【 保険給付課 】	27, 519	20, 702	1 高齢者に対し配食サービスを行うことにより、食生活の改善及び健康の増進を図るとともに安否の確認を行い、高齢者の福祉の増進を図った。 また、低所得者の高齢者に対し、家族介護用品を支給することにより家族介護の負担軽減を図った。 ・ 配食サービス事業委託料 17, 651千円 ・ 家族介護用品支給扶助費 2, 249千円 2 介護保険サービスを利用した者に対し、介護給付費の額等の実績を通知することにより、介護保険事業の適正な運営を図った。 ・ 介護給付等費用適正化事業 230千円 外
学童災害 共済事業 特別会計	学童災害共済事業 【 P331 学童災害共済事業 】 【 教育総務課 】	1, 840	866	学校管理下外における学童の事故に対し、共済見舞金を支給し、福祉の増進を図った。 ・ 共済見舞金（5 6 件） 799千円 外

※ 事業欄の下段 【 】 内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

会計	事業	予算現額	決算額	主 要 な 施 策 の 成 果
下水道事業特別会計	下水道使用料賦課徴収業務委託 【 P345 下水道事務費 】 【 下水道課 】	3,282	3,150	下水道使用料の収納事務を民間に委託し、業務の効率化及び収納率の向上を図った。 ・ 下水道使用料収納業務委託料 3,150千円
	水洗化普及促進事業 【 P345 水洗化普及促進事業 】 【 下水道課 】	1,250	800	くみ取り便所の水洗化及び浄化槽廃止による下水道への接続工事に助成し、下水道接続率の向上に努めた。 水洗便所改造資金補助金 補助対象：建築物の所有者、又は、所有者の同意を得た使用者（個人） 補助金額：800千円（くみ取り便所水洗化：大便器1個 30千円、2個以降 10千円を加算。 浄化槽廃止：大便器1個 20千円、2個以降 5千円を加算。） 補助件数：32件（くみ取り便所9件、浄化槽23件）
	鏡ヶ浦クリーンセンター維持管理業務包括的民間委託事業 【 P347 鏡ヶ浦クリーン センター運営事業 】 【 下水道課 】	89,349	89,337	包括的民間委託の形態を採用することにより、鏡ヶ浦クリーンセンターの施設管理の他、各種消耗品・資材・電気・水道等の調達や施設の簡易な修繕の実施まで業務範囲を増やし、受託者の持つ技術を最大限活用し、業務の効率化を図った。 ・ 鏡ヶ浦クリーンセンター維持管理業務包括的民間委託料 89,337千円
	長寿命化計画策定業務委託 【 P347 鏡ヶ浦クリーン センター運営事業 】 【 下水道課 】	6,830	6,830	鏡ヶ浦クリーンセンターについて、施設の適切な維持管理及び耐用年数の延伸とライフサイクルコストの軽減を図ることを目的として、施設の長寿命化計画を策定するうえでの調査及び健全度評価を行った。 ・ 長寿命化計画策定業務委託料 6,830千円
	公共下水道整備事業 【 P347 下水道整備事業 】 【 P347 下水道整備事業 (繰越明許費) 】 【 下水道課 】	297,730	227,476	1 下町雨水幹線管渠建設工事を行い、浸水被害の解消を図った。 雨水管渠築造工事請負費 29,935千円 雨水管渠建設工事委託料（繰越明許費） 管路延長 L = 268.6m 108,361千円 2 管渠建設工事に係る家屋調査等を行った。 管渠設計等委託料 3,789千円 3 汚水管渠建設工事を行い、公共下水道の普及に努めた。 汚水管渠築造工事請負費 管路延長 L = 331.3m 51,586千円 汚水管渠築造工事請負費（繰越明許費） 管路延長 L = 277.4m 14,132千円 4 管渠建設工事に伴う水道管等の移設工事の補償を行った。 移設移転補償費 17,800千円 ※ 予算現額には、平成24年度への繰越分66,450千円含む

地方自治法第241条第5項の規定による定額運用基金の運用状況調書

基金名	主 要 な 施 策 の 成 果			
土地開発基金	平成２３年度において、本基金により先行取得した土地は無かった。また、基金の運用利子相当額を積み立てた。 土地購入 該当なし 〔参 考〕 土地売却（一般会計へ） 該当なし 平成２２年度末基金残高 100,315 千円 一般会計からの繰入金（利子相当額） 3 1 千円 平成２３年度末基金残高 100,346 千円			
ふるさと創生奨学基金	向学心を持ちながら、経済的理由により修学が困難な者に対し、奨学資金の貸し付けを行い、有用な人材の育成を図った。 貸付金（２３人） 6, 0 1 6 千円 返還金（９１人） 1 2, 5 6 7 千円 〔参 考〕 減免措置額（２７人） 1, 3 7 1 千円 平成２２年度末基金残高 127,055 千円 一般会計からの繰入金（利子相当額及び寄附金） 1 5 千円 平成２３年度末基金残高 125,699 千円 （うち 現金 46,454 千円 貸付金 79,245 千円）			
文化振興基金	平成２３年度において、本基金により取得した美術品及び歴史等に関する文化資料は無かった。 博物館展示資料購入 該当なし 〔参 考〕 博物館展示資料売却 該当なし 平成２２年度末基金残高 30,000 千円 平成２３年度末基金残高 30,000 千円			
看護師等修学資金貸付基金	将来安房郡市内において看護師等の業務に従事しようとする修学者に対し、修学資金の貸し付けを行い、看護師等の人材の育成を図った。 貸付金（５人） 1, 8 0 0 千円 〔参 考〕 一般会計からの繰入金（利子相当額） 2 1 千円 平成２２年度末基金残高 71,013 千円 平成２３年度末基金残高 71,034 千円 （うち 現金 69,234 千円 貸付金 1,800 千円）			

目的税（入湯税・都市計画税）の使途に関する説明書

1 入湯税

入湯税は、地方税法第701条の規定により、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興に要する費用に充てるため、課税するものとされている。館山市においては、地方税法に基づく館山市市税条例の規定により、鉱泉浴場における入湯に対し一人一日150円（宿泊を伴わない場合は50円）を課税しており、平成23年度決算における収入済額は、1,724万1千円となっている。

一方、入湯税を充当すべき事業については、環境衛生施設整備事業、消防用建物整備事業や消防自動車整備事業などの消防施設整備事業、観光地整備事業や観光イベントの開催などの観光振興事業があり、平成23年度決算における事業費総額は、1億6,499万7千円となっている。これらの事業に対し、入湯税として収入した1,724万1千円を充当し、環境衛生施設及び消防施設整備の充実と観光振興を図ってきた。

(1) 平成23年度入湯税について (単位 千円)

款	項	予 算 現 額	収 入 済 額
1 市税	9 入湯税	22,056	17,241

(2) 平成23年度入湯税充当事業について (単位 千円)

事 業 区 分	事 業 内 容 等	事業費総額	財 源 内 訳				
			国 県 支出金	地方債	その他	一般財源	うち入湯税
環境衛生施設整備事業	一般廃棄物処理施設の整備を行い、廃棄物処理に努めた。	118,761	0	0	65,514	53,247	3,680
消防施設整備事業	消防車両、消火栓及び消防団詰所等の整備を行い、消防力の充実を図った。	33,171	1,725	11,400	953	19,093	1,320
観光振興基金へ積立	観光振興に資する事業の財源とするため、館山市観光振興基金へ積立を行った。	13,065	0	0	0	13,065	12,241
合 計		164,997	1,725	11,400	66,467	85,405	17,241

(参考) 入湯税を積み立てている観光振興基金の平成23年度取り崩し額は2,106万1千円で、観光案内看板設置事業(6,058千円)、南房総地域観光圏事業補助金(8,650千円)、中間支援機能等支援補助金(2,500千円)、観光支援事業補助金(3,853千円)に充てた。

2 都市計画税

都市計画税は、地方税法第702条第1項の規定により、都市計画法に基づいて行う都市計画事業に要する費用に充てるため、課税することができるものとされている。館山市においては、地方税法に基づく館山市市税条例の規定により、都市計画区域として設定された市域全域のうち、農業振興地域の整備に関する法律第8条の規定により定められた農用地区域以外の区域に所在する土地及び家屋に対して、税率0.3%で課税しており、平成23年度決算における収入済額は、5億2,412万8千円となっている。

一方、都市計画税を充当すべき都市計画事業については、館山都市計画道路事業船形館山港線、館山都市計画下水道事業館山市第1号公共下水道及び過去に実施した青柳大賀線などの都市計画道路事業や、館山駅西口地区土地区画整理事業に係る地方債償還があり、平成23年度決算における事業費総額は、5億6,733万1千円となっている。これらの事業に対し、都市計画税として収入した5億2,412万8千円を充当し、都市基盤の充実と高質な生活環境の創出を図ってきた。

(1) 平成23年度都市計画税について

(単位 千円)

款	項	予 算 現 額	収 入 済 額
1 市税	10 都市計画税	517,895	524,128

(2) 平成23年度都市計画事業について

(単位 千円)

都 市 計 画 事 業 の 種 類 及 び 名 称 等	事 業 内 容 等	都 市 計 画 事 業 に 要 し た 経 費					
		事業費総額	財 源 内 訳				
			国 県 支出金	地方債	その他	一般財源	うち都市計画税
館山都市計画道路事業 船形館山港線	船形館山港線の道路改良工事等を行い、都市計画道路事業の推進を図った。	93,053	0	25,600	0	67,453	65,261
館山都市計画下水道事業 館山市第1号公共下水道	館山市下水道事業特別会計に対し繰出しを行った。	316,162	0	0	0	316,162	305,889
地方債償還（一般会計分）	過去に実施した青柳大賀線などの都市計画道路事業や、館山駅西口地区土地区画整理事業に係る地方債償還を行った。	158,116	0	0	0	158,116	152,978
合	計	567,331	0	25,600	0	541,731	524,128

